

BladeSymphony

**BladeSymphony
BS2000/BS320**

**Virtage バージョンアップ手順書
Virtage リビジョンアップ手順書**

HITACHI

マニュアルはよく読み、保管してください。
操作を行う前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。
このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

重要なお知らせ

本書の内容の一部、または全部を無断で転載、複写することは固くお断りします。
本書の内容について、改良のため予告なしに変更することがあります。
本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらお買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
本書に準じないで本製品を運用した結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

登録商標・商標について

Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Intel、インテル、Xeon は Intel Corporation の登録商標および商標です。
Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Red Hat は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の登録商標または商標です。
ORACLE、Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
その他、本マニュアル中の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

著作権について

このマニュアルの内容はすべて著作権に保護されています。このマニュアルの内容の一部または全部を、無断で転載することは禁じられています。

Copyright© Hitachi, Ltd. 2011, 2012, All rights reserved.

目次

重要なお知らせ.....	2
登録商標・商標について.....	2
著作権について.....	2
1 お使いになる前に.....	5
1.1 HVMファームウェア更新の判別方法.....	5
1.2 サポートサービス契約.....	5
1.3 サポートマトリクス.....	6
1.3.1 バージョンアップ、リビジョンアップのサポートバージョン.....	6
1.3.2 バージョンダウン、リビジョンダウンのサポートバージョン.....	7
1.4 バージョン、リビジョンの変更について.....	8
1.5 HVMファームウェア更新の所要時間.....	8
1.6 バージョン表示の注意事項.....	9
1.7 事前に準備いただくもの.....	10
2 Virtage Navigatorによる手順.....	11
2.1 前提条件.....	12
2.2 バージョンアップ、リビジョンアップ手順.....	14
2.2.1 Virtage Navigatorの準備.....	15
2.2.2 バージョンアップキーの入手.....	16
2.2.3 HVMファームウェアの入手.....	20
2.2.4 HVMファームウェア更新.....	21
2.2.5 構成情報のバックアップ.....	42
2.3 注意事項.....	64
2.3.1 HVMファームウェア更新について.....	64
2.3.2 Step6, Step8 のInformationウインドウについて.....	64
2.3.3 F/W Update Informationで“ログイン抑止中”と表示された場合.....	65
2.3.4 BSMからの手動シャットダウンについて.....	65
2.3.5 サーバブレードをリブートしてもHVMが起動しなかった場合.....	66
2.4 アイコン一覧.....	67
3 HVM Webシステムによる手順.....	68
3.1 前提条件.....	68
3.2 バージョンアップ、リビジョンアップ手順.....	70
3.2.1 バージョンアップキー入手.....	71
3.2.2 HVMファームウェア入手.....	75
3.2.3 HVMファームウェア更新.....	75

3.2.4 構成情報のバックアップ	80
3.3 注意事項	90
3.3.1 HVM Webシステムエラー画面について	90
3.3.2 HVM Webシステムのパスワード変更について	93
3.3.3 HVMファームウェア更新について	93
3.3.4 BSMからの手動シャットダウンについて	94
3.3.5 サーバブレードをリブートしてもHVMが起動しなかった場合	94
4 HVMメンテナンスツールによる手順	95
4.1 前提条件	95
4.2 バージョンアップ、リビジョンアップ手順	96
4.2.1 バージョンアップキー入手	97
4.2.2 バージョンアップキーCD作成	101
4.2.3 HVMファームウェア入手	101
4.2.4 HVMファームウェアCD作成	101
4.2.5 構成情報のバックアップ	102
4.2.6 HVMファームウェア更新	106
4.3 バージョンダウン、リビジョンダウン手順	110
4.3.1 HVM Utility CD入手	111
4.3.2 HVM Utility CD作成	111
4.3.3 HVMファームウェア入手	112
4.3.4 HVMファームウェアCD作成	112
4.3.5 構成情報の工場出荷状態への復元	113
4.2.6 HVMファームウェア更新	115
4.4 注意事項	118
4.4.1 サーバブレードをリブートしてもHVMが起動しなかった場合	118

1

お使いになる前に

この章では、お使いになる前に知っておいていただきたい内容について説明します。

なお、Virtage のことを HVM(Hitachi Virtualization Manager)と表記することがあります。

1.1 HVMファームウェア更新の判別方法

HVM ファームウェアバージョンは VV-RR 形式で示されます。それぞれのフィールドの意味は、以下のとおりです。

VV-RR	意味	バージョンアップキー	備考
VV の更新	バージョンアップ	必要	例：57-10 から 58-00 への更新など
	バージョンダウン	不要	例：58-00 から 57-10 への更新など
RR の更新	リビジョンアップ	不要	例：57-10 から 57-20 への更新など
	リビジョンダウン	不要	例：57-20 から 57-10 への更新など

1.2 サポートサービス契約

バージョンアップを行うためには、サポートサービスの契約が必要です。
詳しくは、弊社営業にお問い合わせください。

1.3 サポートマトリクス

HVM ファームウェア更新のサポートバージョンを以下に示します。

1.3.1 バージョンアップ、リビジョンアップのサポートバージョン

【BS2000(標準サーバブレード)のサポートバージョン】

ツール	HVM ファームウェアバージョン		
	57-01 以降	57-21 以降	58-1X 以降
Virtage Navigator(V02-01 以降)	×	×	○
HVM Web システム	×	○	○
HVM メンテナンスツール	○(※1, 2)	○(※1)	○(※1)

○:サポート, ×:未サポート

※1: フロント USB を使用したバージョンアップ、リビジョンアップのみサポート

※2: HVM ファームウェアバージョン 57-0X からのバージョンアップ、リビジョンアップについては、「[BladeSymphony BS2000 Virtage バージョンアップ手順書/Virtage リビジョンアップ手順書\(第 9 版\)](#)」以前のマニュアルを参照してください。

【BS2000(高性能サーバブレード)のサポートバージョン】

ツール	HVM ファームウェアバージョン
	78-1X 以降
Virtage Navigator(V02-01 以降)	○
HVM Web システム	○
HVM メンテナンスツール	○(※1)

○:サポート, ×:未サポート

※1: フロント USB を使用したバージョンアップ、リビジョンアップのみサポート

【BS320 のサポートバージョン】

ツール	HVM ファームウェアバージョン	
	17-2X 以降	17-4X 以降
Virtage Navigator(V02-01 以降)	×	○
HVM Web システム	○	○
HVM メンテナンスツール	○(※1)	○(※1)

○:サポート, ×:未サポート

※1: フロント USB を使用したバージョンアップ、リビジョンアップのみサポート

バージョンアップ、リビジョンアップで使用する各種ツールのサポート方法を以下に示します。

ツール	サポート方法		
	バージョンアップ、リビジョンアップ時の Virtage の状態	バージョンアップ、リビジョンアップ後の再起動方法	複数 Virtage のバージョンアップ、リビジョンアップ
Virtage Navigator (V02-01 以降)	稼働	手動	○
HVM Web システム	稼働	手動	×
HVM メンテナンスツール	非稼働	自動	×

○:サポート, ×:未サポート

1.3.2 バージョンダウン、リビジョンダウンのサポートバージョン

【BS2000(標準サーバブレード)のサポートバージョン】

ツール	HVM ファームウェアバージョン	HVM Utility CD	
	57-2X 以降	5.2.5 以前	5.2.7 以降
Virtage Navigator	×	×	×
HVM Web システム	×	×	×
HVM メンテナンスツール	○(※1, 2)	×	○

○:サポート, ×:未サポート

※1: フロント USB を使用したバージョンダウン、リビジョンダウンのみサポート

※2: HVM ファームウェアバージョン 57-0X へのバージョンダウン、リビジョンダウンは未サポートです。

【BS2000(高性能サーバブレード)のサポートバージョン】

ツール	HVM ファームウェアバージョン	HVM Utility CD	
	78-2X 以降	5.2.5 以前	5.2.7 以降
Virtage Navigator	×	×	×
HVM Web システム	×	×	×
HVM メンテナンスツール	○(※1)	×	○

○:サポート, ×:未サポート

※1: フロント USB を使用したバージョンダウン、リビジョンダウンのみサポート

【BS320 のサポートバージョン】

ツール	HVM ファームウェアバージョン	HVM Utility CD	
	17-2X 以降	5.2.5 以前	5.2.7 以降
Virtage Navigator	×	×	×
HVM Web システム	×	×	×
HVM メンテナンスツール	○(※1)	×	○

○:サポート, ×:未サポート

※1: フロント USB を使用したリビジョンダウンのみサポート

バージョンダウン、リビジョンダウンで使用する各種ツールのサポート方法を以下に示します。

ツール	サポート方法		
	バージョンダウン、 リビジョンダウン時 の Virtage の状態	バージョンダウン、 リビジョンダウン後 の再起動方法	複数 Virtage の バージョンダウン、 リビジョンダウン
Virtage Navigator	×	×	×
HVM Web システム	×	×	×
HVM メンテナンスツール	非稼働	自動	×

×:未サポート

1.4 バージョン、リビジョンの変更について

⚠ 注意

バージョンダウンまたはリビジョンダウンは、N+M コールドスタンバイ構成で新規増設サーバブレードとの HVM ファームウェアバージョン不一致を解決する目的でのみ実施してください。

詳細については、「[4.3 バージョンダウン、リビジョンダウン手順](#)」を参照してください。

⚠ 注意

バージョンダウンまたはリビジョンダウンを実行した場合、現在の機能が使用できなくなる場合があります。

実行前後のファームウェアバージョンの機能の差異をよくご確認ください。

HVM ファームウェアバージョンのバージョンまたはリビジョンを変更するには、Virtage Navigator、HVM Web システム、および HVM メンテナンスツールを用いたツールによる方法と面切り替えによる方法があります。

それぞれの方法によるバージョンまたはリビジョンのアップやダウンのサポート状況は、以下のとおりです。

方法	バージョンアップ リビジョンアップ	バージョンダウン リビジョンダウン
Virtage Navigator(V02-01 以降)	○	×
HVM Web システム	○	○
HVM メンテナンスツール	○	○
HVM ファームウェア面の切り替え	○	○

1.5 HVMファームウェア更新の所要時間

HVM ファームウェア更新の所要時間の目安を以下に示します。

ただし、実行環境のシステム性能やネットワーク性能により、所要時間は変化します。

ツール	1 ファームウェアの所要時間	10 ファームウェアの所要時間
Virtage Navigator (V02-01 以降)	20 分	20 分
HVM Web システム	20 分	200 分
HVM メンテナンスツール	20 分	200 分

1.6 バージョン表示の注意事項

Virtage Navigator や HVM Web システムで稼働時バージョンアップ、リビジョンアップを行った場合、HVM を再起動することでバージョンアップまたはリビジョンアップが完了します。

しかし、バージョンアップまたはリビジョンアップ実行後かつ HVM の再起動前においては、使用するコンソールによって Active 面と Alternate 面の表示が異なります。

【BS2000 の場合】

Active 面のファームウェアバージョンが 58-50、Alternate 面のファームウェアバージョンが 58-31 となっているサーバブレードに対し、58-60 にリビジョンアップした場合について説明します。

下表に、リビジョンアップ前とリビジョンアップ後(HVM 再起動後)の Active 面と Alternate 面のファームウェアバージョンを示します。

面	リビジョンアップ前	リビジョンアップ後 (HVM 再起動後)
Active	58-50	58-60
Alternate	58-31	58-50

リビジョンアップ実行後かつ HVM の再起動前において、各コンソールによって下表のとおり表示されます。

面	HVM Web システム	システムコンソール (SVP コマンドモード)	HVM スクリーン	Virtage Navigator (V02-01 以降)
Active	58-60	58-60	58-50	58-50
Alternate	58-50	58-50	58-60	58-60

【BS320 の場合】

Active 面のファームウェアバージョンが 17-60、Alternate 面のファームウェアバージョンが 17-41 となっているサーバブレードに対し、17-70 にリビジョンアップした場合について説明します。

下表に、リビジョンアップ前とリビジョンアップ後(HVM 再起動後)の Active 面と Alternate 面のファームウェアバージョンを示します。

面	リビジョンアップ前	リビジョンアップ後 (HVM 再起動後)
Active	17-60	17-70
Alternate	17-41	17-60

リビジョンアップ実行後かつ HVM の再起動前において、各コンソールによって下表のとおり表示されます。

面	HVM Web システム	システムコンソール (SVP コマンドモード)	HVM スクリーン	Virtage Navigator (V02-01 以降)
Active	17-70	17-60	17-60	17-60
Alternate	17-60	17-70	17-70	17-70

1.7 事前に準備いただくもの

HVM メンテナンスツールをご使用の場合は、事前に以下のものをご用意いただく必要があります。

- ・ CD/DVD ドライブ
- ・ CD-R (バージョンアップキーCD を作成する場合)
- ・ CD-R (HVM Utility CD を作成する場合)
- ・ CD-R (HVM ファームウェア CD 用)

2

Virtage Navigatorによる手順

この章では、Virtage Navigator を利用した HVM 稼働時のバージョンアップ、リビジョンアップ手順について説明します。

バージョンにより画面の表示内容が異なる場合があります。

サポートサービスに契約していない場合は、バージョンアップはできません。
詳しくは、弊社営業にお問い合わせください。

2.1 前提条件

項目	備考
Web ブラウザ	Microsoft 社 Internet Explorer 6.0 または 7.0 を推奨します。
Web ブラウザの設定	JavaScript、Cookie、ActiveX、ポップアップウィンドウ設定を有効にしてください。
	HVM Web システムの URL を「信頼済みサイト」に登録してください。登録方法は、下記を参照してください。

「信頼済みサイト」の登録方法を以下に示します。

- 1 メニューから「ツール」→「インターネットオプション」を選択します。
- 2 「インターネットオプション」ダイアログの「セキュリティ」タブをクリックします。
- 3 「信頼済みサイト」のアイコンをクリックします。
- 4 「サイト(S)」ボタンをクリックします。
- 5 「信頼済みサイト」ダイアログの「次の Web サイトをゾーンに追加する(D)」欄に、HVM Web システムの URL を入力し、「追加(A)」ボタンをクリックします。
- 6 「閉じる」ボタンをクリックします。
- 7 「インターネットオプション」ダイアログの「OK」ボタンをクリックします。

以上で設定は完了です。

なお、「信頼済みサイト」に登録後も正常に動作しない場合は、「信頼済みサイト」のセキュリティの設定を確認してください。

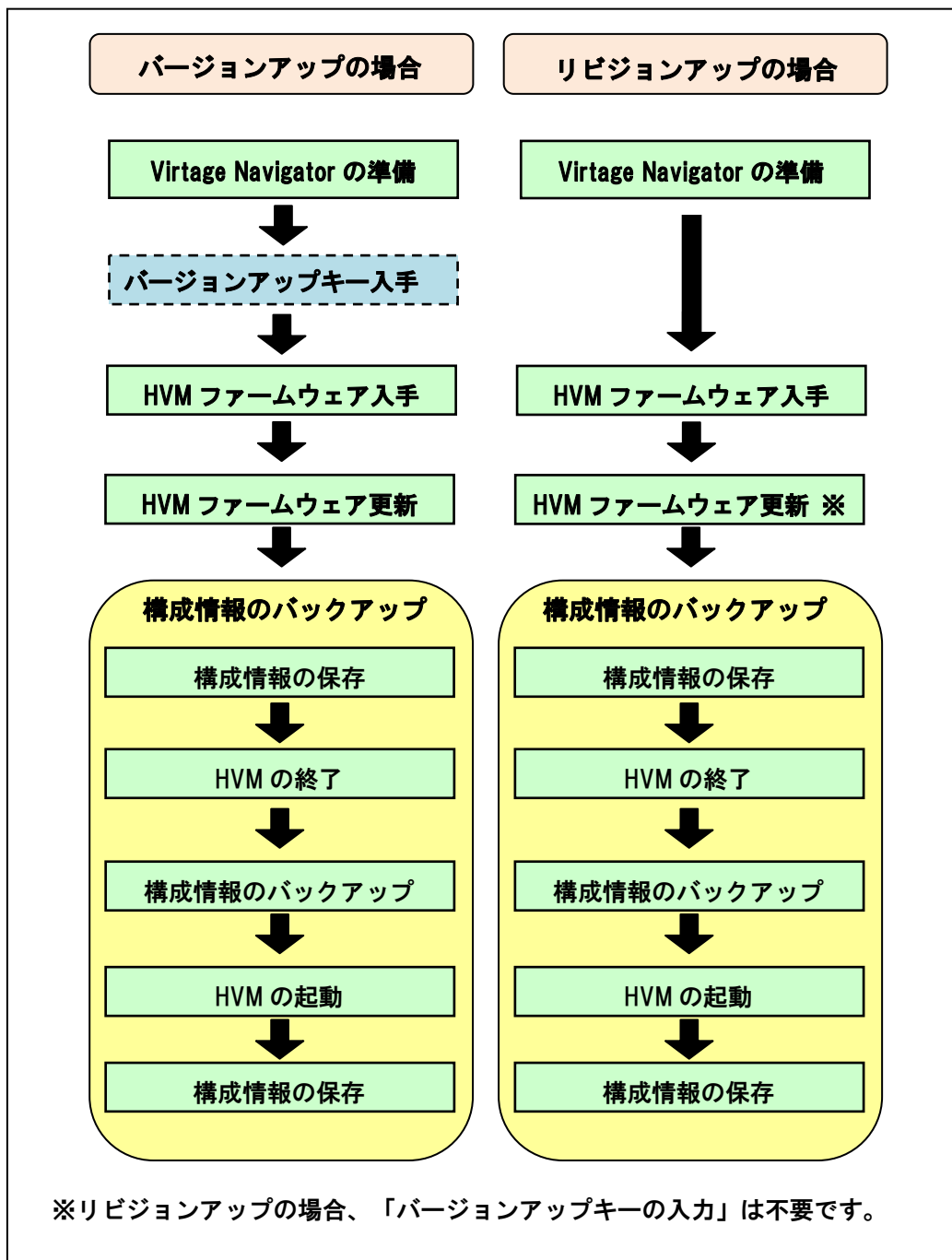
- 1 メニューから「ツール」→「インターネットオプション」を選択します。
- 2 「インターネットオプション」ダイアログの「セキュリティ」タブをクリックします。
- 3 「信頼済みサイト」のアイコンをクリックします。
- 4 「レベルのカスタマイズ」ボタンをクリックします。
- 5 「セキュリティの設定」ダイアログで、次の項目を確認してください。設定が異なっていた場合は設定を変更してください。
 - ・スクリプト
 - +アクティブ スクリプト
 - +有効にする
 - ・その他
 - +ページの自動読み込み
 - +有効にする

2.2 バージョンアップ、リビジョンアップ手順

この節では、HVM Web システムを利用した HVM 稼働時のバージョンアップ、リビジョンアップ手順について説明します。

Virtage Navigator でバージョンアップ、リビジョンアップをする場合は、それぞれ以下の手順で行ってください。

下図では、 (実線枠)はバージョンアップ、リビジョンアップのいずれの場合も必要な作業を、 (破線枠)はバージョンアップの場合にのみ必要な作業を示しています。



2.2.1 Virtage Navigatorの準備

Virtage Navigator を利用して HVM ファームウェアのバージョンアップ、リビジョンアップを行うには、Virtage Navigator の準備をする必要があります。

Virtage Navigator の準備につきましては、「BladeSymphony Virtage Navigator ユーザーズガイド 導入編」を参照してください。

2.2.2 バージョンアップキーの入手

バージョンアップキーの入手には、HVM ファームウェアバージョン、ブレードシリアル番号を確認しておく必要があります。

□HVM ファームウェアバージョン(VV-RR)

HVM ファームウェアのダウンロード時に確認してください。

また、ダウンロードした HVM ファームウェアからもご確認いただけます。

項目	ファイル名	備考
HVM ファームウェア	hvm_bs2k_xeon_VV.RR.TT.KK.iso	標準サーバブレード
	hvm_bs2k_mp_xeon_VV.RR.TT.KK.iso	高性能サーバブレード

□ブレードシリアル番号

対象サーバブレードのブレードシリアル番号を確認してください。

マネジメントモジュールの「DF コマンド」を実行します。

```
SVP>DF [Enter] ← DF を入力します。

<< DF - Show field replaceable unit information. >>

-- Detail field replaceable unit information menu --
  C. Server chassis.
  M. Management module.
  S. Server blade.
  I. I/O board module.
  SW. Switch module.
  PS. Power supply module.
  T. Show mass of modules.
  A. All module.
  Q. Quit.
(C, M, S, I, SW, PS, T, A, [Q]) : S [Enter] ← S を入力します。
Select server blade (0-7, A=All, [Q=Quit]) : 0 [Enter] ← サーバブレード番号を入力します。
--- Server blade ---
Slot          : 0

-- Board information --
Manufacturer   : SUPERMICRO
Product Name   : X8DTE-HTC01
Serial Number  : 91200021

-- Product information --
Manufacturer    : HITACHI
Product Name    : BladeSymphony E55
Part/Model Number : GVAE55A1-3NNN14X
Product Version : 0020G55100
Serial Number   : 4600B60 T901000001 ← ブレードシリアル番号を確認します。

-- 以下省略 --
```


ご契約者様専用ページからバージョンアップキーを発行する手順を以下に示します。

ご契約者様専用ページは、改良のため予告なしに変更することがあります。

- (1) サポートサービスのホームページから、ご契約者様専用ページにログインします。サポートサービスのホームページは以下になります。

<http://www.hitachi-support.com/>

ご契約者様専用ページにログインするためには、サポートサービス契約時に発行されるログインIDとパスワードが必要になります。

- (2) 「改良版が欲しい 製品に関する申請をしたい」の「各種申請」をクリックします。

キーワード検索 マニュアル検索

使い方

検索

問題を解決したい
製品の使い方を知りたい

FAQ ソフトウェアマニュアル メッセージID検索
ソフトウェア添付資料 セキュリティ情報
問い合わせ履歴
IT Report Utility(システム情報採取ツール)
障害回避・予防のお知らせ
ハード保守や他サービスもワンストップ受付

製品発行情報が知りたい
修正内容が知りたい

発行バージョン一覧
日立ミドルウェアプラットフォーム対応状況
日立オープンミドルウェアバージョンライフサイクルポリシー

改良版が欲しい
製品に関する申請をしたい

改良版請求/修正バッチ **各種申請**

New Topics ミドルウェア OS系 ハードウェア系

HOME
ご契約内容一覧
改良版請求
FAQ
お問い合わせ

ユーザ情報登録 / 変更
サービス利用状況
サービス利用ガイド
メールサービス申込み
パスワード変更
営業日カレンダー

統合ID設定
My Directory
表示内容フィルタリング

- (3) 「BS2000 Virtage 有効化」をクリックします。

日立サポート360 HITACHI Inspire the Next

各種申請

■ BS1000 HVMライセンスキー発行

■ **BS2000 Virtage有効化**

お客様事情によりWebフォームからの申し込みができない場合は、以下の帳票をダウンロードし、必要事項を記入の上、FAXにて日立ソリューションサポートセンターに送付ください。

[日立サポート360 改良版申込書](#)[PDF形式, 173,089 バイト]

[サポート情報登録票](#)[PDF形式, 142,254 バイト]

[個人情報の取り扱い](#) | [日立および他社の商品名称に関する記述](#)

© Hitachi, Ltd. 1994, 2012. All rights reserved.

閉じる

(4) BS2000 Virtage メニュー画面で、「バージョンアップキーの発行」をクリックします。

日立サポート360HITACHI
Inspire the Next

BS2000 Virtage メニュー画面

BS2000 Virtageに関する以下のメニューをご用意しています。目的に応じて選択してください。

操作メニュー

HVMライセンスキーの発行

Virtageを3LPAR以上でご利用になる際に必要となる、HVMライセンスキーを発行します。
お客様のサポートサービス契約内容に従い、以下の手順1または、手順2でHVMライセンスキーを発行してください。

手順1: [BS2000 Virtage Enterpriseモデル サポートサービスを新規](#)でご契約いただいたお客様は [こちら](#)へ

- (1)サーバブレードの登録
- (2)HVMライセンスキーの発行

手順2: [BS2000 Virtage モデルアップサポートオプションを追加](#)でご契約いただいたお客様は [こちら](#)へ

- (1)サーバブレードの登録
- (2)モデルアップサポートオプションの適用
- (3)HVMライセンスキーの発行

バージョンアップキーの発行

ファームウェアのバージョンアップをするために、バージョンアップキーの発行を行います。


登録内容の確認/更新

登録したサーバブレードの内容を確認します。さらに登録したコメントを更新します。

© Hitachi, Ltd. 1994, 2009. All rights reserved.

閉じる

- (5) Virtage バージョンの入力、バージョンアップキーを発行するサーバブレードを選択し、「テキストファイル形式で発行」ボタンをクリックします。


日立サポート 360

HITACHI
Inspire the Next

バージョンアップキー発行

Virtageをバージョンアップする際に必要となる、バージョンアップキーを発行します(*1)。

適用するVirtageのバージョン、レビジョンを入力後、「サービス対象ブレード一覧」より、対象となるサーバブレードを選択し、「発行」ボタンを押下してください。

ブレードシリアル番号およびHVMライセンスキーの情報が、以下の形式で出力されます。

- ・ISOイメージファイル形式で発行(*2)
- ・テキストファイル形式で発行(*3)

*1 バージョンアップキーの適用方法につきましては、BladeSymphony BS2000 Virtageバージョンアップ手順書を参照ください。

*2 HVMメンテナンスツールによりキー入力を行う場合は、ISOイメージとしてCDメディアに書き込んでご使用ください。このISOファイルを利用することで、バージョンアップキーの入力が不要となります。詳しくは「Virtageバージョンアップ手順書」を参照してください。

*3 テキストファイルよりコピー & ペーストが可能となりHVMライセンスキー設定時の入力工数が低減できます。

Virtageバージョンの指定

Virtageバージョン	半角英数字で入力 <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;"> <input type="text"/> - <input type="text"/> (例) VV - RR </div>
--------------	---

サービス対象ブレード一覧

サポートサービス割当状況	対象 全て選択	ブレードシリアル番号	備考
Enterprise	<input checked="" type="checkbox"/>	4600B50 T918000044	
Enterprise	<input checked="" type="checkbox"/>	4600B50 T918000051	

ISOイメージファイル形式で発行

テキストファイル形式で発行

メニューへ戻る

・対象となるサーバブレードが未登録 のお客様は [こちらへ](#)

©Hitachi, Ltd. 1994, 2009. All rights reserved.

閉じる

項目	備考
ISO イメージファイル形式で発行	バージョンアップキー自動入力を行う場合、こちらを選択してください。(※1)
テキストファイル形式で発行	バージョンアップキー自動入力を行わない場合、こちらを選択してください。

(※1) Virtage Navigator では、バージョンアップキー自動入力はできません。

2.2.3 HVMファームウェアの入手

HVM ファームウェアを BladeSymphony のホームページからダウンロードしてください。

ホームページアドレス <http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/>

注意) ファイル名は、変更しないでください。

名称を変更したファイルを使用した場合、バージョンアップ、リビジョンアップはできません。

なお、HVM ファームウェアを以下のフォルダに保存することを推奨します。

【BS2000(標準ブレード)のバージョンアップまたはリビジョンアップを行う場合】

・ Virtage Navigator インストールフォルダ¥VirNavi¥FWUpdateFiles¥HVM¥BS2000DP

【BS2000(高性能ブレード)のバージョンアップまたはリビジョンアップを行う場合】

・ Virtage Navigator インストールフォルダ¥VirNavi¥FWUpdateFiles¥HVM¥BS2000MP

【BS320 のリビジョンアップを行う場合】

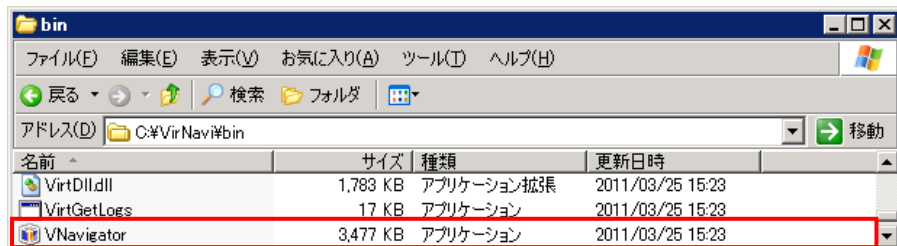
・ Virtage Navigator インストールフォルダ¥VirNavi¥FWUpdateFiles¥HVM¥BS320

2.2.4 HVMファームウェア更新

この項では、Virtage Navigator を利用した HVM ファームウェアの更新手順について説明します。

2.2.4.1 Virtage Navigator の起動

- (1) Virtage Navigator を起動するには、VNavigator.exe を実行します。
VNavigator.exe は Virtage Navigator インストールフォルダ¥VirNavi¥bin に格納されています。



Virtage Navigator を起動すると Login ウィンドウが開きます。

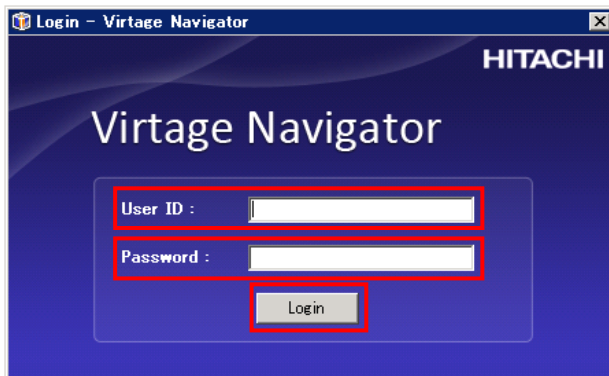


2.2.4.2 Virtage Navigator へのログイン

- (1) ユーザ ID、パスワードを入力し、Login ボタンをクリックします。
ログイン可能なユーザ ID は、以下のとおりです。

ユーザ ID	パスワード
user00	pass00

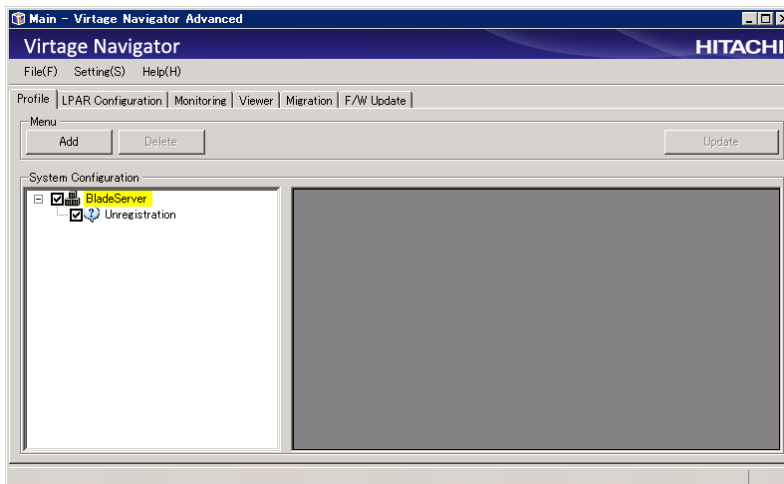
... 現在、ユーザ ID、パスワードの登録は未サポートです。
補足 固定のユーザ ID、パスワードでご使用下さい。



Virtage Navigator を起動する際に必要なデータを読み込みます。

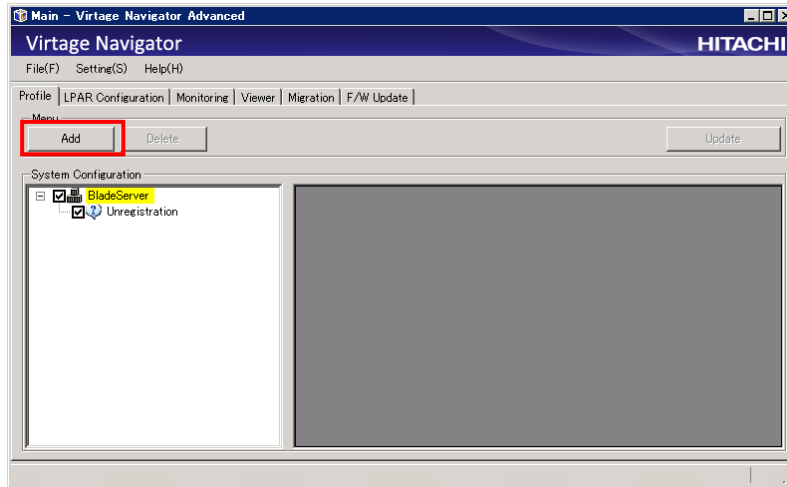


ログインすると Main ウィンドウが開きます。

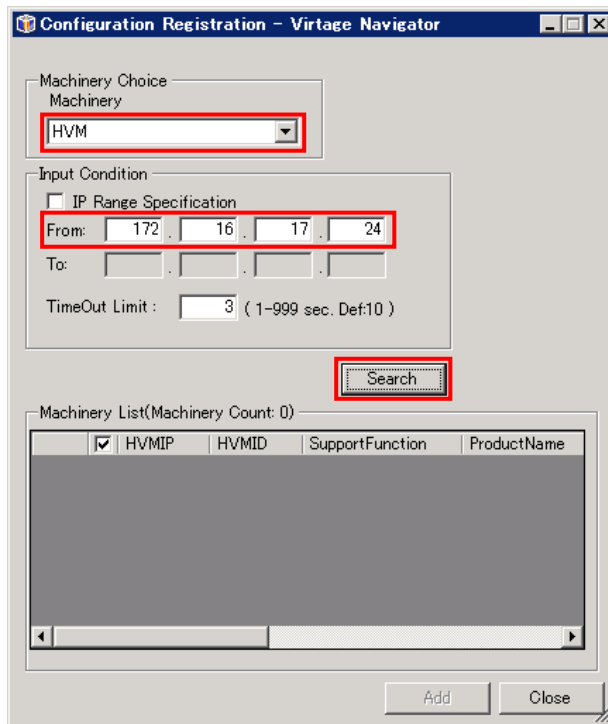


2.2.4.3 Virtage Navigator への HVM の登録

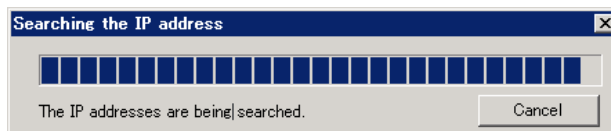
(1) Main ウィンドウ Profile タブで Add ボタンをクリックします。



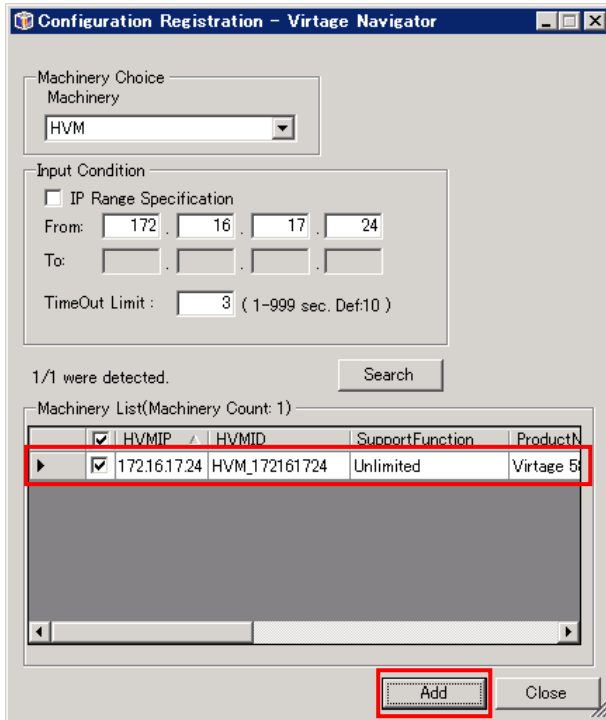
(2) 以下のとおり値を入力し、Search ボタンをクリックします。



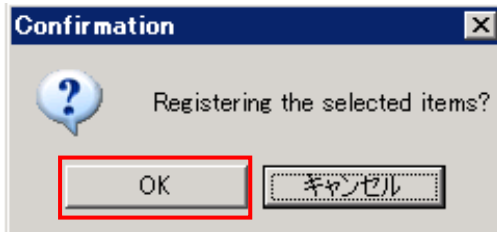
HVM の探索中は、Searching the IP Address ウィンドウが表示されます。



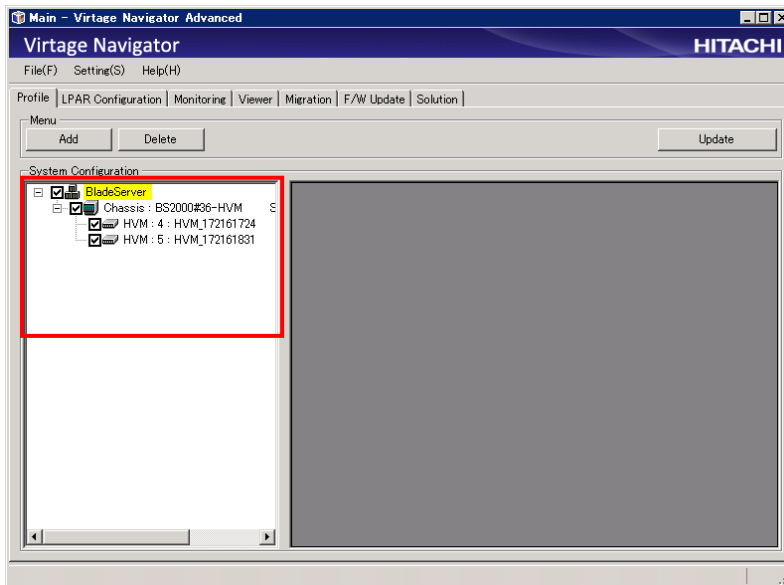
HVM が検知された場合、Machinery List に HVM が表示されます。
 追加する HVM にチェックがついていることを確認し、Add ボタンをクリックします。



(3) OK ボタンをクリックします。

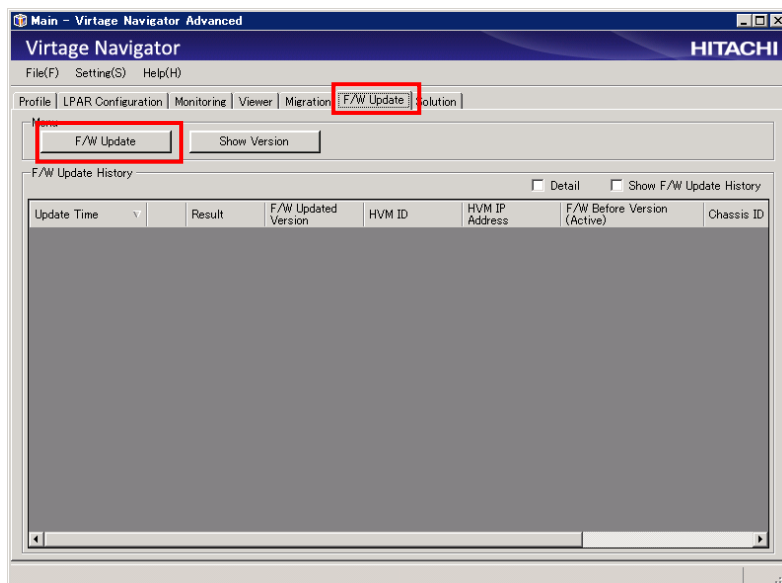


登録した HVM は、System Configuration のツリービューに表示されます。

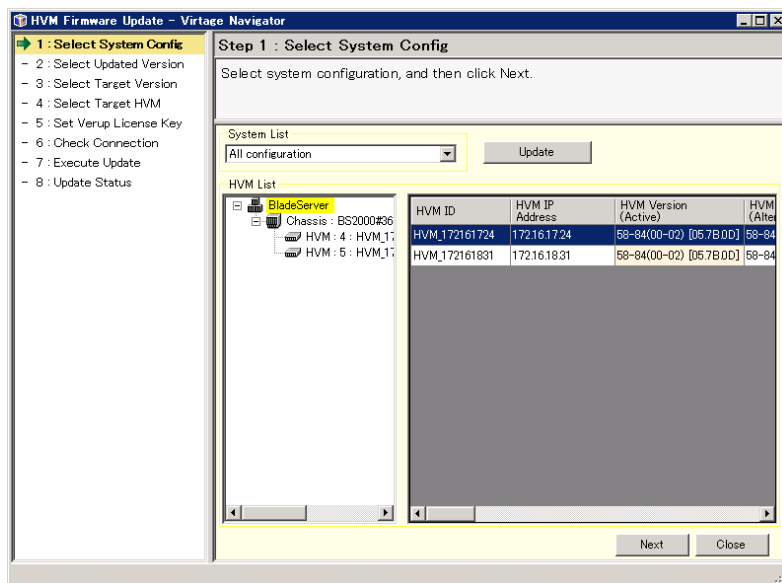


2.2.4.4 システム構成の選択

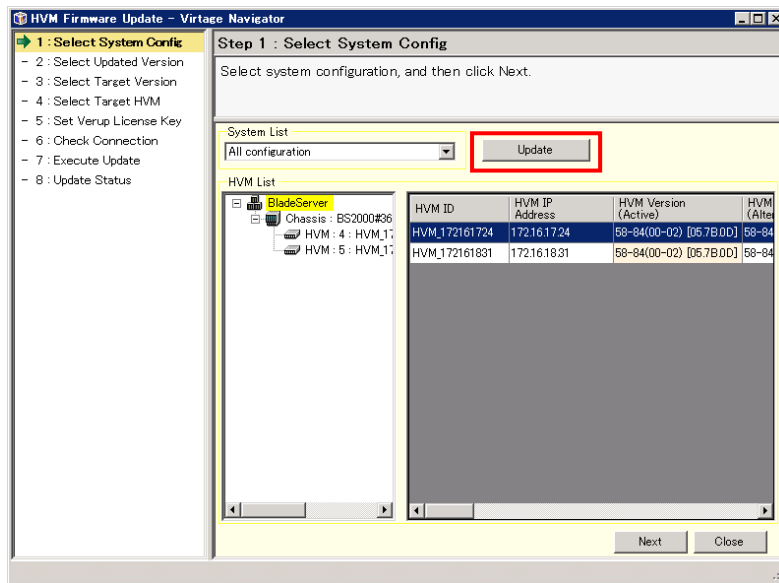
(1) F/W Update タブの F/W Update ボタンをクリックします。



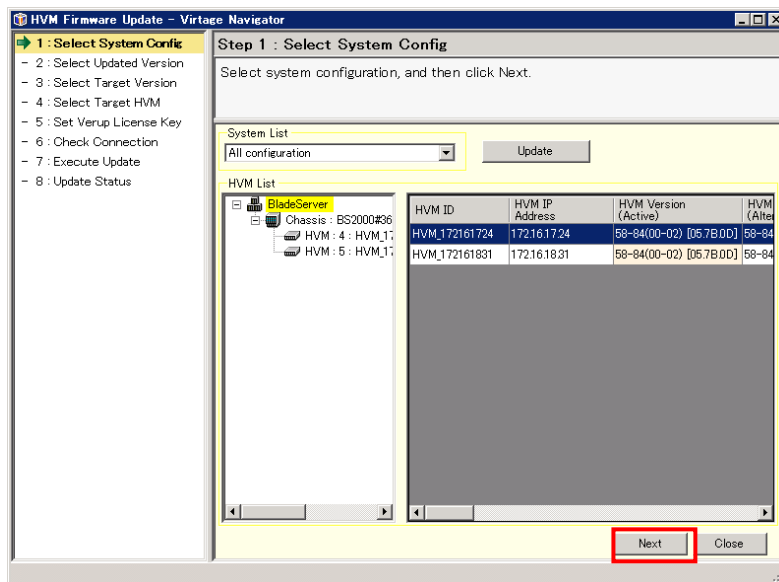
HVM Firmware Update ウィンドウの Step1:Select System Config が表示されます。



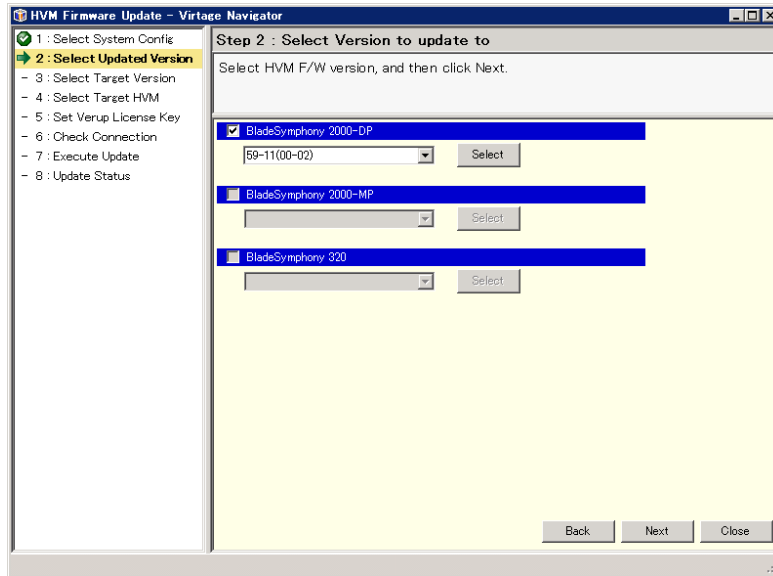
- (2) バージョンアップ、またはリビジョンアップの対象となる HVM が含まれていることを確認し、Update ボタンをクリックします。



- (3) Next ボタンをクリックします。



Step2 : Select Version to update to が表示されます。

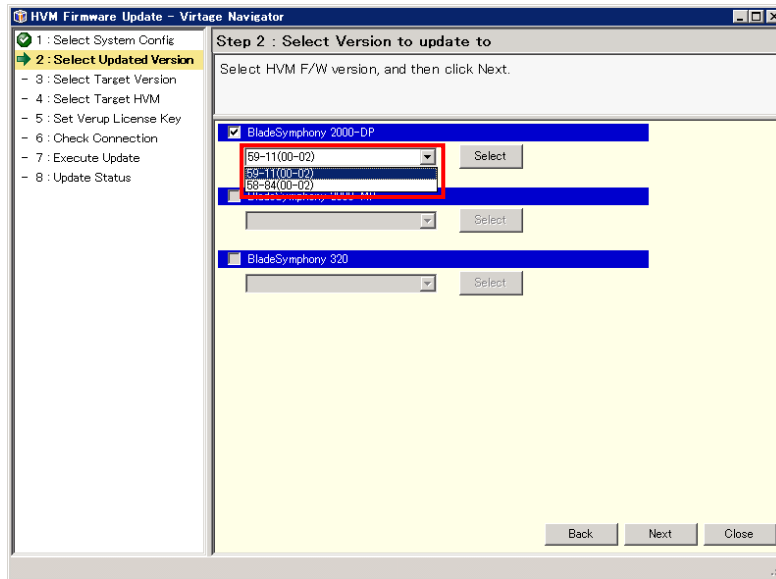


2.2.4.5 更新後のHVMファームウェアバージョンの選択

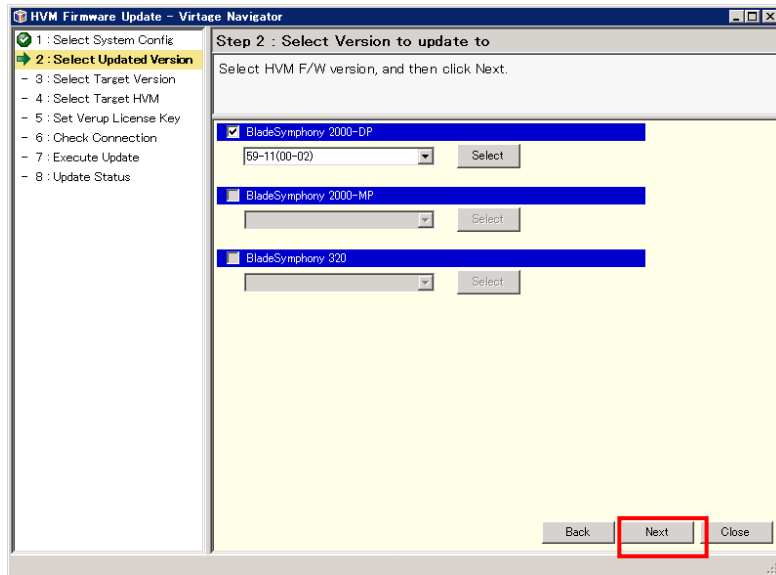
本手順では、例として Virtage Navigator インストールフォルダ¥VirNavi¥FWUpdateFiles¥HVM ¥BS2000 にHVMファームウェアを格納した場合の手順について説明します。

その他のフォルダにHVMファームウェアを格納した場合は、Select ボタンをクリックし、格納フォルダを指定した後、本項の手順を行ってください。

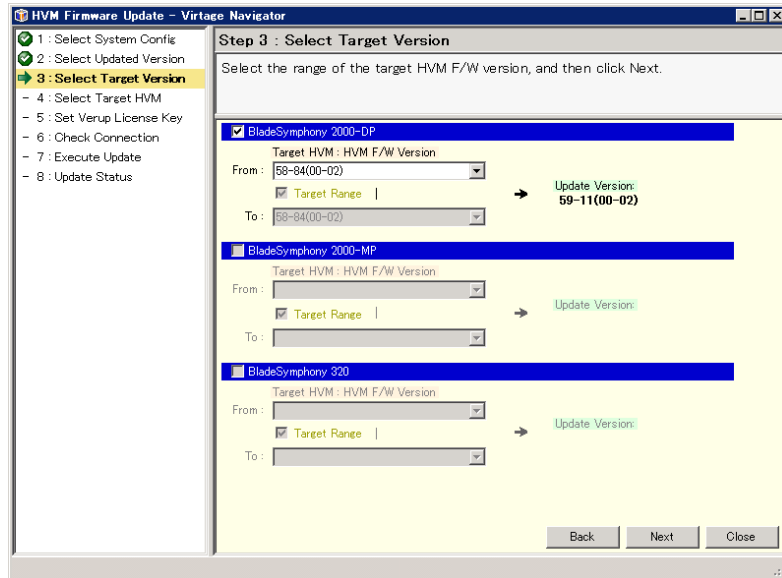
- (1) 更新後のHVMファームウェアのバージョンを選択します。
本手順では、例として59-11(00-02)へ更新するものとします。



- (2) Next ボタンをクリックします。



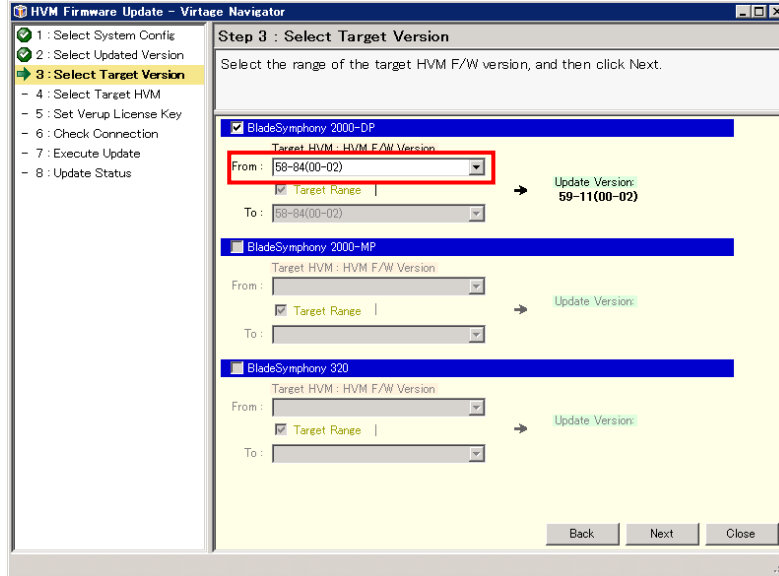
Step3 : Select Target Version が表示されます。



2.2.4.6 ファームウェアバージョンによる更新前 HVM の選択

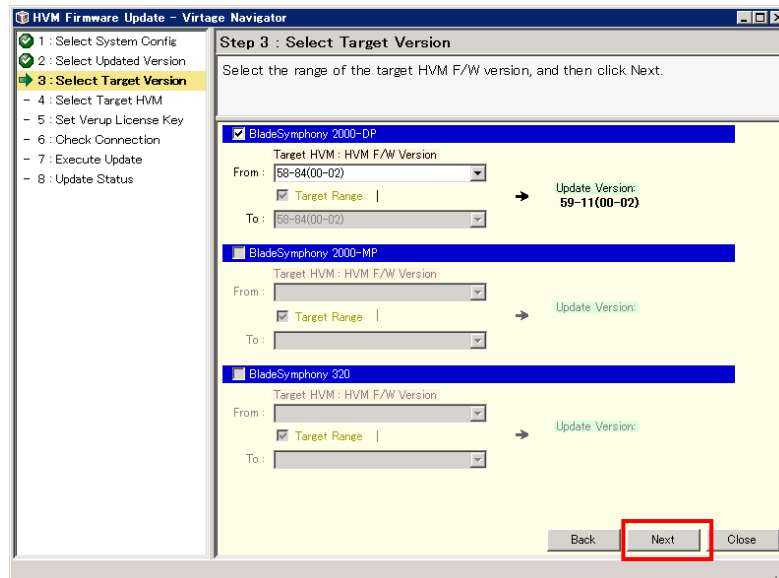
ファームウェア更新対象の HVM ファームウェアのバージョンを指定します。
HVM ファームウェアのバージョンの指定は、機種ごとに行います。
本手順では、例として BS2000 の 58-84(00-02)の HVM を更新対象とします。

(1) BladeSymphony2000 の From コンボボックスで、58-84(00-02)を選択します。

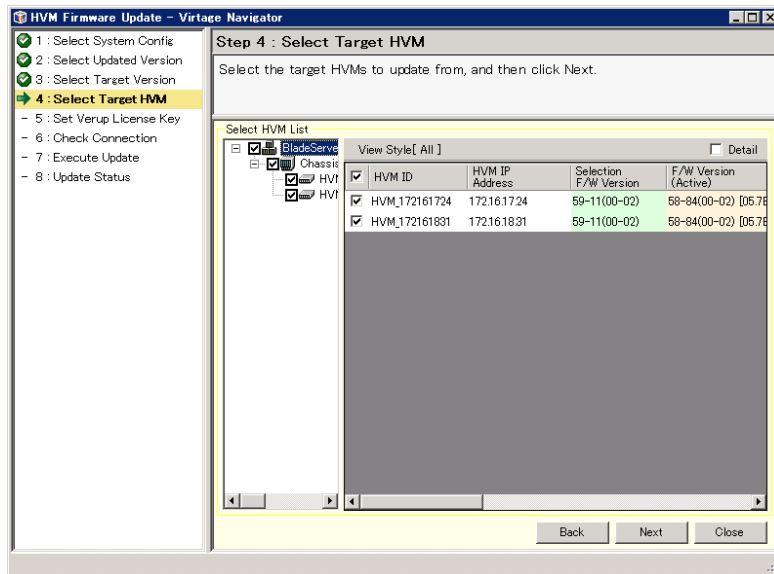


複数の HVM ファームウェアバージョンを更新対象とする場合は、Target Range チェックボックスにチェックをつけ、To コンボボックスで HVM ファームウェアバージョンを指定します。

(2) Next ボタンをクリックします。

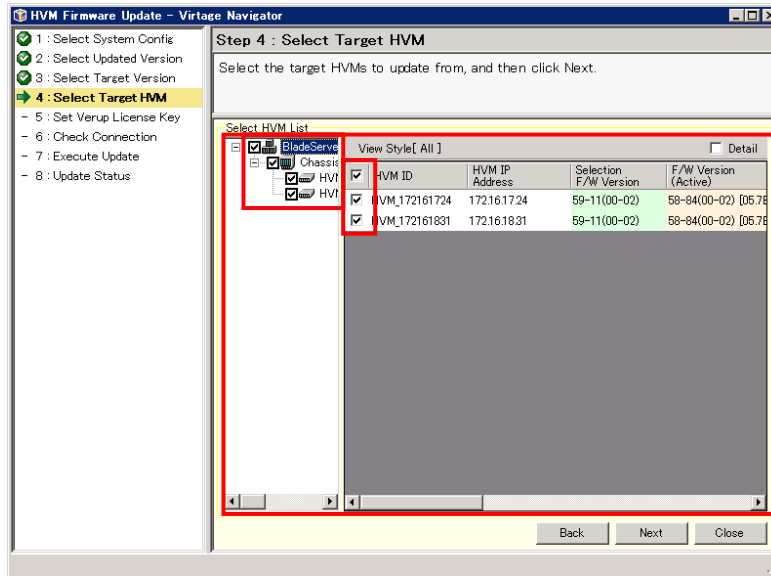


Step4 : Select Target HVM が表示されます。



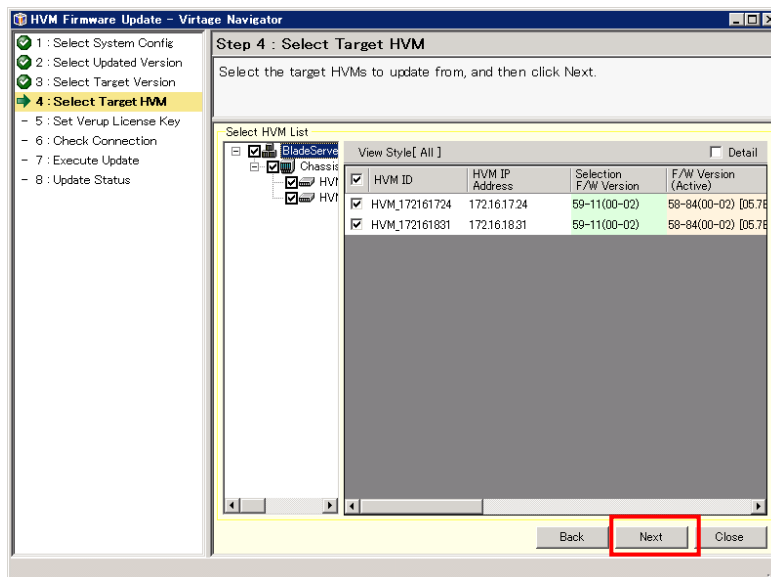
2.2.4.7 更新対象のHVMの選択

(1) Select HVM List のHVMの内容を確認します。



F/W Update 対象外のHVMが存在する場合は、Select HVM List の内、対象外のHVMのチェックボックスからチェックを外します。

(2) Next ボタンをクリックします。



更新対象のHVMにバージョンアップするHVMが含まれる場合は、ライセンスキーの入力が必要になります。

Step5 : Set Verup License Key でライセンスキーを入力します。

更新対象のHVMがすべてリビジョンアップの場合は、ライセンスキーの入力が不要なため、Step6 : Check Connectionが表示されます。

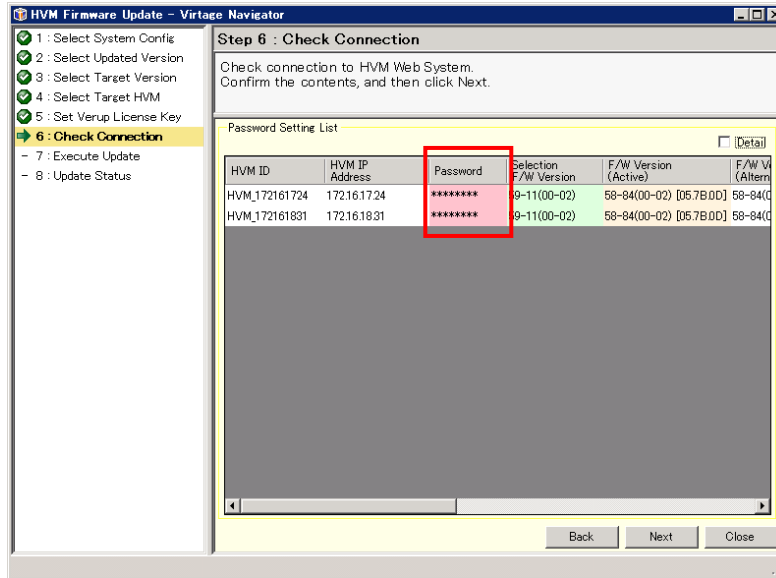
2.2.4.9 接続確認

Virtage Navigator では、HVM Web システムの機能を利用してバージョンアップ、リビジョンアップをします。

接続確認では HVM Web システムへの接続とログインの確認をします。

- (1) HVM Web システムのログインパスワードを変更している場合は、Password 列の内容を HVM Web システムのログインパスワードに合わせて入力してください。

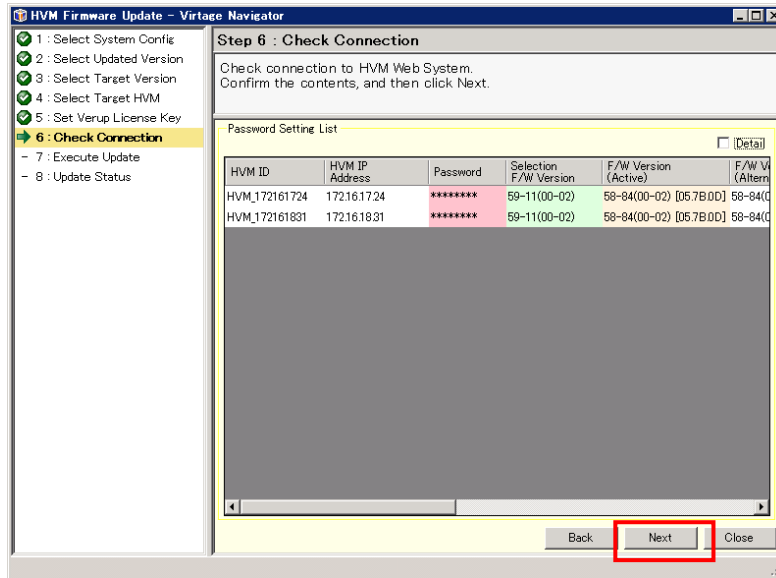
なお、初めて本機能を使用される場合は、工場出荷時の初期値が設定されています。



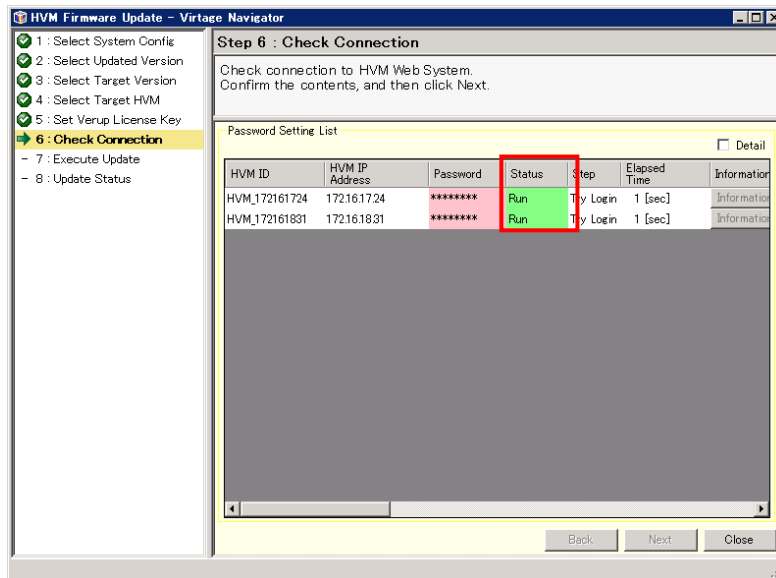
一度、接続確認が成功した HVM Web システムのログインパスワードは、Virtage Navigator で保持されるため、次回の FW アップデート時の再入力不要です。

なお、HVM Web システムのログインパスワードを変更した場合は、Password Setting List の Password 列の内容を再設定してください。

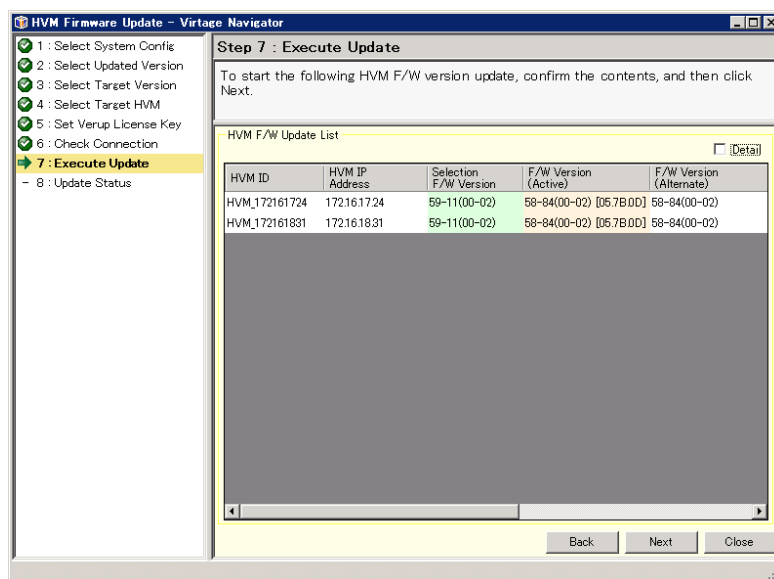
(2) Next ボタンをクリックします。



接続確認中は、以下の画面のように Status 列が Run になります。



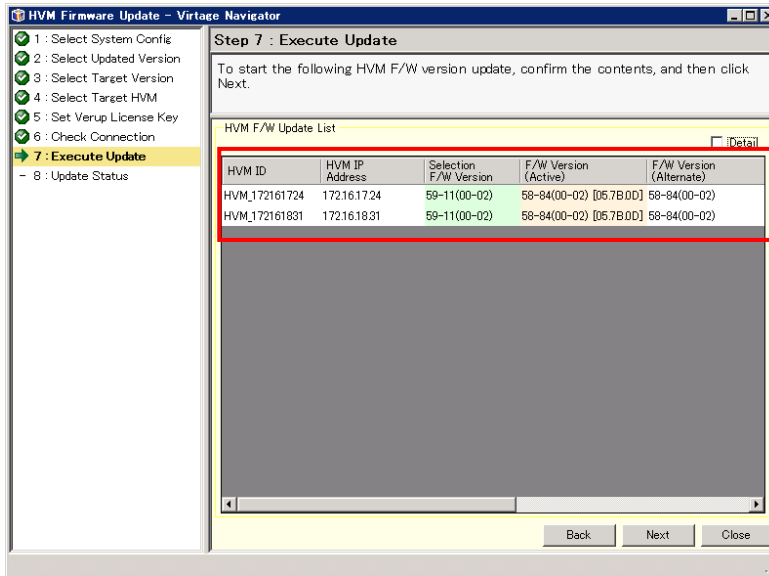
更新対象の HVM の接続確認がすべて成功すると、Step7 : Execute Update が表示されます。



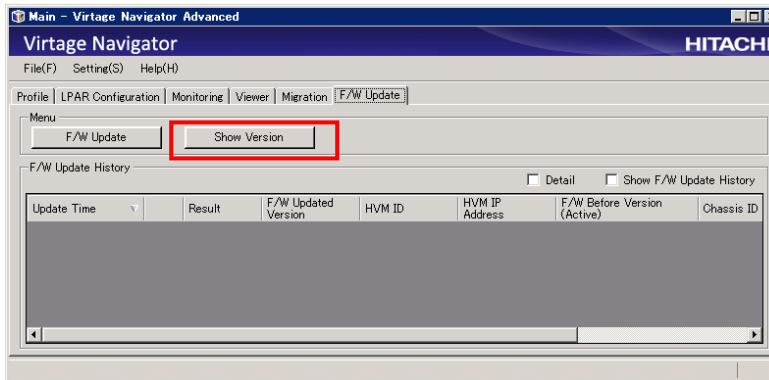
接続に失敗した HVM が存在する場合は、Password Setting List から失敗した HVM の Information ボタンをクリックして、Information ウィンドウの内容をご確認ください。

2.2.4.10 ファームウェア更新情報の確認と更新の実行

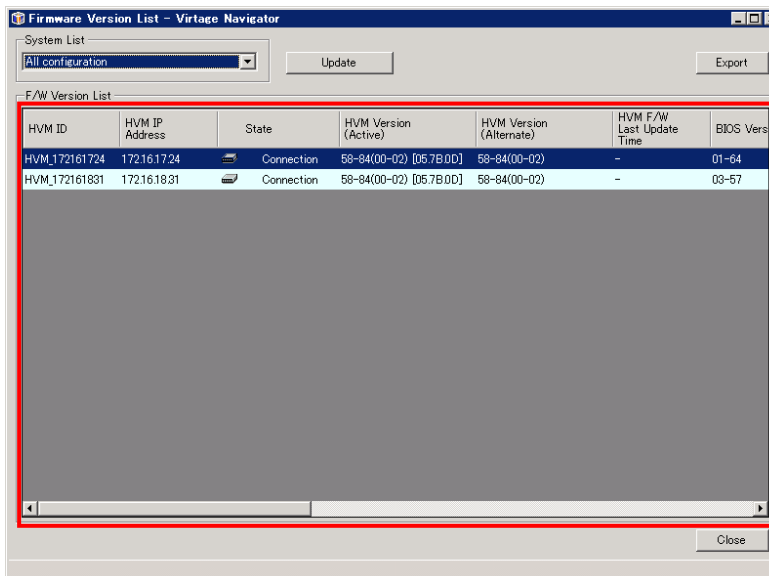
(1) HVM F/W Update List で、更新情報を確認します。



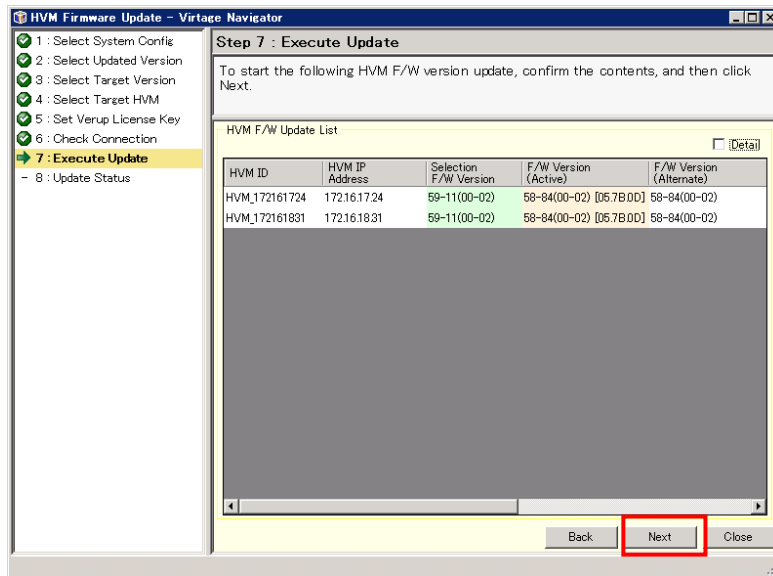
(2) Main ウィンドウの Show Version ボタンをクリックします。



(3) Firmware Version List ウィンドウの内容を確認します。

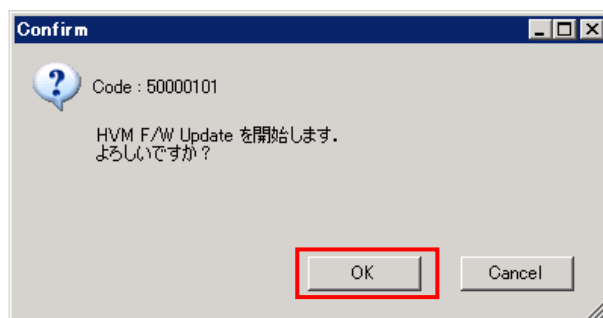


(4) HVM Firmware Update ウィンドウに戻り、Next ボタンをクリックします。



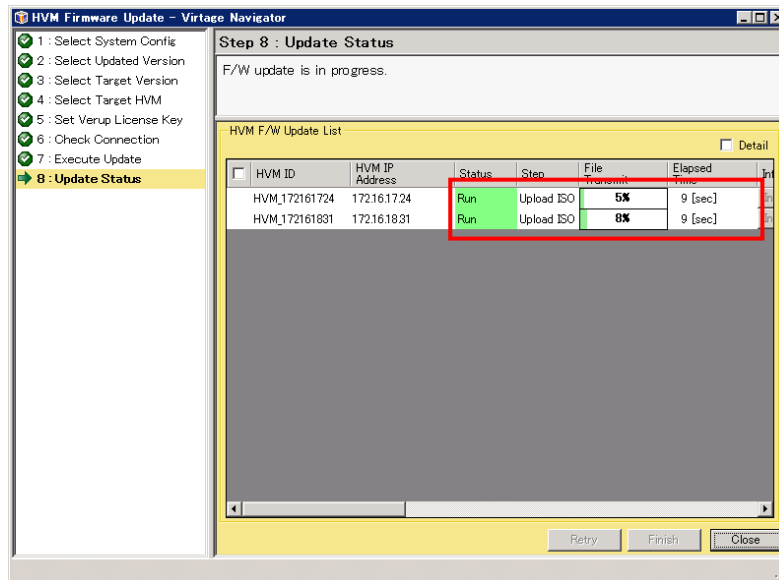
(5) OK ボタンをクリックし、ファームウェア更新を実行します。
ファームウェア更新には、通常 10 分弱かかります。
(ネットワーク性能などにより、所要時間が前後することがあります。)

なお、実行中のキャンセルはできませんので、ご注意ください。
また、実行中に Virtage Navigator を終了しないでください。

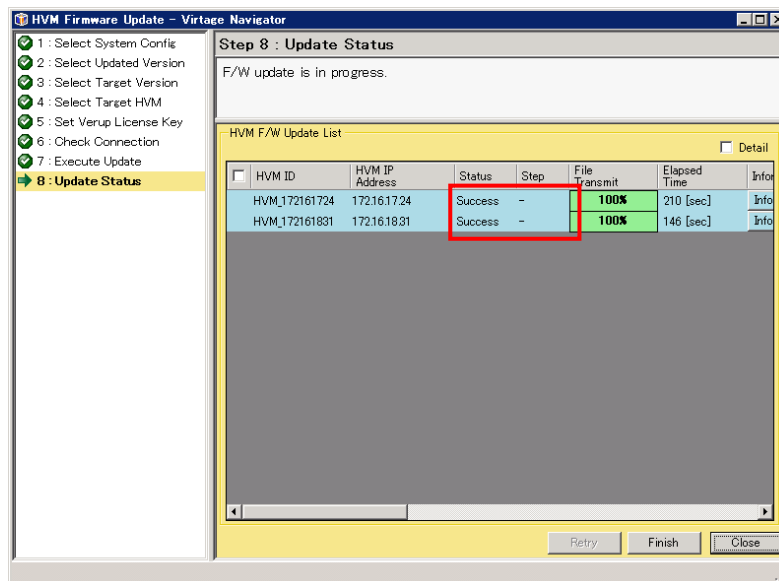


2.2.4.11 ファームウェア更新の実行状況確認

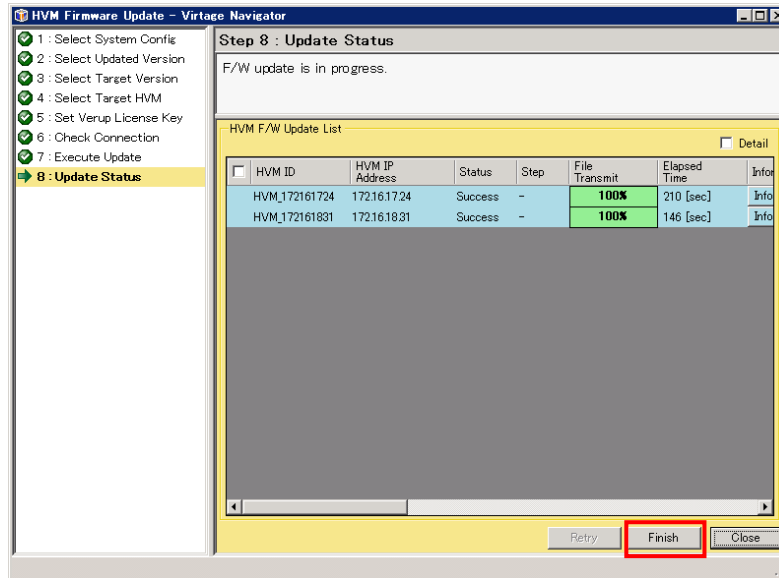
(1) 実行中のファームウェア更新の実行状況を確認します。



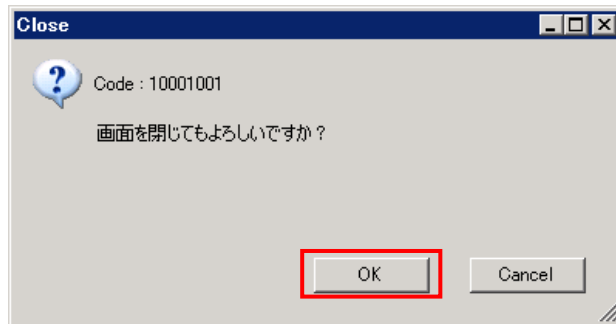
ファームウェア更新が完了すると、Statusが「Success」、Stepが「-」になります。



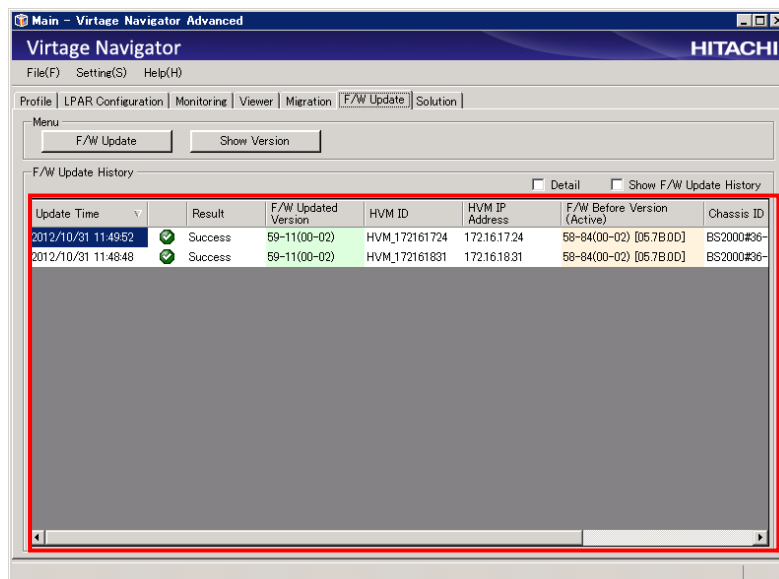
(2) ファームウェア更新を終了するには、Finish ボタンをクリックします。



(3) OK ボタンをクリックします。



(4) Main ウィンドウの F/W Update History で結果を確認します。



2.2.5 構成情報のバックアップ



注意

HVM ファームウェア更新後、HVM の起動を行う前に、構成情報のバックアップを行うことをお勧めします。

構成情報のバックアップを行うと、HVM ファームウェアの更新にて問題が発生した場合に、HVM ファームウェアの面の切り替えを行い、旧 HVM ファームウェアバージョンへ戻すことができます。

構成情報のバックアップファイルがないと、旧 HVM ファームウェアバージョンへ戻すことができません。

構成情報のバックアップ方法を以下に示します。

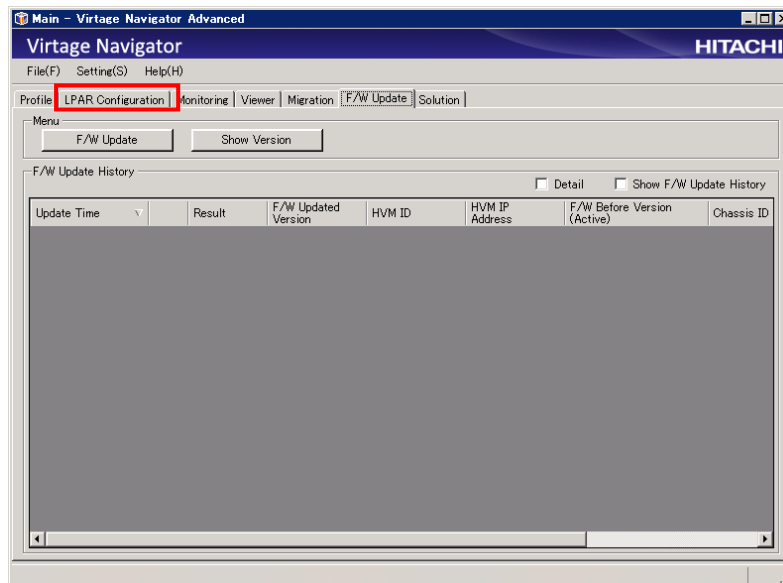
【BS2000 58-5X 以前のファームウェアの更新を行う場合】
【BS2000 78-5X 以前のファームウェアの更新を行う場合】

- (1) 構成情報を保存します。
HVM スクリーンで [F9] を押します。
- (2) サーバブレードの電源を切ります。
HVM スクリーンで [Alt] + [r] を押すと、サブスクリーンが表示されます。Shutdown を選択して [Enter] を押します。

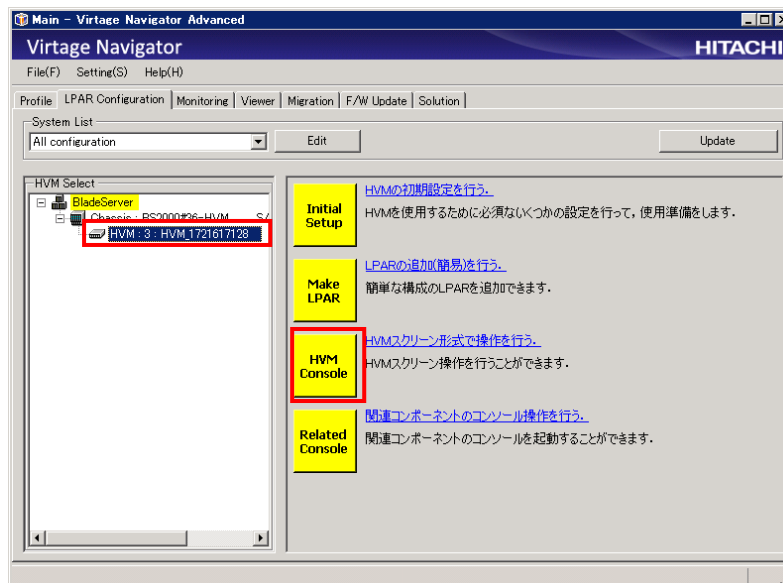
構成情報バックアップと HVM の起動につきましては、【BS2000 58-6X 以降のファームウェアの更新を行う場合】 【BS2000 78-6X 以降のファームウェアの更新を行う場合】 の(3)以降を参照してください。

【BS2000 58-6X 以降のファームウェアの更新を行う場合】
【BS2000 78-6X 以降のファームウェアの更新を行う場合】

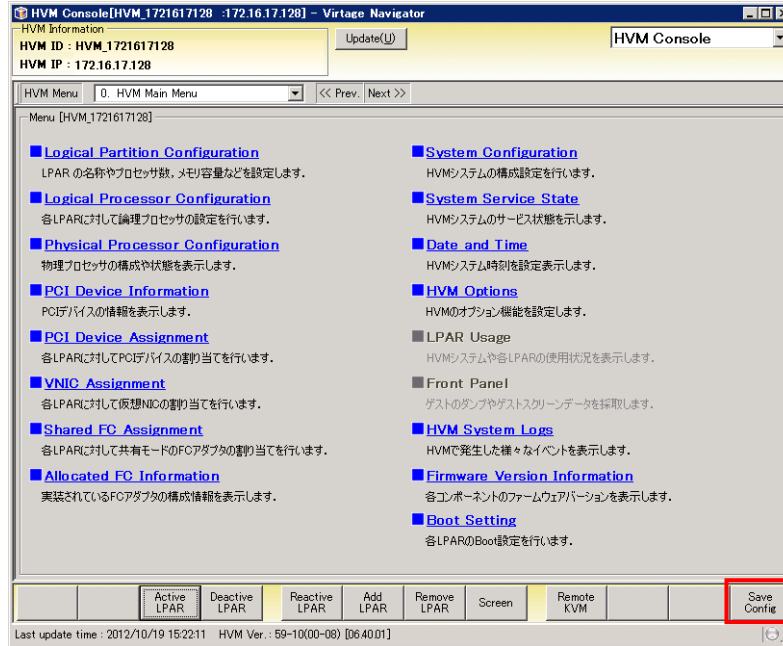
- (1) 構成情報を保存します。
(a) LPAR Configuration タブを選択します。



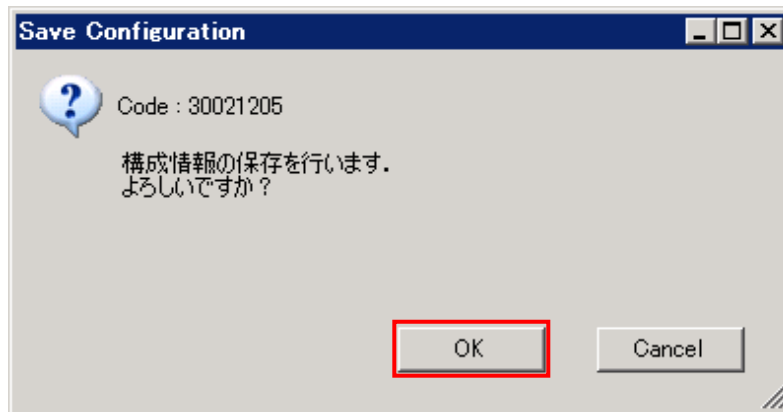
- (b) HVM Select グループボックスで HVM を選択し、HVM Console ボタンをクリックします。



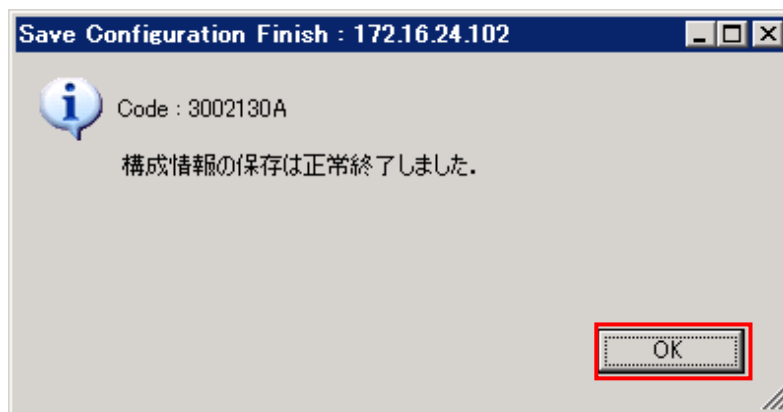
(c) Save Config ボタンをクリックします。



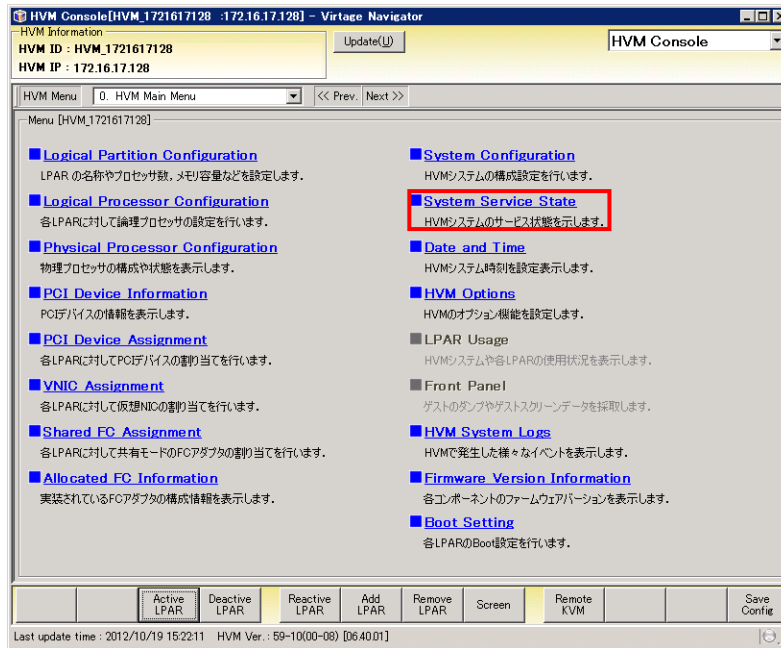
(d) OK ボタンをクリックします。



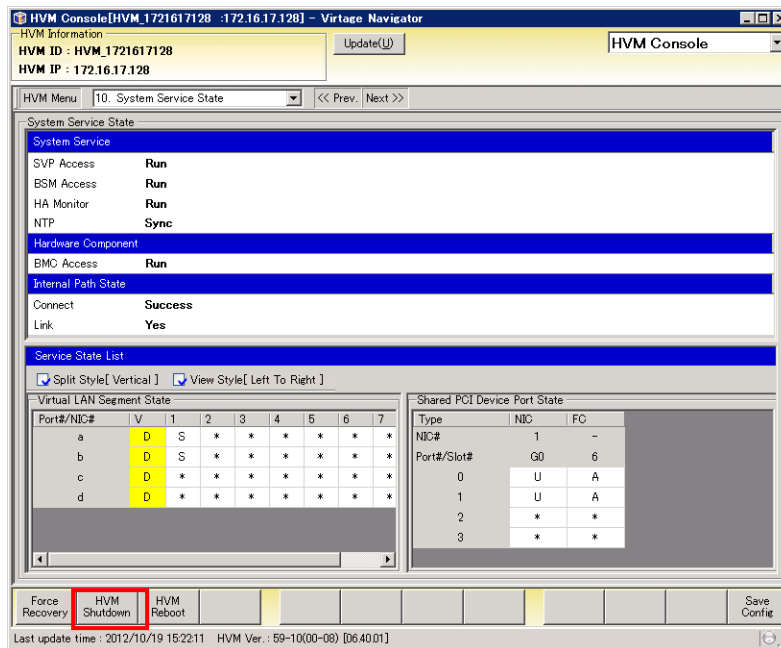
(e) OK ボタンをクリックします。



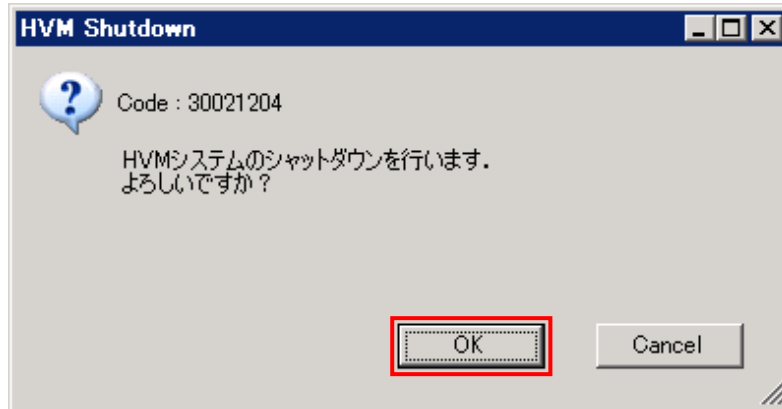
- (2) HVM を終了します。
 (a) System Service State を選択します。



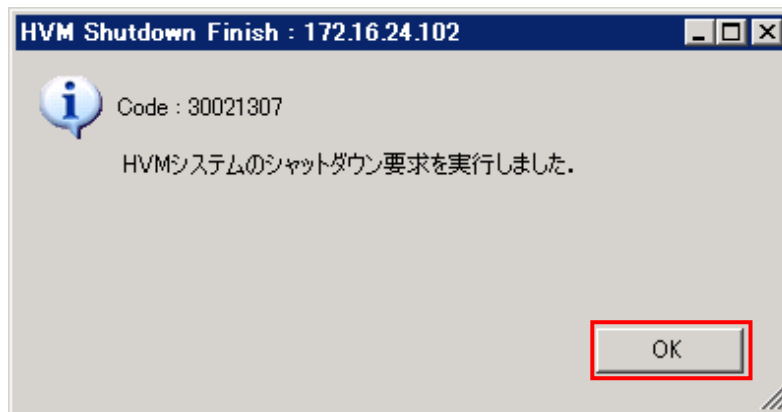
- (b) HVM Shutdown ボタンをクリックします。



(c) OK ボタンをクリックします。

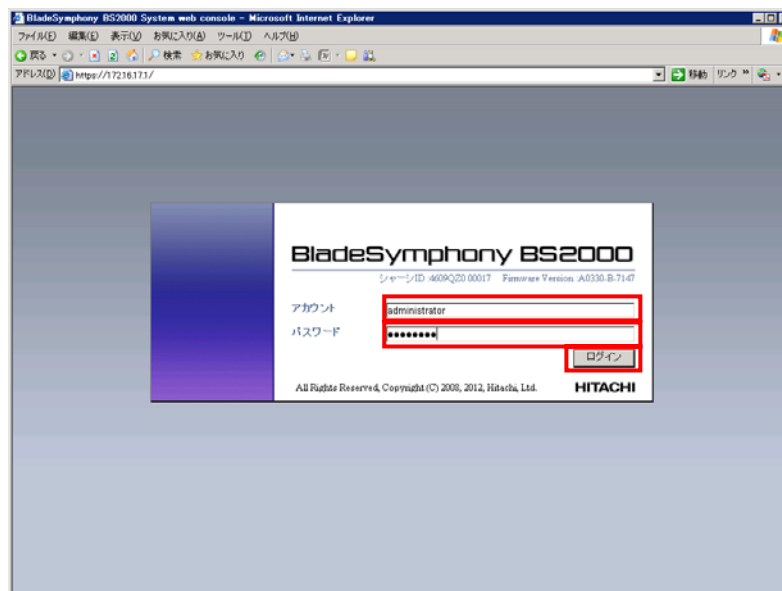


(d) OK ボタンをクリックします。



(3) 構成情報をバックアップします。

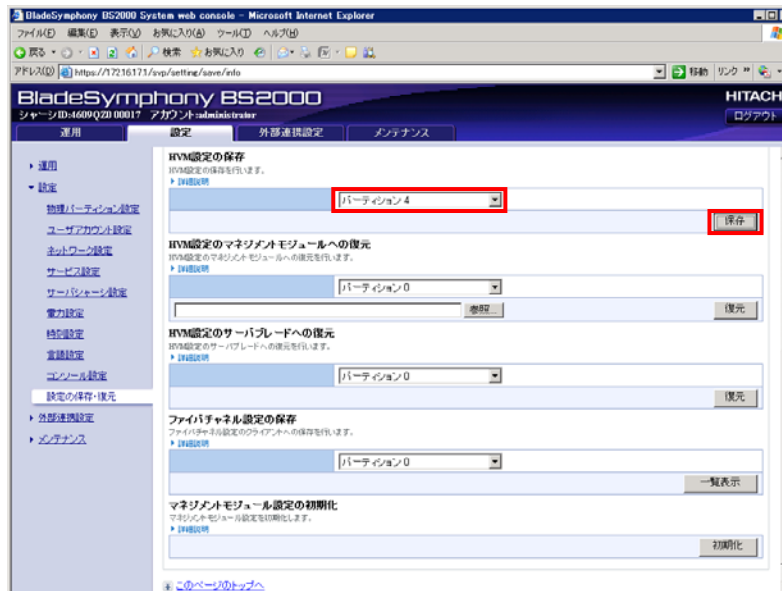
(a) システム Web コンソールで、ユーザアカウントとパスワードを入力し、ログインボタンをクリックします。



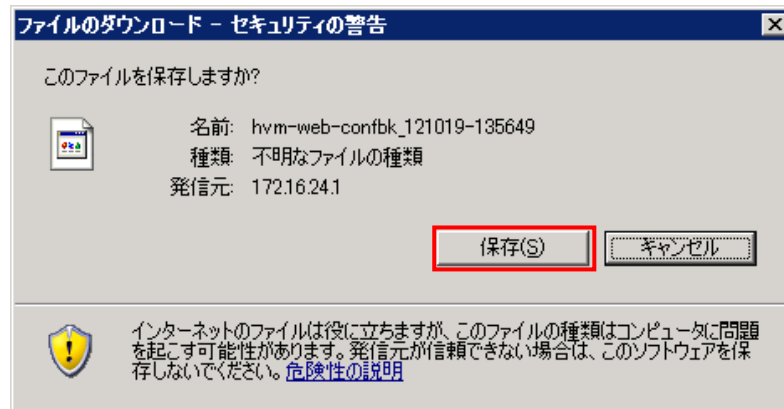
(b) 「設定の保存・復元」を選択します。



(c) パーティションを選択し、保存ボタンをクリックします。



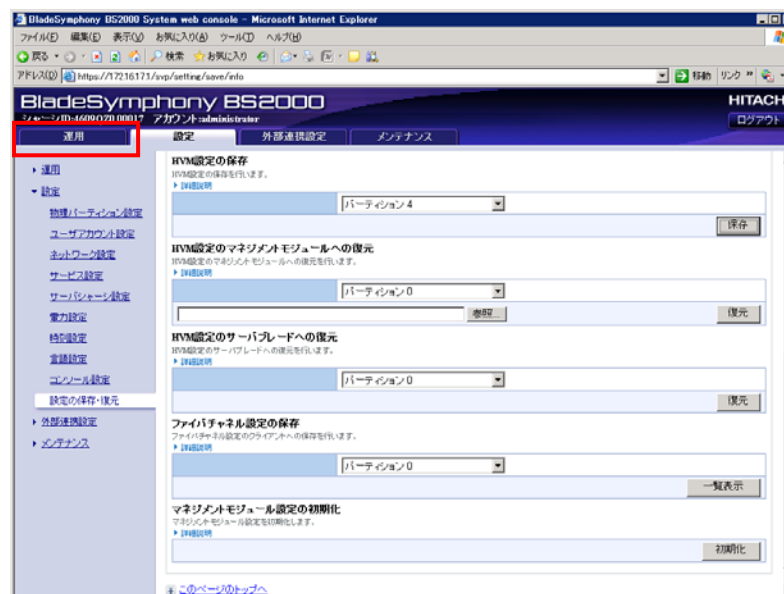
(d) 保存ボタンをクリックします。



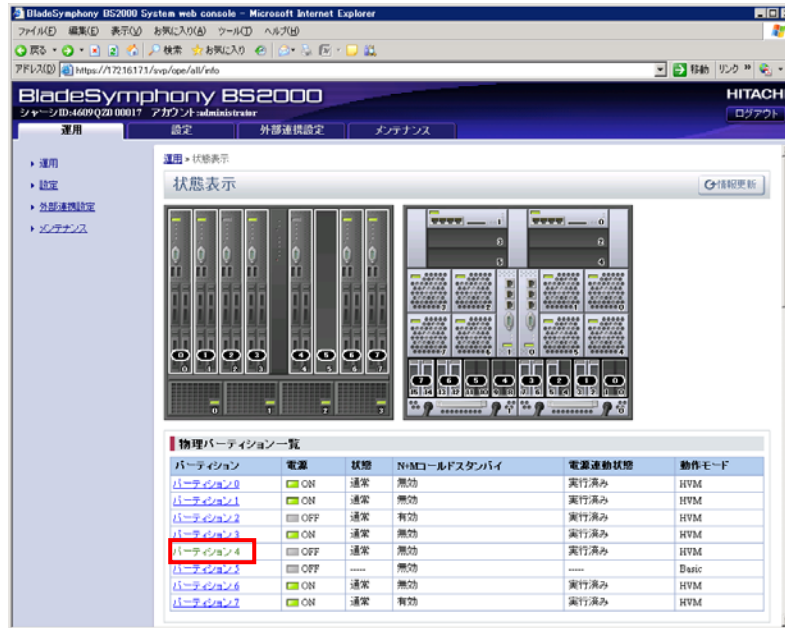
OS の操作手順に従ってファイルを保存します。

(4) HVM を起動します。

(a) 「運用」を選択します。



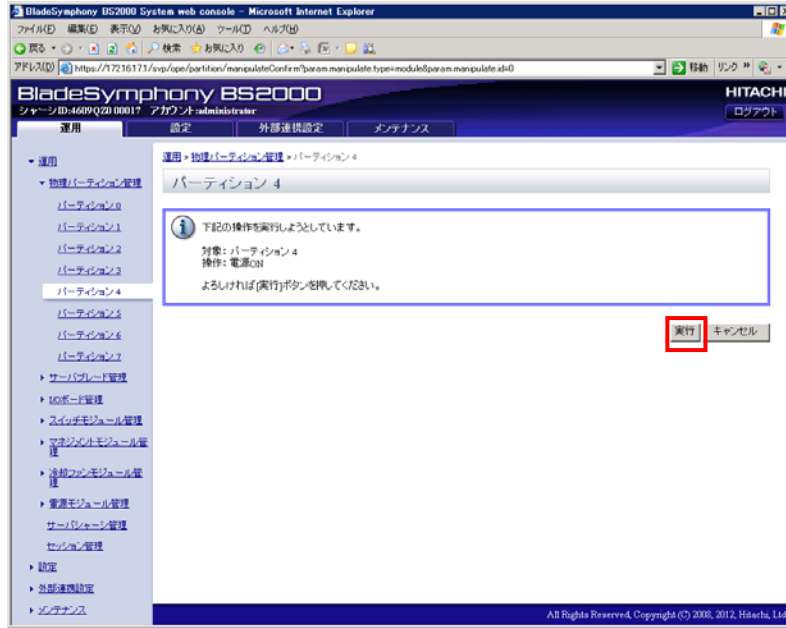
(b) 物理パーティション一覧で、パーティションを選択します。



(c) [操作]-[電源]欄で、OK ボタンをクリックします。



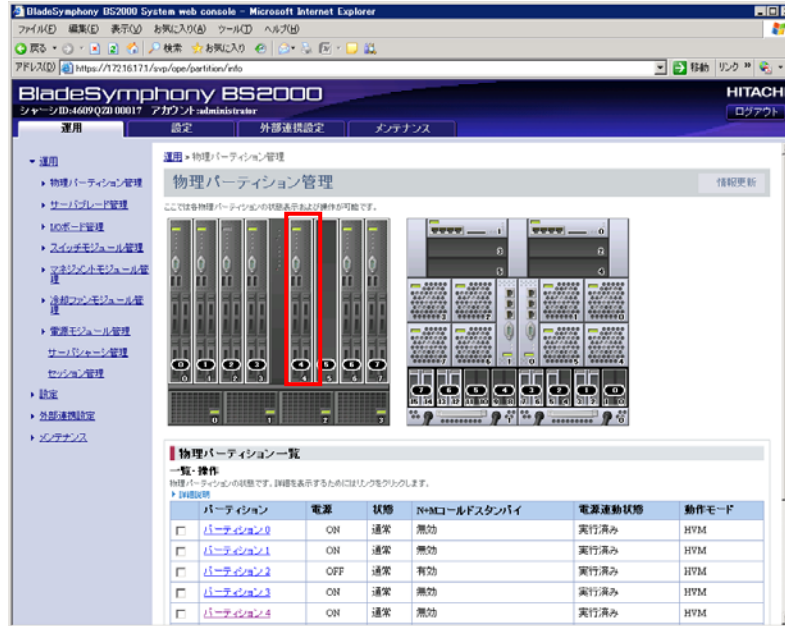
(d) 実行ボタンをクリックします。



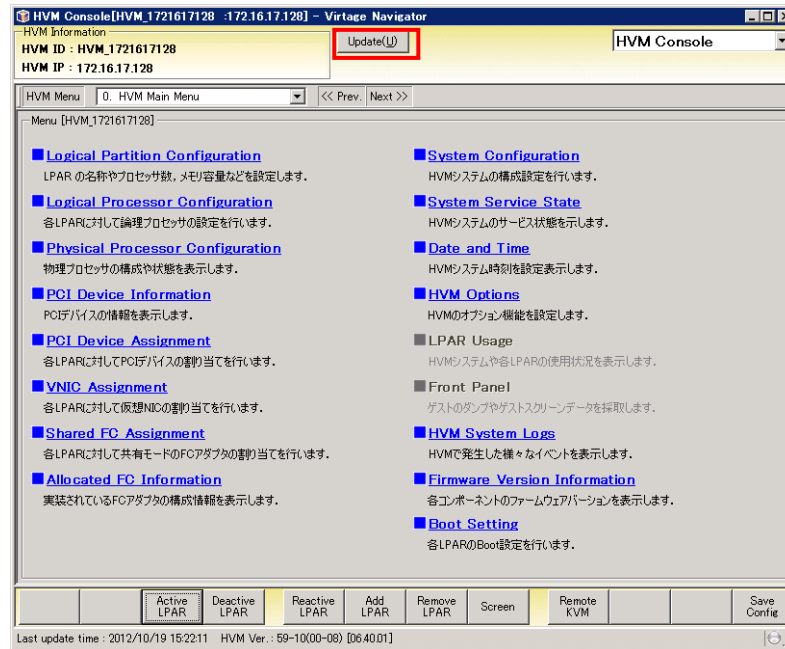
(e) しばらくしたら、情報更新ボタンをクリックします。



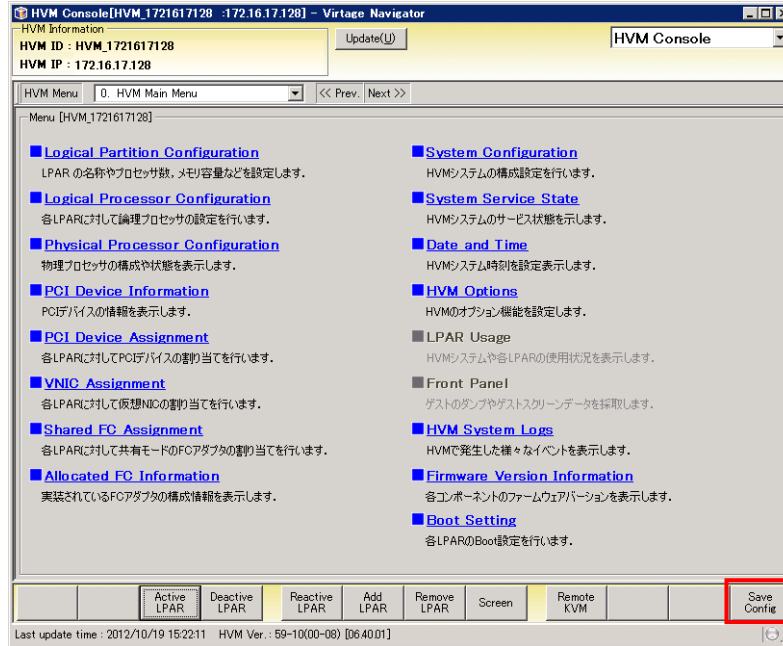
(f) 対象サーバブレードの電源が ON になっていることを確認します。



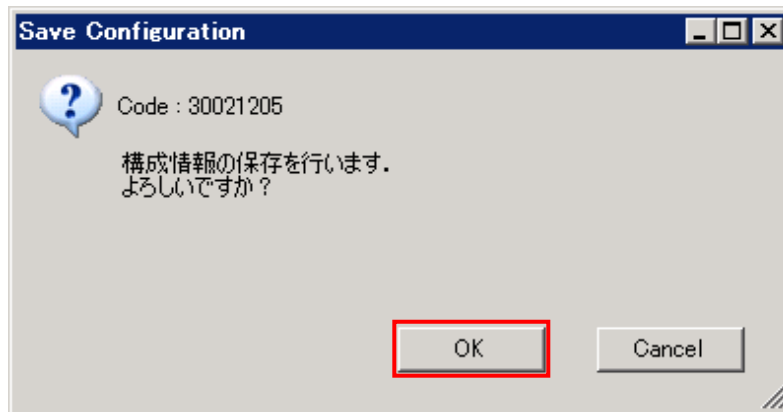
(g) HVM Console ウィンドウで Update(U)ボタンをクリックします。



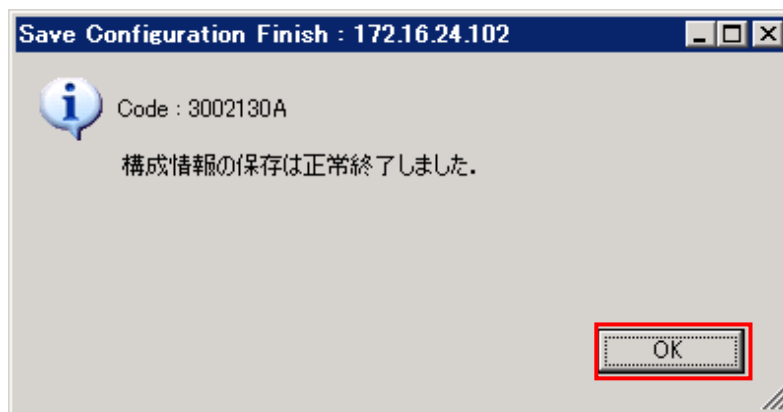
(h) Save Config ボタンをクリックします。



(i) OK ボタンをクリックします。



(j) OK ボタンをクリックします。



上記手順を、HVM ファームウェアのバージョンアップまたはリビジョンアップを実施したすべてのサーバブレードに行います。

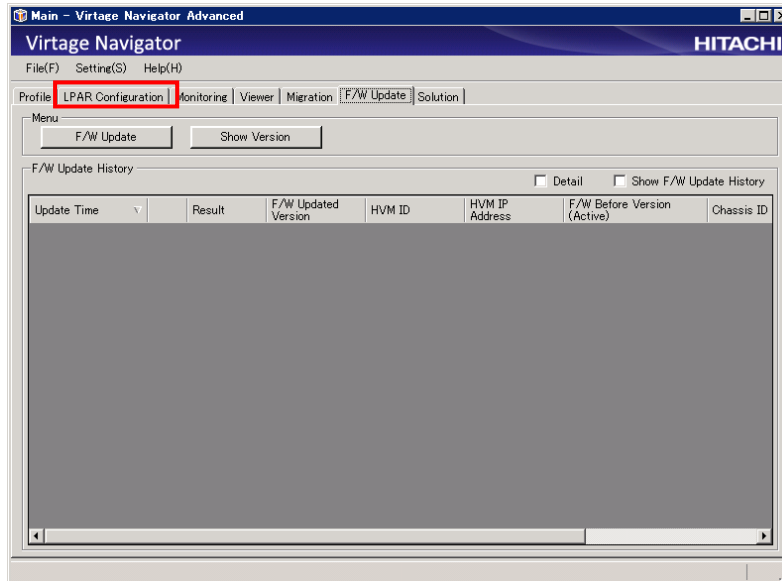
【BS320 17-4X のファームウェアの更新を行う場合】

- (1) 構成情報を保存します。
HVM スクリーンで [F9] を押します。
- (2) サーバブレードの電源を切ります。
HVM スクリーンで [Alt] + [r] を押すと、サブスクリーンが表示されます。Shutdown を選択して [Enter] を押します。

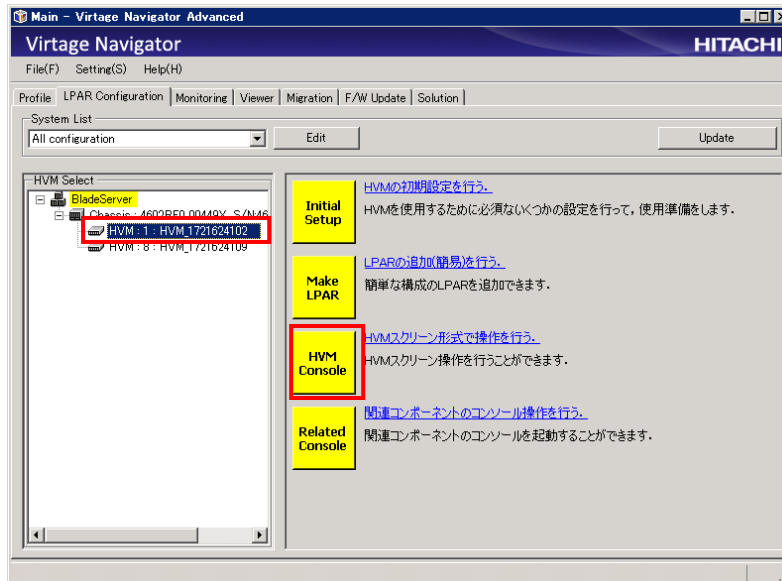
構成情報バックアップと HVM の起動につきましては、【BS320 17-6X 以降のファームウェアの更新を行う場合】の(3)以降を参照してください。

【BS320 17-6X 以降のファームウェアの更新を行う場合】

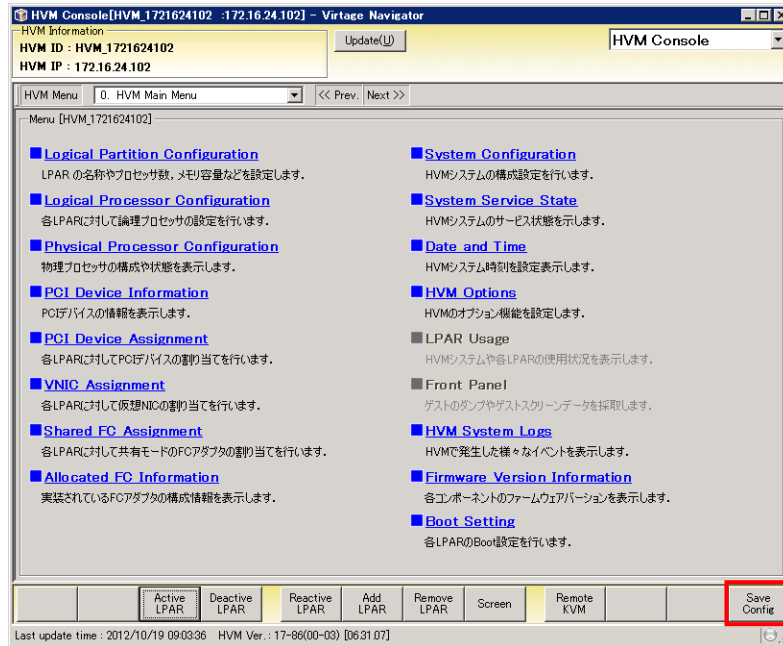
- (1) 構成情報を保存します。
(a) LPAR Configuration タブを選択します。



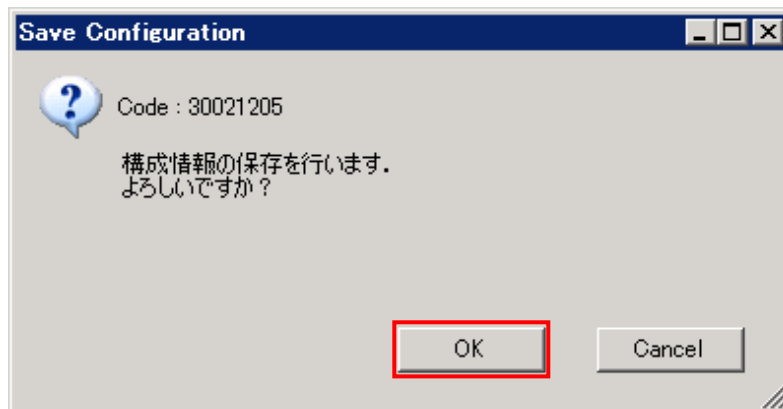
- (b) HVM Select グループボックスで HVM を選択し、HVM Console ボタンをクリックします。



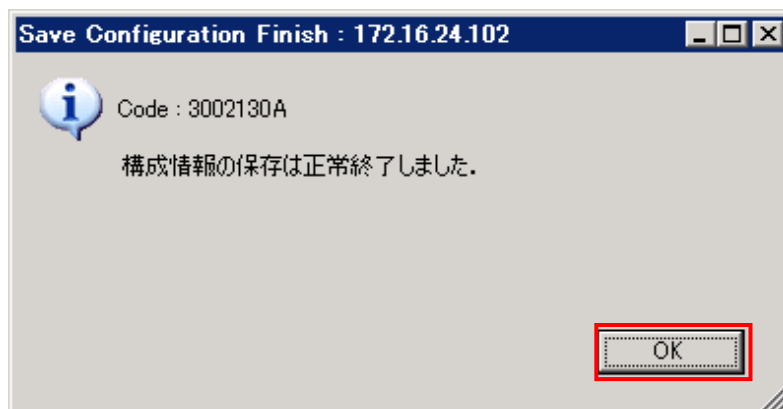
(c) Save Config ボタンをクリックします。



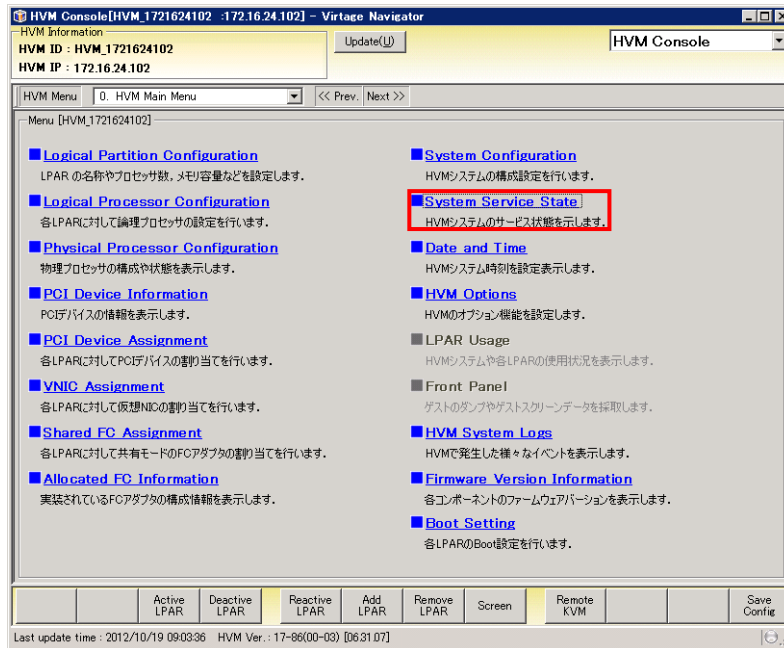
(d) OK ボタンをクリックします。



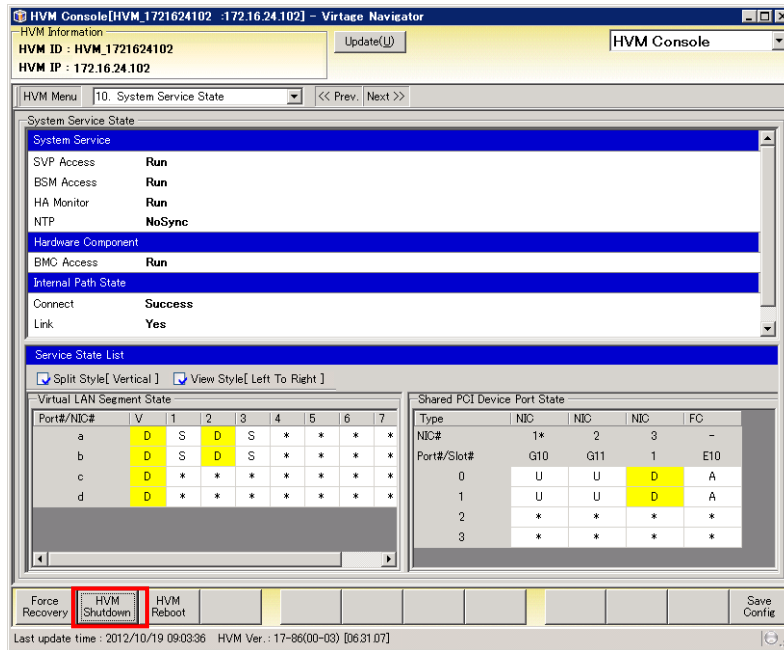
(e) OK ボタンをクリックします。



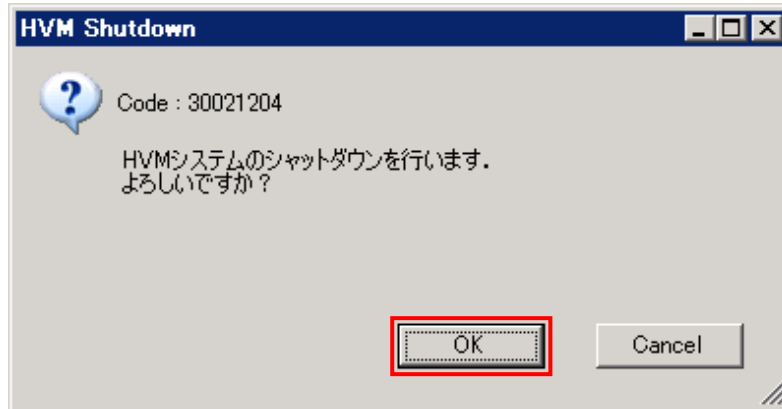
- (2) HVM を終了します。
 (a) System Service State を選択します。



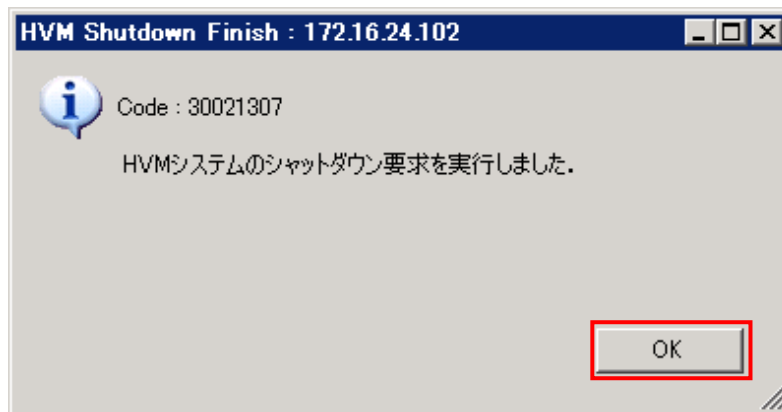
- (b) HVM Shutdown ボタンをクリックします。



(c) OK ボタンをクリックします。

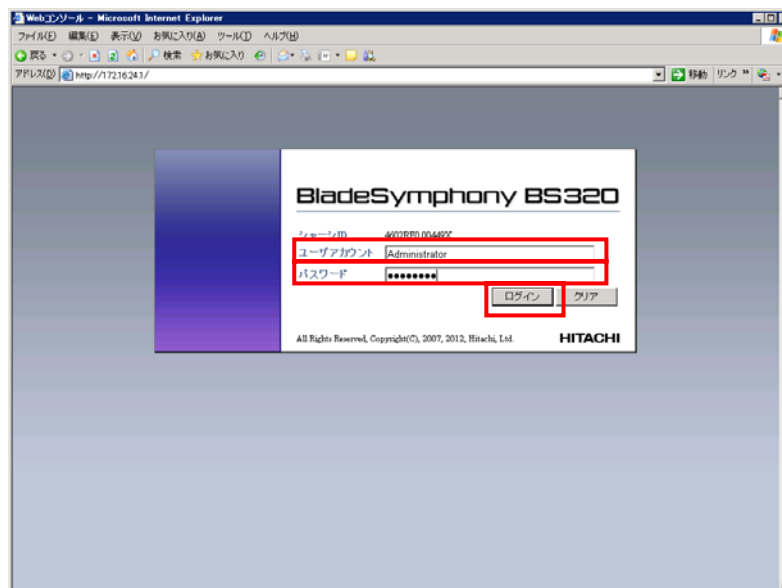


(d) OK ボタンをクリックします。



(3) 構成情報をバックアップします。

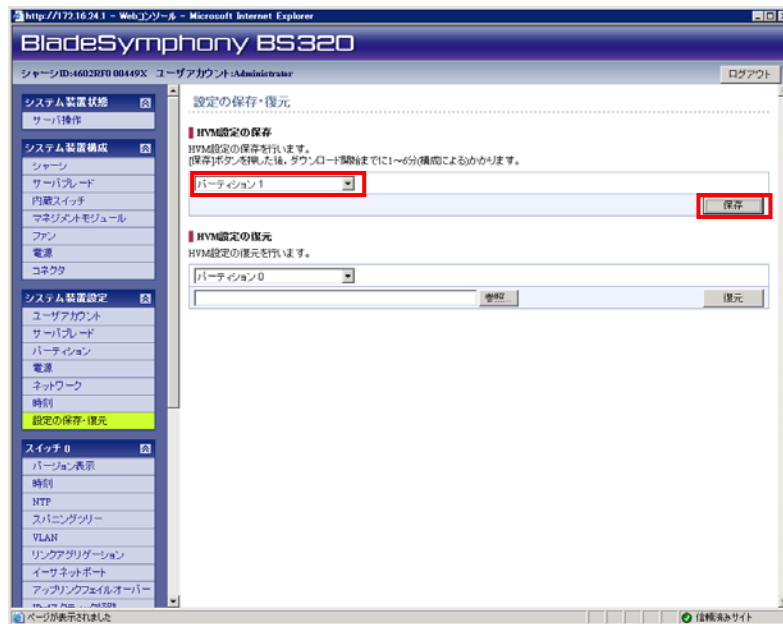
(a) Web コンソールで、ユーザアカウントとパスワードを入力し、ログインボタンをクリックします。



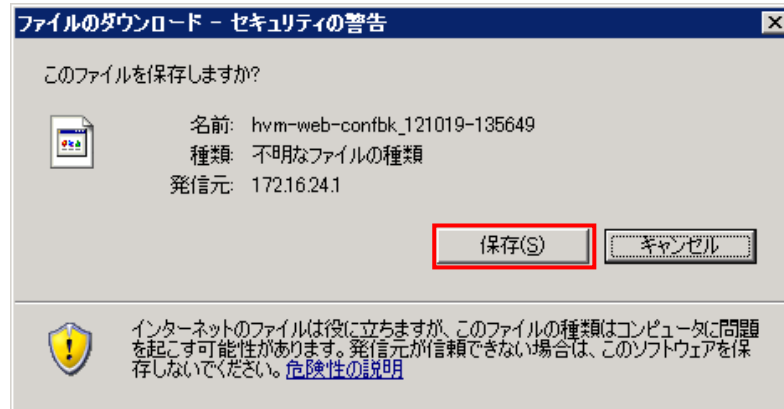
(b) 「設定の保存・復元」を選択します。



(c) パーティションを選択し、保存ボタンをクリックします。

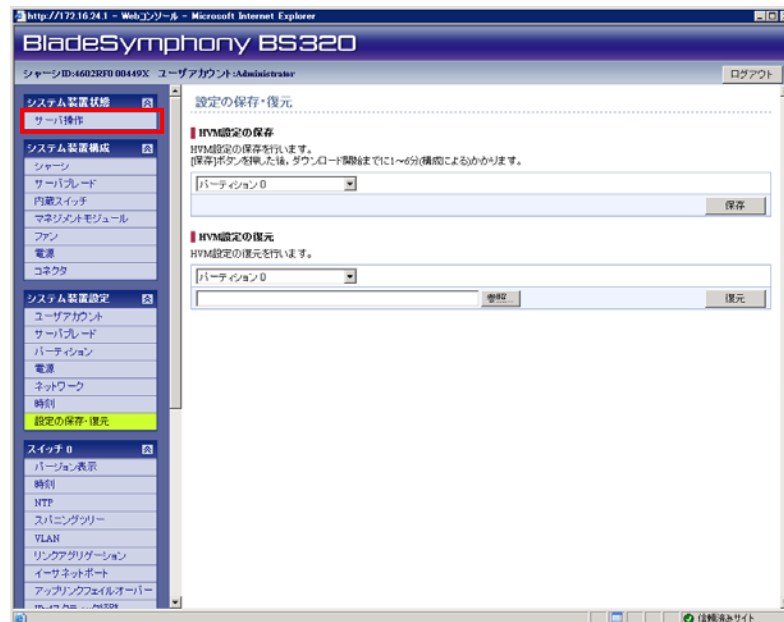


(d) 保存ボタンをクリックします。



OS の操作手順に従ってファイルを保存します。

- (4) HVM を起動します。
(a) 「サーバ操作」を選択します。



(b) パーティションを選択し、OK ボタンをクリックします。

BladeSymphony BS320

パーティション

パーティション	搭載状態	電源	電源連動	OS	WWN種別	Hyper-Threading	HDD I/F	HDD GB	エージェント	N+M
0										
<input checked="" type="checkbox"/> 1	搭載	OFF	-	HVM	orgWWN	プロセッサ設定値	不明	0	有	無効
<input type="checkbox"/> 2	搭載	ON	連動	HVM	orgWWN	プロセッサ設定値	不明	0	有	無効
<input type="checkbox"/> 3	搭載	FAIL	-	HVM	addWWN	プロセッサ設定値	不明	0	有	無効
<input type="checkbox"/> 4	搭載	ON	-	HVM	orgWWN	プロセッサ設定値	不明	0	有	無効
<input type="checkbox"/> 5	搭載	ON	連動	HVM	orgWWN	プロセッサ設定値	不明	0	有	無効
<input type="checkbox"/> 6	搭載	OFF	連動	HVM	orgWWN	プロセッサ設定値	不明	0	有	無効
<input type="checkbox"/> 7	搭載	ON	連動	HVM	orgWWN	プロセッサ設定値	不明	0	有	無効
<input type="checkbox"/> 8	搭載	OFF	-	HVM	addWWN	プロセッサ設定値	不明	0	有	有効
<input type="checkbox"/> 9	搭載	OFF	-	HVM	addWWN	プロセッサ設定値	不明	0	有	有効

Pre-configure状態

パーティション	実行方式	実行状態	実行結果	最終に完了した時刻	ISCSI status
0					
1	Pze	-	-	-	-
2	Pze	-	-	-	-
3	Indis	-	-	-	-
4	Pze	-	-	-	-
5	Pze	-	-	-	-
6	Pze	-	-	-	-
7	Pze	-	-	-	-
8	Pze	情報有効	完了	2012-07-13 0:48:05	-
9	Pze	情報有効	完了	2012-07-13 0:49:43	-

電源操作

パーティション1に対する電源操作を行います。
チェックボックスで指定したサーバブレードが操作対象となります。

0 分後に

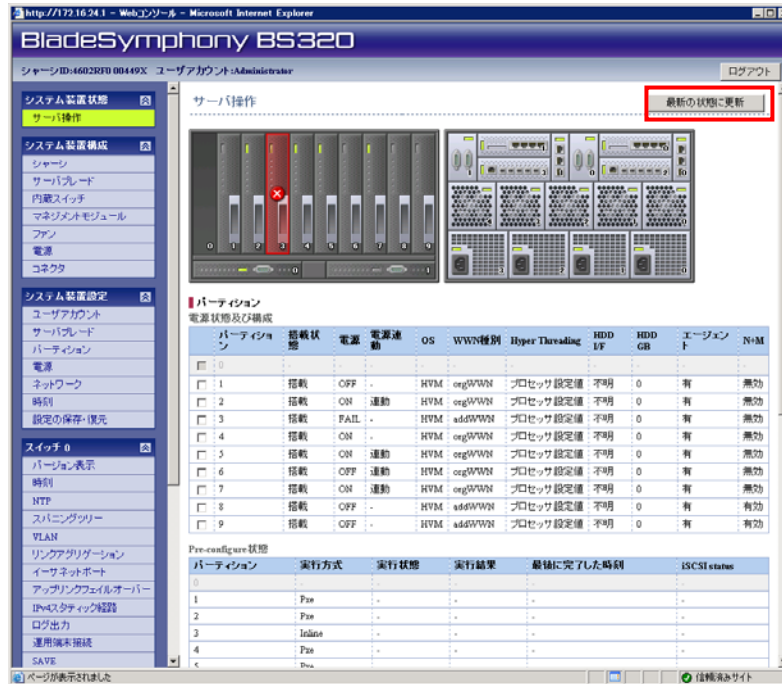
(c) はいボタンをクリックします。

BladeSymphony BS320

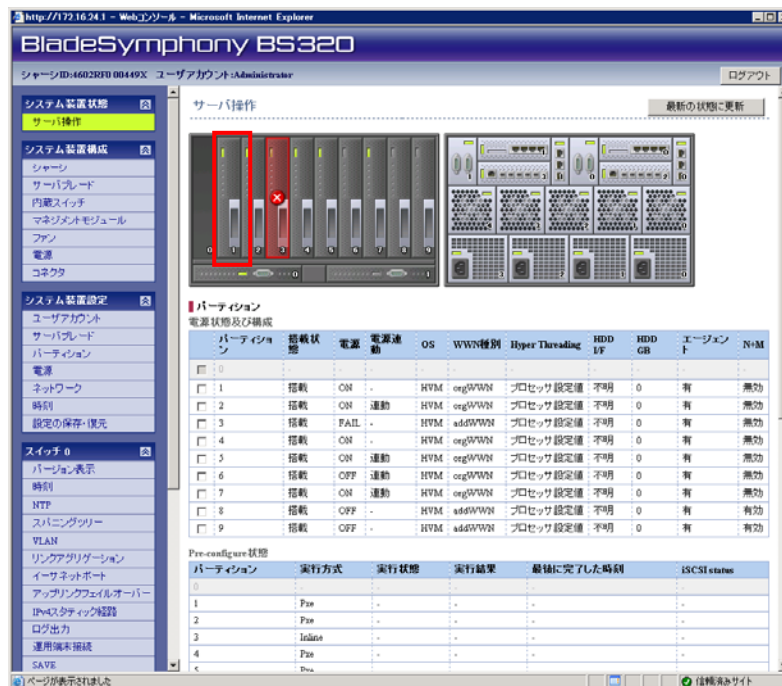
サーバ操作

パーティション1
電源を0分後にONします。
よろしいですか?

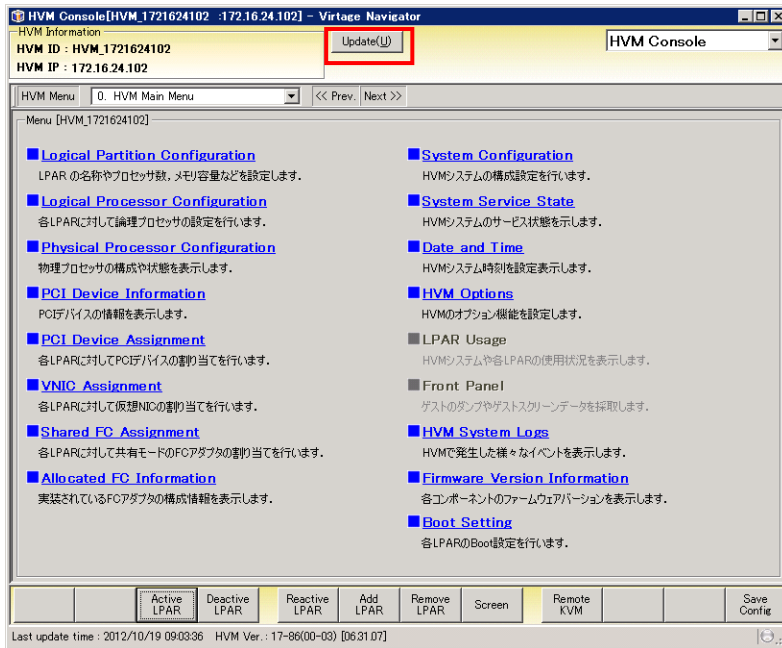
(d) しばらくしたら、最新の状態に更新ボタンをクリックします。



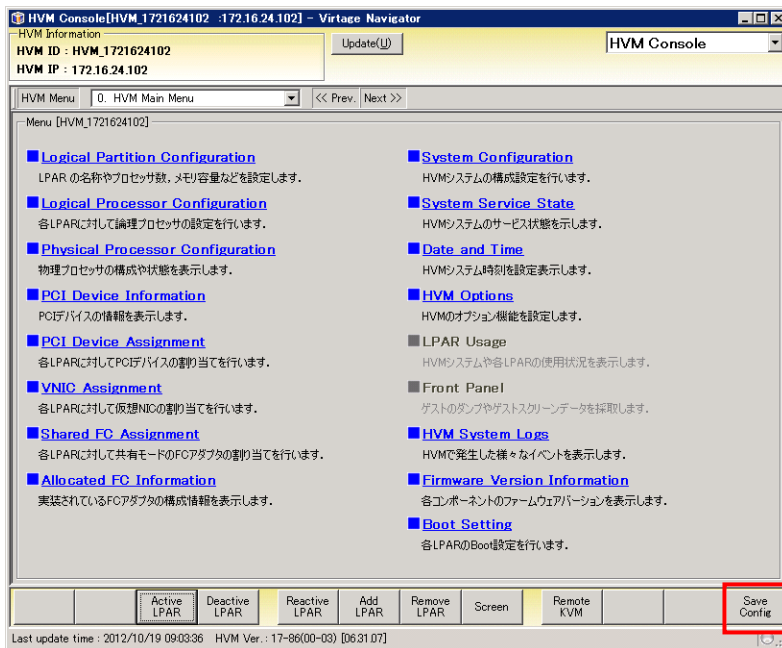
(e) 対象サーバブレードの電源が ON になっていることを確認します。



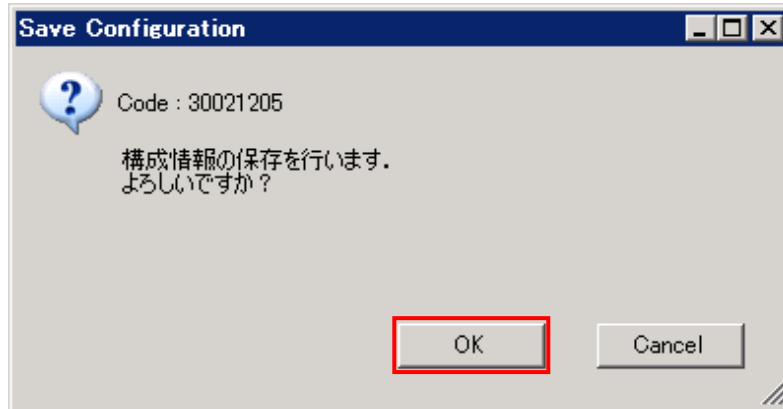
- (5) 構成情報を保存します。
 (a) HVM Console ウィンドウで Update(U) ボタンをクリックします。



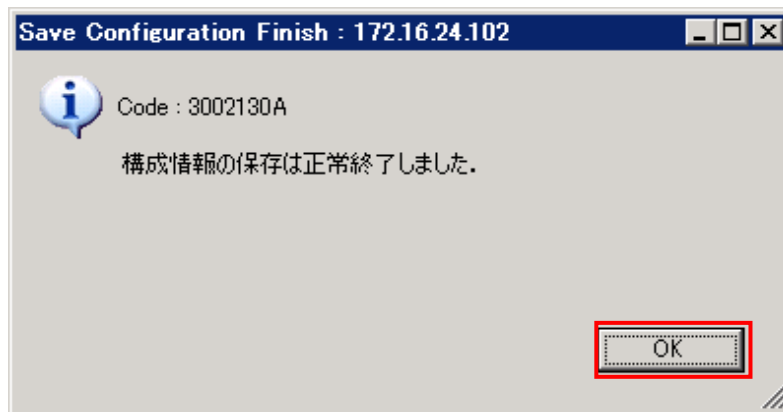
- (b) Save Config ボタンをクリックします。



(c) OK ボタンをクリックします。



(d) OK ボタンをクリックします。



上記手順を、HVM ファームウェアのバージョンアップまたはリビジョンアップを実施したすべてのサーバブレードに行います。

2.3 注意事項

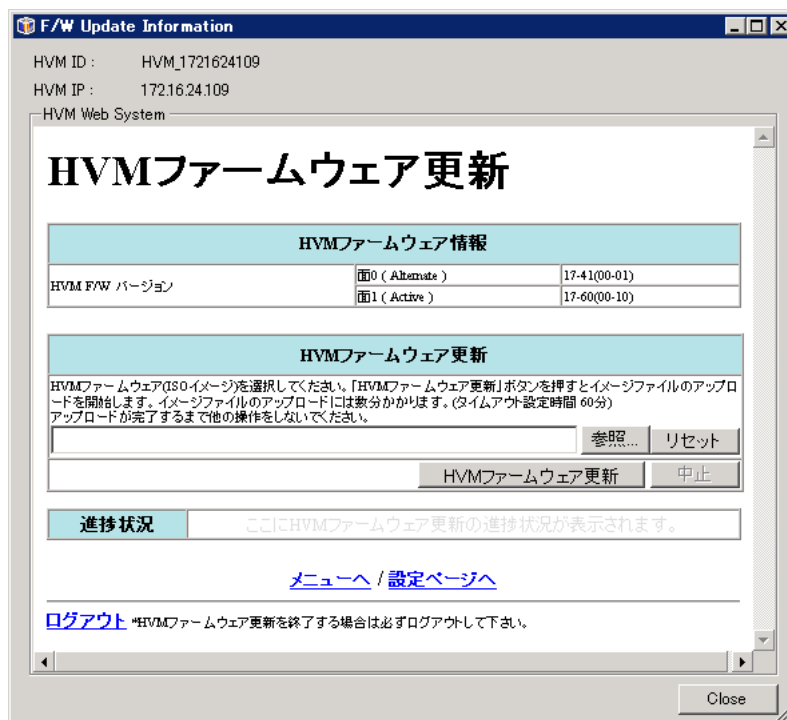
この節では、Virtage Navigator を利用した HVM ファームウェア更新の注意事項について説明します。

2.3.1 HVMファームウェア更新について

- ・セキュリティソフトの保護機能により HVM ファームウェア更新に失敗する場合は、セキュリティソフトの設定を見直してください。

2.3.2 Step6, Step8 のInformationウインドウについて

Step6, Step8 の Information ボタンをクリックすると、Information ウインドウが表示されます。ただし、Information ウインドウの Web Console 内には、下図のとおりボタンやリンクが表示されますが、これらのボタンやリンクは使用できません。



2.3.3 F/W Update Informationで“ログイン抑止中”と表示された場合

更新対象のHVMに対して、前回行ったファームウェア更新中にネットワーク障害などが発生した場合に、F/W Update Information ウィンドウで“ログイン抑止中”と表示されます。



この表示になった場合、画面操作タイムアウトが発生するまでHVM Web システムにログインができなくなります。画面操作タイムアウト発生後に、再試行してください。

なお、画面操作タイムアウトは、前回のファームウェア更新のエラー発生時から約30分後となります。

2.3.4 BSMからの手動シャットダウンについて

- ・ BSM からの手動シャットダウン時に以下のメッセージが表示されることがあります。

```
+-----+
| HVM_XXXXXXXX(HVM)への電源 OFF 要求でエラーが発生しました。 |
| KASM21805-E 029 |
+-----+
```

このメッセージが表示された場合は、HVM ファームウェア更新が実行されている可能性があります。HVM ファームウェア更新中であった場合は、HVM ファームウェア更新後に HVM シャットダウンを実施してください。

2.3.5 サーバブレードをリブートしてもHVMが起動しなかった場合




HVM ファームウェア更新後、サーバブレードをリブートしても、HVM が起動しなかった場合は、リモートコンソールを起動してください。

リモートコンソールの画面に以下のエラーメッセージが出力された場合は、対処方法を参照し対処願います。

メッセージ内容	HVM Loader detected enable H/W Memory Dump setting in this system. [INFO:XX] Please set H/W Memory Dump setting to disable.
説明	ハードウェアメモリダンプが有効になっているため、HVM が起動できません。
対処方法	ハードウェアメモリダンプを無効にした後、再度サーバブレードの電源をON にしてください。

2.4 アイコン一覧

この節では、Virtage Navigator で使用しているアイコンについて説明します。

アイコン	アイコン説明	ウインドウ
	F/W Update が正常終了したことを表しています。	Main ウインドウ
	F/W Update が正常終了したことを表しています。 (実行時に少なくとも 1 回エラーが発生し、リトライを実施したことを表しています。)	Main ウインドウ
	F/W Update が失敗したことを表しています。 (ユーザが F/W Update をキャンセルした場合も本アイコンが表示されます。)	Main ウインドウ

3

HVM Webシステムによる手順

この章では、HVM Web システムを利用した HVM 稼働時のバージョンアップ、リビジョンアップ手順について説明します。

バージョンにより画面の表示内容が異なる場合があります。

サポートサービスに契約していない場合は、バージョンアップはできません。

詳しくは、弊社営業にお問い合わせください。

3.1 前提条件

前提条件を以下に示します。

項目	備考
Web ブラウザ	Microsoft 社 Internet Explorer 6.0 または 7.0 を推奨します。
Web ブラウザの設定	JavaScript、Cookie、ActiveX、ポップアップウィンドウ設定を有効にしてください。
	HVM Web システムの URL を「信頼済みサイト」に登録してください。登録方法は、下記を参照してください。

「信頼済みサイト」の登録方法を以下に示します。

- 1 メニューから「ツール」→「インターネットオプション」を選択します。
- 2 「インターネットオプション」ダイアログの「セキュリティ」タブをクリックします。
- 3 「信頼済みサイト」のアイコンをクリックします。
- 4 「サイト(S)」ボタンをクリックします。
- 5 「信頼済みサイト」ダイアログの「次の Web サイトをゾーンに追加する(D)」欄に、HVM Web システムの URL を入力し、「追加(A)」ボタンをクリックします。
- 6 「閉じる」ボタンをクリックします。
- 7 「インターネットオプション」ダイアログの「OK」ボタンをクリックします。

なお、「信頼済みサイト」に登録後も正常に動作しない場合は、「信頼済みサイト」のセキュリティの設定を確認してください。

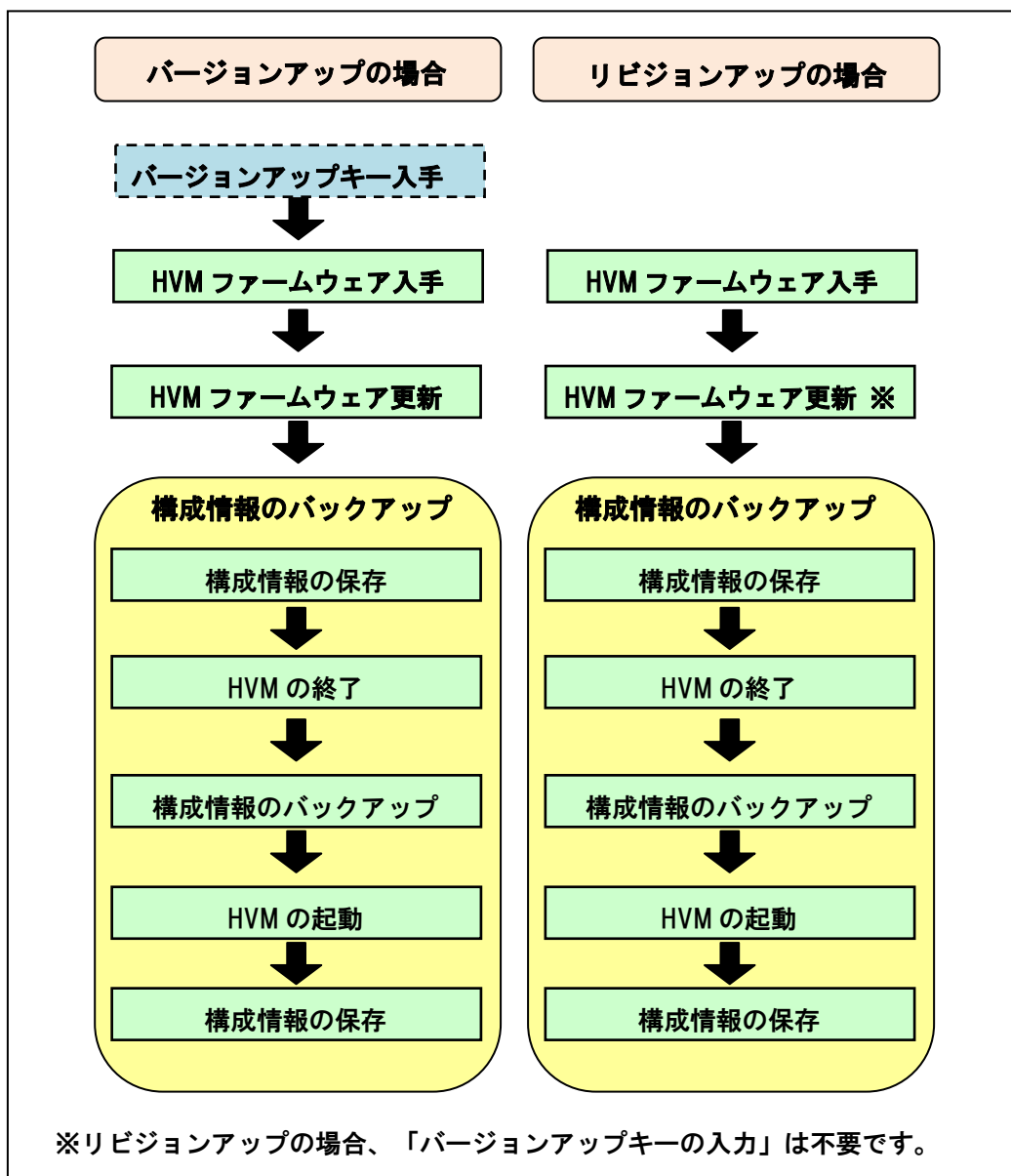
- 1 メニューから「ツール」→「インターネットオプション」を選択します。
- 2 「インターネットオプション」ダイアログの「セキュリティ」タブをクリックします。
- 3 「信頼済みサイト」のアイコンをクリックします。
- 4 「レベルのカスタマイズ」ボタンをクリックします。
- 5 「セキュリティの設定」ダイアログで、次の項目を確認してください。設定が異なっていた場合は設定を変更してください。
 - ・スクリプト
 - +アクティブ スクリプト
 - +有効にする
 - ・その他
 - +ページの自動読み込み
 - +有効にする

3.2 バージョンアップ、リビジョンアップ手順

この節では、HVM Web システムを利用した HVM 稼働時のバージョンアップ、リビジョンアップ手順について説明します。

HVM Web システムでバージョンアップ、リビジョンアップをする場合は、それぞれ以下の手順で行ってください。

下図では、 (実線枠)はバージョンアップ、リビジョンアップのいずれの場合も必要な作業を、 (破線枠)はバージョンアップの場合にのみ必要な作業を示しています。



3.2.1 バージョンアップキー入手

補足 リビジョンアップの場合は、本手順は不要です。

バージョンアップキーの入手には、HVM ファームウェアバージョン、ブレードシリアル番号を確認しておく必要があります。

□HVM ファームウェアバージョン(VV-RR)

HVM ファームウェアのダウンロード時に確認してください。

また、ダウンロードした HVM ファームウェアからもご確認いただけます。

項目	ファイル名	備考
HVM ファームウェア	hvm_bs2k_xeon_VV.RR.TT.KK.iso	標準サーバブレード
	hvm_bs2k_mp_xeon_VV.RR.TT.KK.iso	高性能サーバブレード

□ブレードシリアル番号

対象サーバブレードのブレードシリアル番号を確認してください。

マネジメントモジュールの「DF コマンド」を実行します。

```
SVP>DF [Enter] ← DF を入力します。

<< DF - Show field replaceable unit information. >>

-- Detail field replaceable unit information menu --
  C. Server chassis.
  M. Management module.
  S. Server blade.
  I. I/O board module.
  SW. Switch module.
  PS. Power supply module.
  T. Show mass of modules.
  A. All module.
  Q. Quit.
(C, M, S, I, SW, PS, T, A, [Q]) : S [Enter] ← S を入力します。
Select server blade (0-7, A=All, [Q]=Quit) : 0 [Enter] ← サーバブレード番号を入力します。
--- Server blade ---
Slot          : 0

-- Board information --
Manufacturer   : SUPERMICRO
Product Name   : X8DTE-HTC01
Serial Number  : 91200021

-- Product information --
Manufacturer   : HITACHI
Product Name   : BladeSymphony E55
Part/Model Number : GVAE55A1-3NNN14X
Product Version : 0020G55100
Serial Number   : 4600B60 T901000001 ← ブレードシリアル番号を確認します。

-- 以下省略 --
```

ご契約者様専用ページからバージョンアップキーを発行する手順を以下に示します。

ご契約者様専用ページは、改良のため予告なしに変更することがあります。

- (1) サポートサービスのホームページから、ご契約者様専用ページにログインします。
サポートサービスのホームページは以下になります。
<http://www.hitachi-support.com/>

ご契約者様専用ページにログインするためには、サポートサービス契約時に発行されるログインIDとパスワードが必要になります。

- (2) 「改良版が欲しい 製品に関する申請をしたい」の「各種申請」をクリックします。

キーワード検索 マニュアル検索 検索

問題解決したい
製品の使い方を知りたい
FAQ ソフトウェアマニュアル メッセージID検索
ソフトウェア添付資料 セキュリティ情報
問い合わせ履歴
IT Report Utility(システム情報採取ツール)
障害回避・予防のお知らせ
ハード保守や他サービスもワンストップ受付

製品発行情報が知りたい
修正内容が知りたい
発行バージョン一覧
日立ミドルウェアプラットフォーム対応状況
日立オープンミドルウェアバージョンライフサイクルポリシー

改良版が欲しい
製品に関する申請をしたい
改良版請求/修正バッチ 各種申請

HOME
ご契約内容一覧
改良版請求
FAQ
お問い合わせ

ユーザ情報登録 / 変更
サービス利用状況
サービス利用ガイド
メールサービス申込み
パスワード変更
営業日カレンダー

統合ID設定
My Directory
表示内容フィルタリング

New Topics ミドルウェア OS系 ハードウェア系

- (3) 「BS2000 Virtage 有効化」をクリックします。

日立サポート360 HITACHI Inspire the Next

各種申請

- BS1000 HVMライセンスキー発行
- BS2000 Virtage有効化

お客様事情によりWebフォームからの申し込みができない場合は、以下の帳票をダウンロードし、必要事項を記入の上、FAXにて日立ソリューションサポートセンターに送付ください。

[日立サポート360 改良版申込書](#) [PDF形式, 173,009 バイト]

[サポート情報登録票](#) [PDF形式, 142,254 バイト]

[個人情報の取り扱い](#) | [日立および他社の商品名称に関する記述](#)

© Hitachi, Ltd. 1994, 2012. All rights reserved.

閉じる

(4) BS2000 Virtage メニュー画面で、「バージョンアップキーの発行」をクリックします。

日立サポート360 HITACHI
Inspire the Next

BS2000 Virtage メニュー画面

BS2000 Virtageに関する以下のメニューをご用意しています。目的に応じて選択してください。

操作メニュー

HVMライセンスキーの発行
Virtageを3LPAR以上でご利用になる際に必要となる、HVMライセンスキーを発行します。
お客様のサポートサービス契約内容に従い、以下の手順1または、手順2でHVMライセンスキーを発行してください。

手順1: [BS2000 Virtage Enterpriseモデル サポートサービスを新規](#)でご契約いただいたお客様は [こちら](#)へ
(1)サーバブレードの登録
(2)HVMライセンスキーの発行


手順2: [BS2000 Virtage モデルアップサポートオプションを追加](#)でご契約いただいたお客様は [こちら](#)へ
(1)サーバブレードの登録
(2)モデルアップサポートオプションの適用
(3)HVMライセンスキーの発行

バージョンアップキーの発行
ファームウェアのバージョンアップをするために、バージョンアップキーの発行を行います。


登録内容の確認/更新
登録したサーバブレードの内容を確認します。さらに登録したコメントを更新します。

© Hitachi, Ltd. 1994, 2009. All rights reserved.

- (5) Virtage バージョンの入力、バージョンアップキーを発行するサーバブレードを選択し、「テキストファイル形式で発行」ボタンをクリックします。



日立サポート 360



HITACHI
Inspire the Next

バージョンアップキー発行

Virtageをバージョンアップする際に必要となる、バージョンアップキーを発行します(*1)。

適用するVirtageのバージョン、レビジョンを入力後、「サービス対象ブレード一覧」より、対象となるサーバブレードを選択し、「発行」ボタンを押下してください。

ブレードシリアル番号およびHVMライセンスキーの情報が、以下の形式で出力されます。

- ・ISOイメージファイル形式で発行(*2)
- ・テキストファイル形式で発行(*3)

*1 バージョンアップキーの適用方法につきましては、BladeSymphony BS2000 Virtageバージョンアップ手順書を参照ください。

*2 HVMメンテナンスツールによりキー入力を行う場合は、ISOイメージとしてCDメディアに書き込んでご使用ください。このISOファイルを利用することで、バージョンアップキーの入力が不要となります。詳しくは「Virtageバージョンアップ手順書」を参照してください。

*3 テキストファイルよりコピー & ペーストが可能となりHVMライセンスキー設定時の入力工数が低減できます。

Virtageバージョンの指定

Virtageバージョン

半角英数字で入力
 -
(例) VV - RR

サービス対象ブレード一覧

サポートサービス割当状況	対象 全て選択	ブレードシリアル番号	備考
Enterprise	<input checked="" type="checkbox"/>	4600B50 T918000044	
Enterprise	<input checked="" type="checkbox"/>	4600B50 T918000051	

ISOイメージファイル形式で発行

テキストファイル形式で発行

メニューへ戻る

・対象となるサーバブレードが未登録 のお客様は [こちらへ](#)

©Hitachi, Ltd. 1994, 2009. All rights reserved.

閉じる

項目	備考
ISO イメージファイル形式で発行	バージョンアップキー自動入力を行う場合、こちらを選択してください。(※1)
テキストファイル形式で発行	バージョンアップキー自動入力を行わない場合、こちらを選択してください。

(※1) HVM Web システムでは、バージョンアップキー自動入力はできません。

3.2.2 HVMファームウェア入手

HVM ファームウェアを BladeSymphony のホームページからダウンロードしてください。
その後、HVM ファームウェアをコンソール端末のハードディスクに格納してください。

ホームページアドレス <http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/>

注意) ファイル名は、変更しないでください。
名称を変更したファイルを使用した場合、バージョンアップ、リビジョンアップはできません。

3.2.3 HVMファームウェア更新

3.2.3.1 ログイン方法

(1) コンソール端末からWebブラウザによりHVMにアクセスします。URLは以下のとおりです。
<https://xxx.xxx.xxx.xxx/index.html>

... 補足 xxx.xxx.xxx.xxx はHVM IP Addressを示します。
HVM IP AddressはHVMのSystem Configurationスクリーンにより確認できます。

(2) ログインユーザIDおよびログインパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。初期値は以下のとおりです。

項目	初期値
ログインユーザID	admin (固定)
ログインパスワード	password (変更可)



! 制限 HVM Web システム利用時は、Web サーバに負荷を掛けないようにするため、利用可能ユーザは 1 人までとします。すでにログインしている人がいる場合でも、後からログインした人が利用可能ユーザとなります。

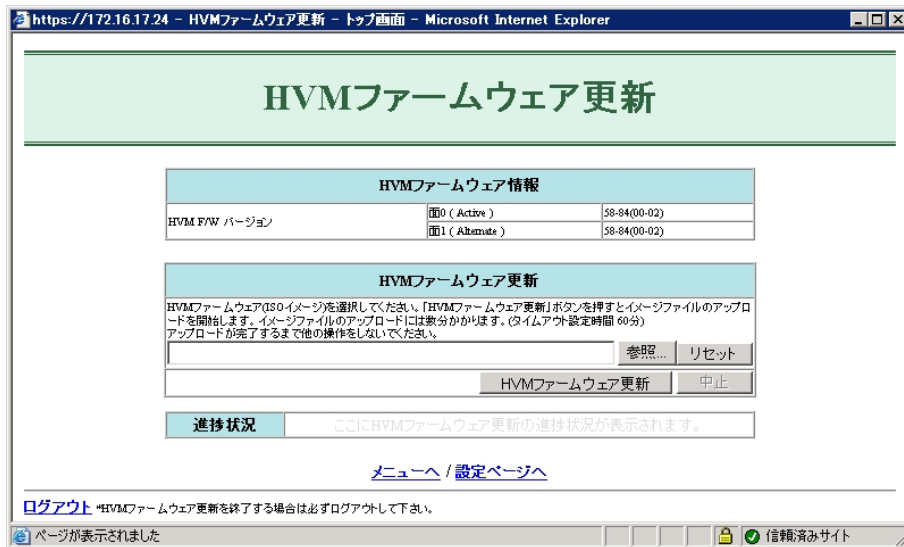
HVM Web システムにログインする際は、必ず新規に開いた Web ブラウザからログインしてください。Web ブラウザの[ファイル] -> [新規作成] -> [ウィンドウ]で開いた Web ブラウザからはログインしないでください。この方法でログインを行うと 2 重ログインが発生することがあります。

- (3) HVM Webシステムのログインに成功した場合は、以下の画面が表示されます。
「HVMファームウェア更新」ボタンをクリックしてください。
HVMファームウェア更新方法については、「[3.2.3.2 HVMファームウェア更新方法](#)」を参照してください。

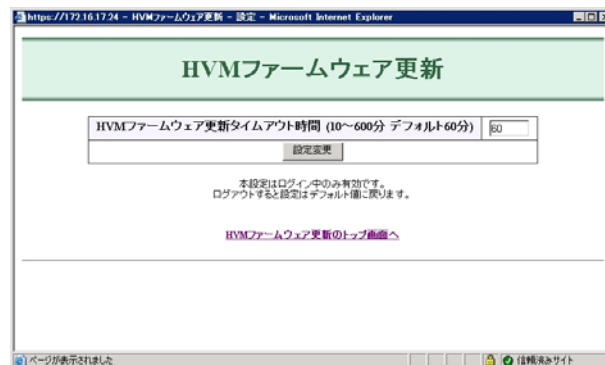


3.2.3.2 HVM ファームウェア更新方法

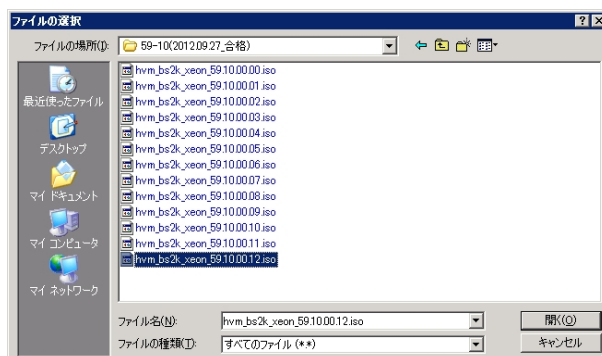
- (1) メニュー画面で「HVM ファームウェア更新」ボタンをクリックした場合は、以下の画面が表示されます。



HVM ファームウェアバージョン 58-4X 以降/78-4X 以降もしくは 17-6X 以降では、「設定ページへ」を押して、HVM ファームウェア更新タイムアウト時間を変更することができます。



- (2) 「参照」ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。「3.2.2 HVMファームウェア入手」で入手したHVMファームウェア(ISOイメージ)を選択し、「開く」ボタンをクリックします。



対応機種以外のファームウェア以外には指定しないでください。間違っても更新してしまうと、その後の再起動でHVMが起動できなくなります。

- (3) 「HVM ファームウェア更新」ボタンをクリックして、HVM ファームウェア更新を実行します。完了するまで5~7分程度かかります。



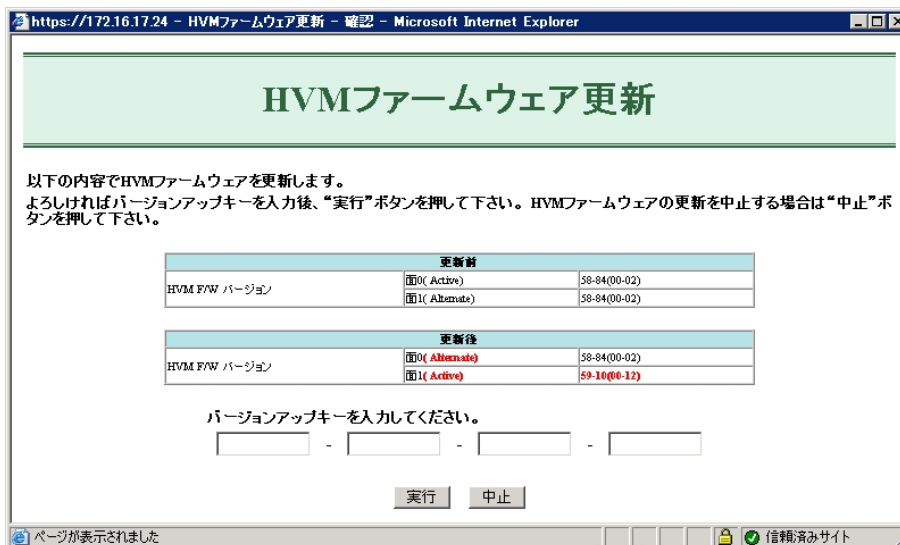
「HVM ファームウェア更新」ボタンをクリックしたときに、以下の警告ダイアログが表示されることがあります。



この警告ダイアログが表示された場合は、以下の手順にしたがって ActiveX を有効にしてください。

- (a) Web ブラウザのメニューバーからツールを選択し、インターネットオプションを開きます。
- (b) [セキュリティ]タブで[信頼済みサイト]を選択後、[レベルのカスタマイズ]をクリックし、[セキュリティの設定]ウィンドウを開きます。
- (c) [ActiveX コントロールとプラグイン] → [スクリプトを実行しても安全だとマークされていない ActiveX コントロールの初期化とスクリプトの実行]を「有効にする」にチェックします。

- (4) HVM ファームウェア更新の準備が完了すると、以下の画面が表示されます。



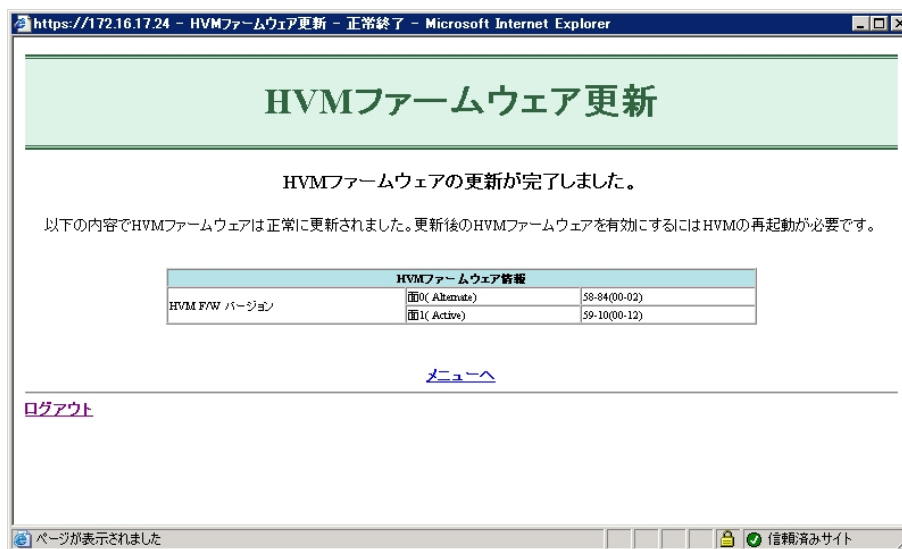
リビジョンアップの場合は、「バージョンアップを入力してください。」の箇所は表示されません。

- (5) 更新後の HVM F/W バージョンを確認します。
- (6) 「3.2.1 バージョンアップキー入手」で保存した TSV ファイルを開き、32 桁のバージョンアップキーを 8 桁毎に入力します。



リビジョンアップの場合は、本手順は不要です。

- (7) 「実行」ボタンをクリックして、HVM ファームウェア更新を実行します。
完了するまで2~4分程度かかります。
(ネットワーク性能などにより、所要時間が前後することがあります。)
- (8) HVM ファームウェアの更新が完了した場合は、以下の画面が表示されます。
「ログアウト」を押して、HVM Web システムからログアウトします。



HVM ファームウェア更新後、HVM の再起動を行わない場合、サーバブレード Web コンソールおよびシステム Web コンソールでは、稼働中の HVM ファームウェアとは別のバージョンが Active として表示されます。

詳細については、「[1.6 バージョン表示の注意事項](#)」を参照してください。

3.2.4 構成情報のバックアップ



HVM ファームウェア更新後、HVM の起動を行う前に、構成情報のバックアップを行うことをお勧めします。

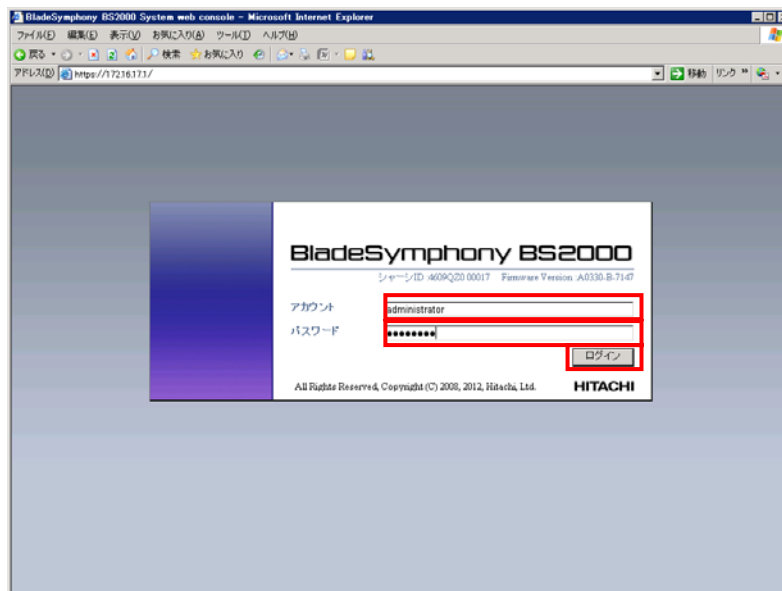
構成情報のバックアップを行うと、HVM ファームウェアの更新にて問題が発生した場合に、HVM ファームウェアの面の切り替えを行い、旧 HVM ファームウェアバージョンへ戻すことができます。

構成情報のバックアップファイルがないと、旧 HVM ファームウェアバージョンへ戻すことができません。

構成情報のバックアップ方法を以下に示します。

【BS2000 の場合】

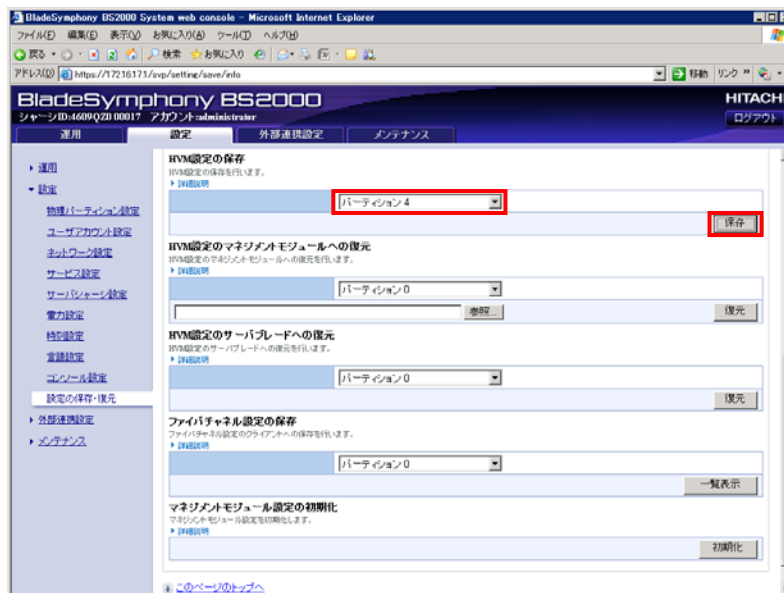
- (1) 構成情報を保存します。
HVM スクリーンで [F9] を押します。
- (2) サーバブレードの電源を切ります。
HVM スクリーンで [Alt] + [r] を押すと、サブスクリーンが表示されます。Shutdown を選択して [Enter] を押します。
- (3) 構成情報をバックアップします。
 - (a) システム Web コンソールで、ユーザアカウントとパスワードを入力し、ログインボタンをクリックします。



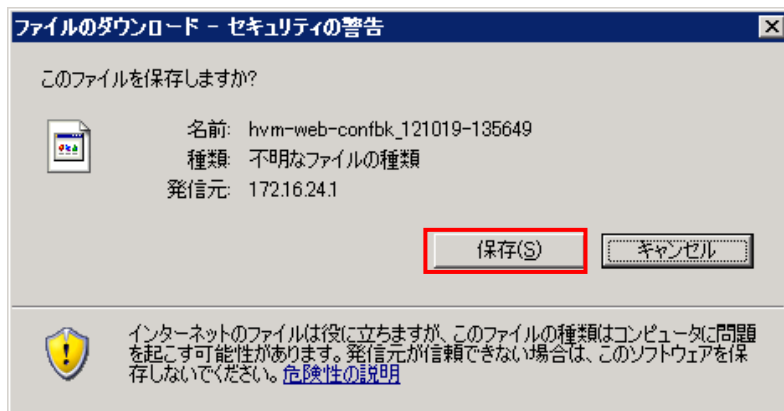
(b) 「設定の保存・復元」を選択します。



(c) パーティションを選択し、保存ボタンをクリックします。

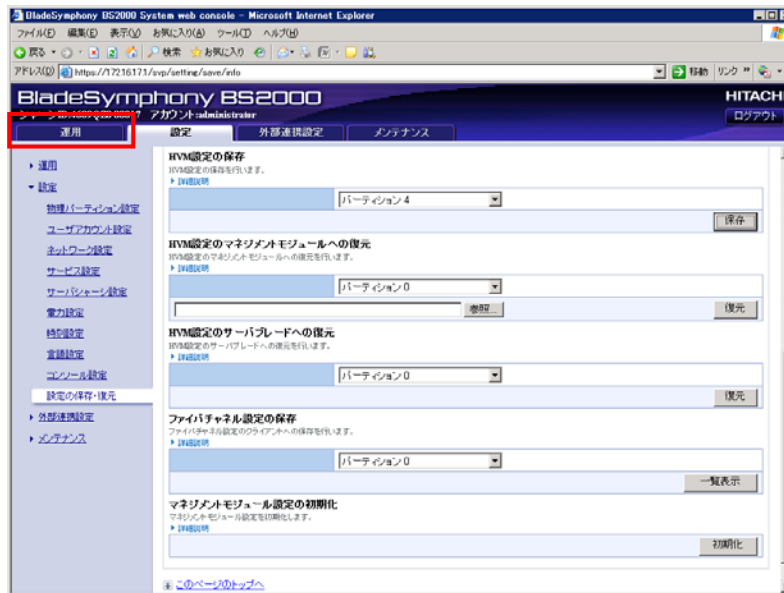


(d) 保存ボタンをクリックします。

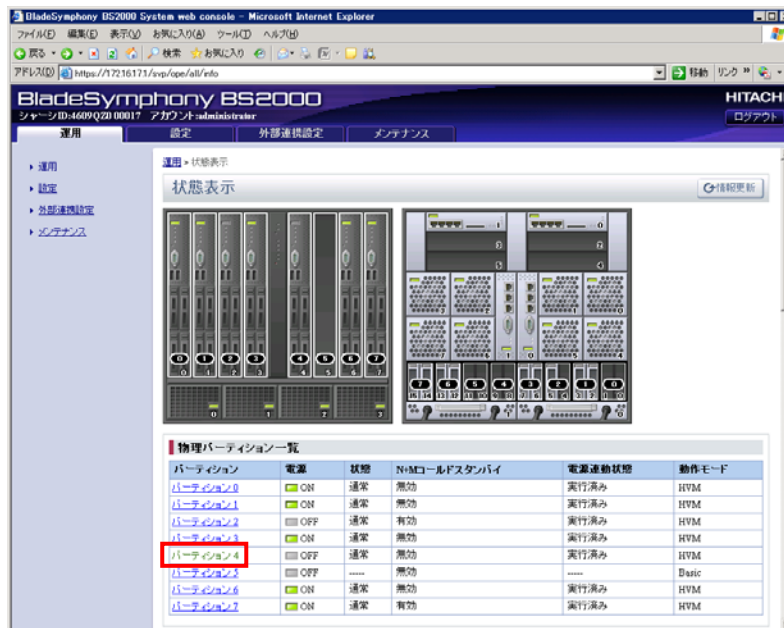


OS の操作手順に従ってファイルを保存します。

- (4) サーバブレードの電源を入れます。
 (a) 「運用」を選択します。



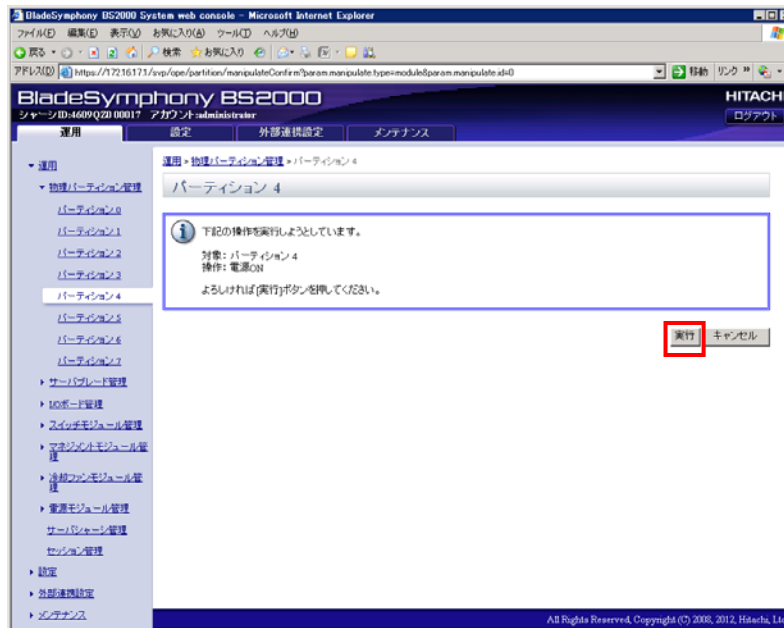
- (b) 物理パーティション一覧で、パーティションを選択します。



(c) [操作]-[電源]欄で、OK ボタンをクリックします。



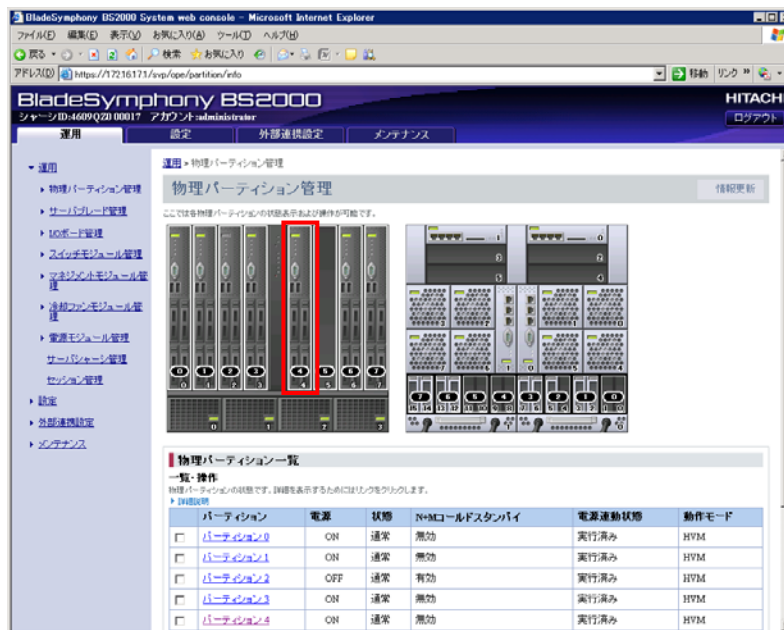
(d) 実行ボタンをクリックします。



(e) しばらくしたら、情報更新ボタンをクリックします。



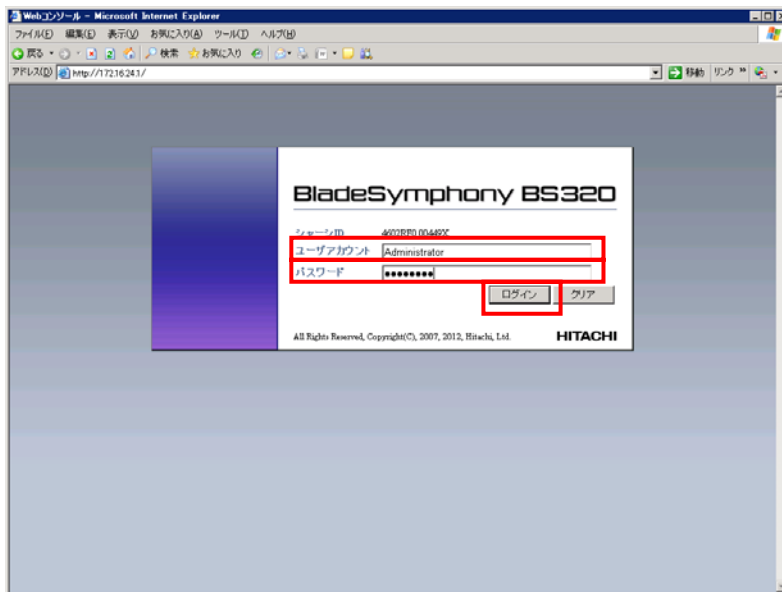
(f) 対象サーバブレードの電源が ON になっていることを確認します。



(5) 構成情報を保存します。
HVM スクリーンで [F9] を押します。

【BS320 の場合】

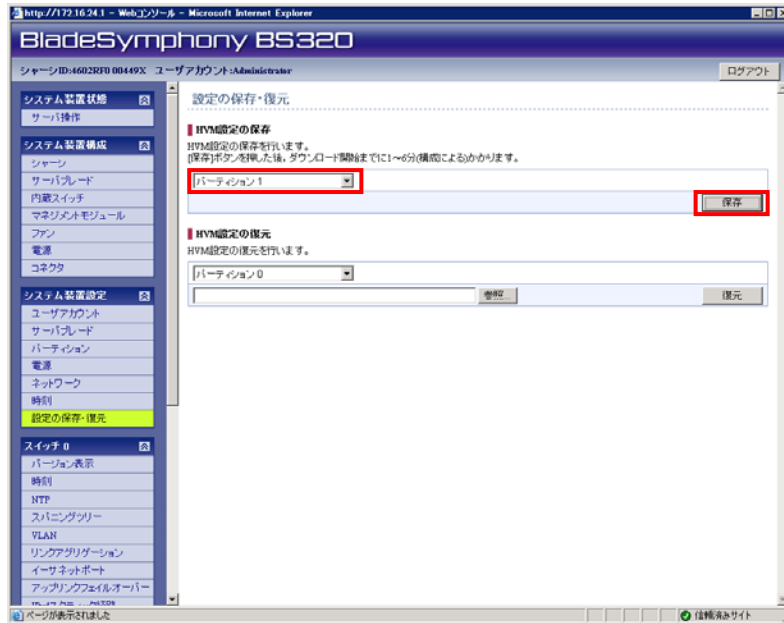
- (1) 構成情報を保存します。
HVM スクリーンで [F9] を押します。
- (2) サーバブレードの電源を切ります。
HVM スクリーンで [Alt] + [r] を押すと、サブスクリーンが表示されます。Shutdown を選択して [Enter] を押します。
- (3) 構成情報をバックアップします。
 - (a) Web コンソールで、ユーザアカウントとパスワードを入力し、ログインボタンをクリックします。



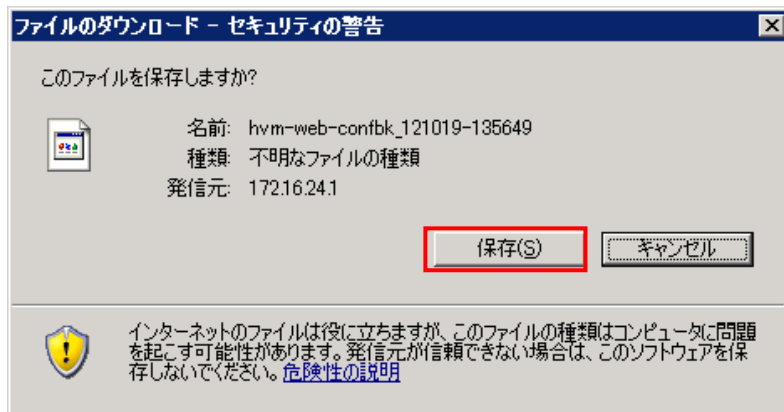
- (b) 「設定の保存・復元」を選択します。



(c) パーティションを選択し、保存ボタンをクリックします。



(d) 保存ボタンをクリックします。



OS の操作手順に従ってファイルを保存します。

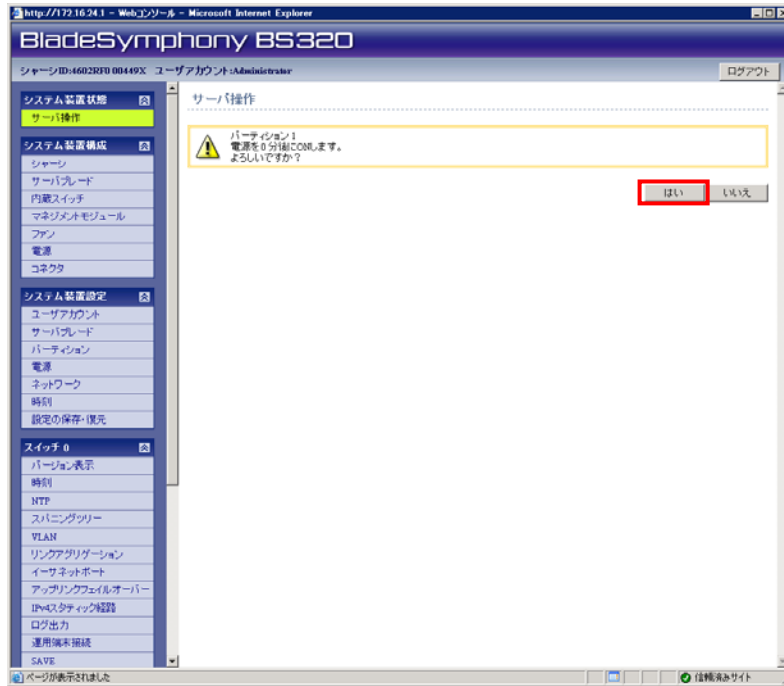
- (4) サーバブレードの電源を入れます。
 (a) 「サーバ操作」を選択します。



- (b) パーティションを選択し、OK ボタンをクリックします。



(c) はいボタンをクリックします。



(d) しばらくしたら、最新の状態に更新ボタンをクリックします。



(e) 対象サーバブレードの電源が ON になっていることを確認します。

The screenshot shows the Bladesymphony BS320 web interface. On the left is a navigation menu with categories like 'システム装置状態' and 'システム装置構成'. The main area shows 'サーバ操作' with a visual representation of server blades. Blade 2 is highlighted with a red box and a red 'X' icon, indicating its power status. Below this is a table titled 'パーティション' (Partitions) with columns for 'パーティション', '搭載状態', '電源', '電源連動', 'OS', 'WWN種別', 'Hyper Threading', 'HDD I/F', 'HDD GB', 'エージェント', and 'N-M'. The table lists 10 partitions with their respective configurations and power states.

パーティション	搭載状態	電源	電源連動	OS	WWN種別	Hyper Threading	HDD I/F	HDD GB	エージェント	N-M
0										
1	搭載	ON	-	HVM	orgWWN	プロセス設定値	不明	0	有	無効
2	搭載	ON	連動	HVM	orgWWN	プロセス設定値	不明	0	有	無効
3	搭載	FAIL	-	HVM	addWWN	プロセス設定値	不明	0	有	無効
4	搭載	ON	-	HVM	orgWWN	プロセス設定値	不明	0	有	無効
5	搭載	ON	連動	HVM	orgWWN	プロセス設定値	不明	0	有	無効
6	搭載	OFF	連動	HVM	orgWWN	プロセス設定値	不明	0	有	無効
7	搭載	ON	連動	HVM	orgWWN	プロセス設定値	不明	0	有	無効
8	搭載	OFF	-	HVM	addWWN	プロセス設定値	不明	0	有	有効
9	搭載	OFF	-	HVM	addWWN	プロセス設定値	不明	0	有	有効

(5) 構成情報を保存します。
HVM スクリーンで [F9] を押します。

3.3 注意事項

この節では、HVM Web システムを利用した HVM ファームウェア更新の注意事項について説明します。

3.3.1 HVM Webシステムエラー画面について

(1) ログイン認証失敗（JavaScript 無効時）

Web ブラウザの JavaScript が有効になっていない場合は、以下の画面が表示されます。



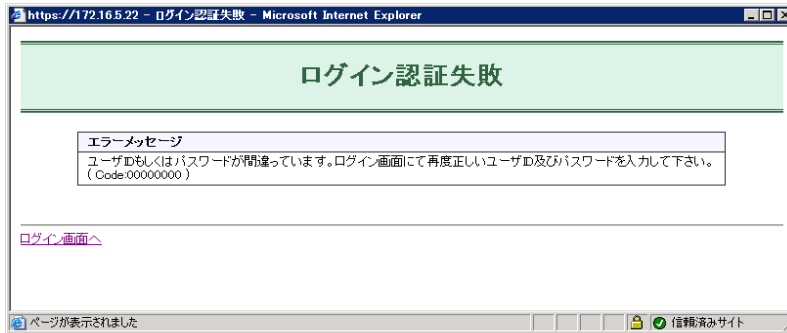
(2) ログイン認証失敗（Cookie 無効時）

Web ブラウザの Cookie が有効になっていない場合は、以下の画面が表示されます。



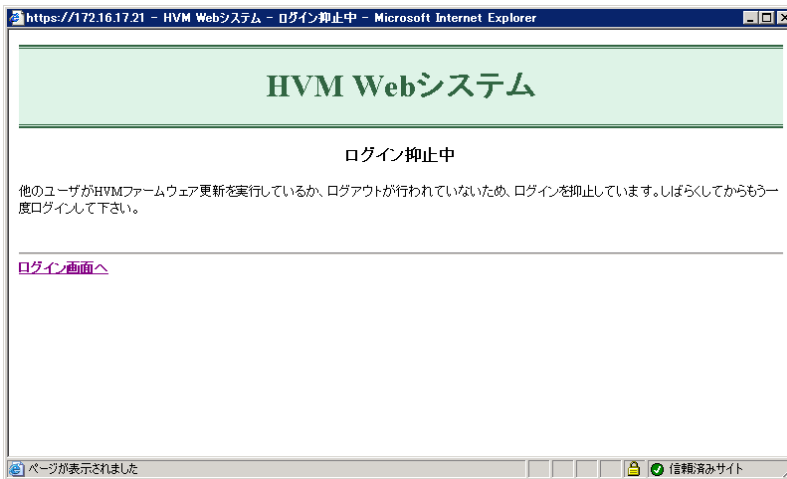
(3) ログイン認証失敗

HVM Web システムのログインに失敗した場合は、以下の画面が表示されます。
ログイン画面へ戻り、再度正しいユーザ ID 及びパスワードを入力してください。



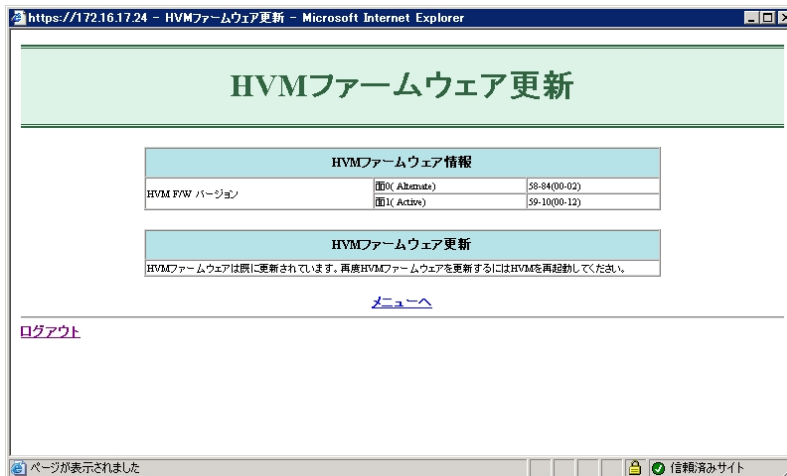
(4) ログイン抑止

他のユーザが HVM ファームウェア更新中の場合は、以下の画面が表示されます。
ログイン画面へ戻り、しばらくしてからもう一度ログインしてください。



(5) HVM ファームウェア更新抑止

HVM ファームウェアが既に更新されている場合は、以下の画面が表示されます。
「ログアウト」を押して、HVM Web システムからログアウトします。



3.3.2 HVM Webシステムのパスワード変更について

Virtage Navigator や HVM Web システムでバージョンアップ、リビジョンアップを行う場合は、HVM Web システムのパスワード変更時に以下の点に注意してください。

パスワード変更の前に、必ず HVM の Menu スクリーンもしくは Logical Partition Configuration スクリーンより HVM 構成情報を保存する必要があります。



注意

HVM構成情報を保存しないと以下の現象が起きます。

- ・全LPARで設定したEFIドライバ情報が失われます。
- ・ゲストOSが起動できなくなります。

パスワードを変更する場合は、必ず以下の手順で実施してください。

- (1) HVM の Menu スクリーンもしくは Logical Partition Configuration スクリーンで[F9]を押し、HVM 構成情報を保存します。
- (2) HVM Web システムでパスワードを変更します。
HVM Web システムのパスワード変更につきましては、「[Virtage 論理 VGA スナップショット手順書](#)」を参照してください。

3.3.3 HVMファームウェア更新について

- ・ HVM ファームウェア更新中は、HVM の Firmware Version Information スクリーンの「HVM F/W(Alt)」が一時的に空白になります。しばらくしても空白のまま更新されない場合は、HVM ファームウェア更新が途中で強制終了または異常終了した可能性があります。HVM の HVM System Logs スクリーンにて HVM ファームウェア更新のイベント状況を確認してください。
- ・ HVM ファームウェア(ISO イメージ)のアップロード中および更新中は、Web ブラウザを閉じたり、[F5]による操作を行わないでください。HVM ファームウェアの更新が中断されます。この場合、HVM ファームウェア更新のトップ画面にて HVM ファームウェア(ISO イメージ)のアップロードからやり直してください。



HVM ファームウェアの更新が中断された場合、お使いの PC 環境によっては Web ブラウザがハングアップすることがあります。この状態になると、画面操作タイムアウト(30分)が発生するまで HVM Web システムにログインができなくなります。

- ・ HVM ファームウェア更新を終了する場合は、必ずログアウトしてください。



ログインしたまま Web ブラウザを閉じた場合、画面操作タイムアウト(30分)が発生するまで HVM Web システムにログインができなくなる場合があります。

- ・ セキュリティソフトの保護機能により HVM ファームウェア更新に失敗する場合は、セキュリティソフトの設定を見直してください。

3.3.4 BSMからの手動シャットダウンについて

- ・ BSM からの手動シャットダウン時に以下のメッセージが表示されることがあります。

```
+-----+
| HVM_XXXXXXXX(HVM)への電源 OFF 要求でエラーが発生しました。 |
| KASM21805-E 029                                           |
+-----+
```

このメッセージが表示された場合は、HVM ファームウェア更新が実行されている可能性があります。HVM ファームウェア更新中であった場合は、HVM ファームウェア更新後に HVM シャットダウンを実施してください。

3.3.5 サーバブレードをリブートしてもHVMが起動しなかった場合

HVM ファームウェア更新後、サーバブレードをリブートしても、HVM が起動しなかった場合は、リモートコンソールを起動してください。

リモートコンソールの画面に以下のエラーメッセージが出力された場合は、対処方法を参照し対処願います。

メッセージ内容	HVM Loader detected enable H/W Memory Dump setting in this system. [INFO:XX] Please set H/W Memory Dump setting to disable.
説明	ハードウェアメモリダンプが有効になっているため、HVM が起動できません。
対処方法	ハードウェアメモリダンプを無効にした後、再度サーバブレードの電源を ON にしてください。

4

HVMメンテナンスツールによる手順

この章では、HVM メンテナンスツールを利用した HVM 非稼働時のバージョンアップ、リビジョンアップ、バージョンダウン、リビジョンダウン手順について説明します。

バージョンにより画面の表示内容が異なる場合があります。

サポートサービスに契約していない場合は、バージョンアップはできません。

詳しくは、弊社営業にお問い合わせください。

4.1 前提条件

前提条件を以下に示します。

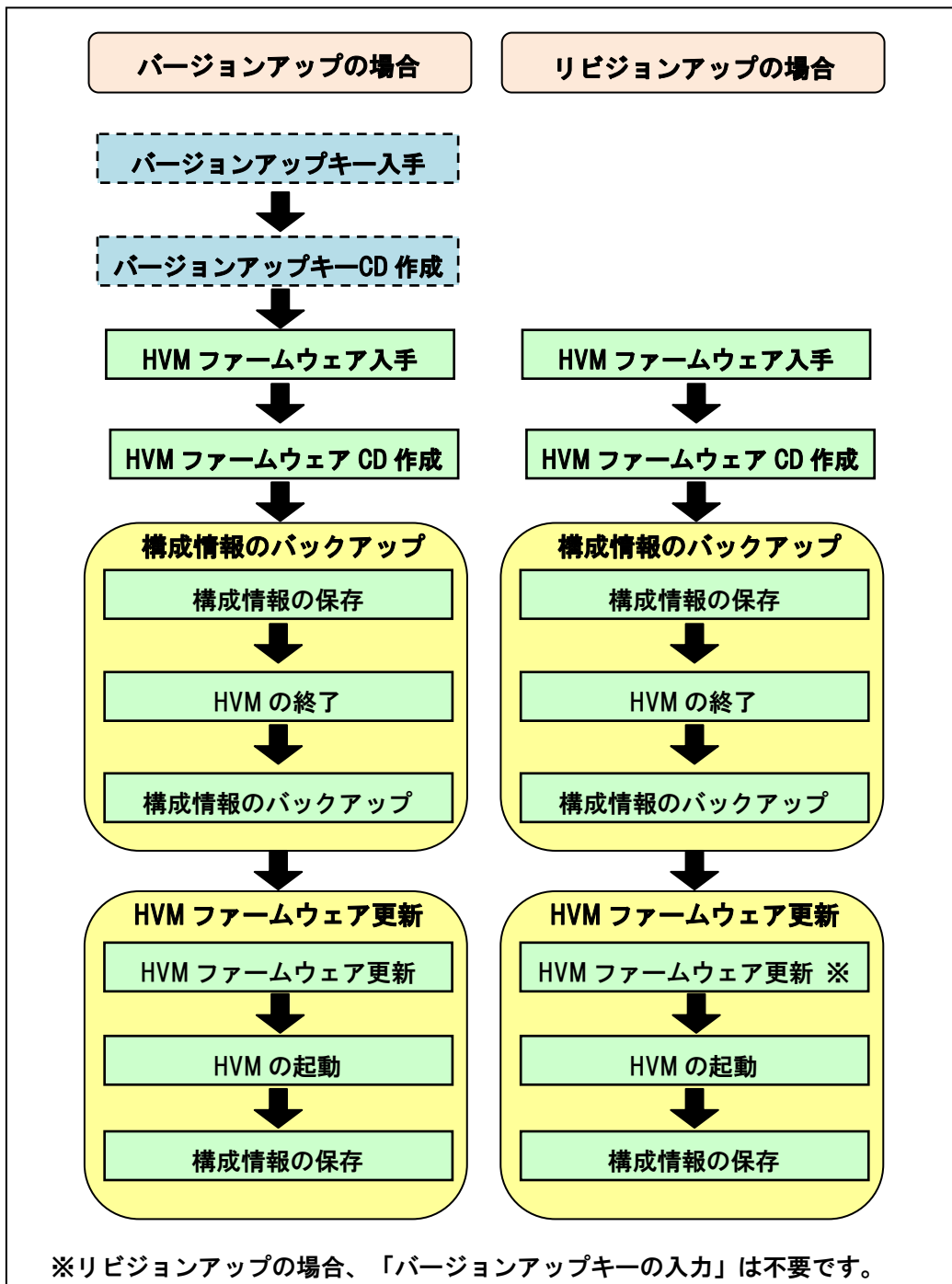
項目	備考
サーバブレードの停止	全 LPAR を停止後、サーバブレードを停止してください。
HVM モードの設定	OS モードを HVM モードに設定してください。
EFI / BIOS の設定	HVM モード時の推奨値に設定してください。

4.2 バージョンアップ、リビジョンアップ手順

この節では、HVM メンテナンスツールを利用した HVM 非稼働時のバージョンアップ、リビジョンアップ手順について説明します。

HVM メンテナンスツールでバージョンアップ、リビジョンアップをする場合は、それぞれ以下の手順で行ってください。

下図では、 (実線枠)はバージョンアップ、リビジョンアップのいずれの場合も必要な作業を、 (破線枠)はバージョンアップの場合にのみ必要な作業を示しています。



4.2.1 バージョンアップキー入手

…
補足 リビジョンアップの場合は、本手順は不要です。

バージョンアップキーの入手には、HVM ファームウェアバージョン、ブレードシリアル番号を確認しておく必要があります。

□HVM ファームウェアバージョン(VV-RR)

HVM ファームウェアのダウンロード時に確認してください。

また、ダウンロードした HVM ファームウェアからもご確認いただけます。

項目	ファイル名	備考
HVM ファームウェア	hvm_bs2k_xeon_VV.RR.TT.KK.iso	標準サーバブレード
	hvm_bs2k_mp_xeon_VV.RR.TT.KK.iso	高性能サーバブレード

□ブレードシリアル番号

対象サーバブレードのブレードシリアル番号を確認してください。

マネジメントモジュールの「DF コマンド」を実行します。

```
SVP>DF [Enter] ← DF を入力します。

<< DF - Show field replaceable unit information. >>

-- Detail field replaceable unit information menu --
  C. Server chassis.
  M. Management module.
  S. Server blade.
  I. I/O board module.
  SW. Switch module.
  PS. Power supply module.
  T. Show mass of modules.
  A. All module.
  Q. Quit.
(C, M, S, I, SW, PS, T, A, [Q]) : S [Enter] ← S を入力します。
Select server blade (0-7, A=All, [Q]=Quit) : 0 [Enter] ← サーバブレード番号を入力します。
--- Server blade ---
Slot          : 0

-- Board information --
Manufacturer   : SUPERMICRO
Product Name   : X8DTE-HTC01
Serial Number  : 91200021

-- Product information --
Manufacturer   : HITACHI
Product Name   : BladeSymphony E55
Part/Model Number : GVAE55A1-3NNN14X
Product Version : 0020G55100
Serial Number   : 4600B60 T901000001 ← ブレードシリアル番号を確認します。

-- 以下省略 --
```

ご契約者様専用ページからバージョンアップキーを発行する手順を以下に示します。

ご契約者様専用ページは、改良のため予告なしに変更することがあります。

- (1) サポートサービスのホームページから、ご契約者様専用ページにログインします。
サポートサービスのホームページは以下になります。
<http://www.hitachi-support.com/>

ご契約者様専用ページにログインするためには、サポートサービス契約時に発行されるログインIDとパスワードが必要になります。

- (2) 「改良版が欲しい 製品に関する申請をしたい」の「各種申請」をクリックします。

- (3) 「BS2000 Virtage 有効化」をクリックします。

(4) BS2000 Virtage メニュー画面で、「バージョンアップキーの発行」をクリックします。

日立サポート360HITACHI
Inspire the Next

BS2000 Virtage メニュー画面

BS2000 Virtageに関する以下のメニューをご用意しています。目的に応じて選択してください。

操作メニュー

HVMライセンスキーの発行

Virtageを3LPAR以上でご利用になる際に必要となる、HVMライセンスキーを発行します。
お客様のサポートサービス契約内容に従い、以下の手順1または、手順2でHVMライセンスキーを発行してください。

手順1: [BS2000 Virtage Enterpriseモデル サポートサービスを新規](#)でご契約いただいたお客様は [こちら](#)へ

- (1)サーバブレードの登録
- (2)HVMライセンスキーの発行

手順2: [BS2000 Virtage モデルアップサポートオプションを追加](#)でご契約いただいたお客様は [こちら](#)へ

- (1)サーバブレードの登録
- (2)モデルアップサポートオプションの適用
- (3)HVMライセンスキーの発行

バージョンアップキーの発行

ファームウェアのバージョンアップをするために、バージョンアップキーの発行を行います。


登録内容の確認/更新

登録したサーバブレードの内容を確認します。さらに登録したコメントを更新します。

©Hitachi, Ltd. 1994, 2009. All rights reserved.

閉じる

- (5) Virtage バージョンの入力、バージョンアップキーを発行するサーバブレードを選択し、「ISOイメージファイル形式で発行」または「テキストファイル形式で発行」ボタンをクリックします。


日立サポート 360

HITACHI
Inspire the Next

バージョンアップキー発行

Virtageをバージョンアップする際に必要となる、バージョンアップキーを発行します(*1)。

適用するVirtageのバージョン、レビジョンを入力後、「サービス対象ブレード一覧」より、対象となるサーバブレードを選択し、「発行」ボタンを押下してください。

ブレードシリアル番号およびHVMライセンスキーの情報が、以下の形式で出力されます。

- ・ISOイメージファイル形式で発行(*2)
- ・テキストファイル形式で発行(*3)

*1 バージョンアップキーの適用方法につきましては、BladeSymphony BS2000 Virtageバージョンアップ手順書を参照ください。

*2 HVMメンテナンスツールによりキー入力を行う場合は、ISOイメージとしてCDメディアに書き込んでご使用ください。このISOファイルを利用することで、バージョンアップキーの入力が不要となります。詳しくは「Virtageバージョンアップ手順書」を参照してください。

*3 テキストファイルよりコピー & ペーストが可能となりHVMライセンスキー設定時の入力工数が低減できます。

Virtageバージョンの指定

Virtageバージョン	半角英数字で入力 <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;"> <input style="width: 20px; height: 20px; border: 1px solid #ccc;" type="text"/> - <input style="width: 20px; height: 20px; border: 1px solid #ccc;" type="text"/> (例) VV - RR </div>
--------------	---

サービス対象ブレード一覧

サポートサービス割当状況	対象 全て選択	ブレードシリアル番号	備考
Enterprise	<input checked="" type="checkbox"/>	4600B50 T918000044	
Enterprise	<input checked="" type="checkbox"/>	4600B50 T918000051	

ISOイメージファイル形式で発行

テキストファイル形式で発行

[メニューへ戻る](#)

・対象となるサーバブレードが未登録 のお客様は [こちらへ](#)

© Hitachi, Ltd. 1994, 2009. All rights reserved.

[閉じる](#)

項目	備考
ISO イメージファイル形式で発行	バージョンアップキー自動入力を行う場合、こちらを選択してください。
テキストファイル形式で発行	バージョンアップキー自動入力を行わない場合、こちらを選択してください。

4.2.2 バージョンアップキーCD作成

…
補足 リビジョンアップの場合は、本手順は不要です。

バージョンアップキー自動入力を行う場合は、「4.2.1 バージョンアップキー入手」で発行したバージョンアップキー(ISOイメージファイル形式)をISOイメージとしてCD-Rに書き込んでください。

項目	ファイル名
バージョンアップキー	SSSSSSSSSSSSVERUPYYYYMMDD.iso

SSSSSSSSSSSS : サービス ID

YYYYMMDD : 年月日

4.2.3 HVMファームウェア入手

HVM ファームウェアを BladeSymphony のホームページからダウンロードしてください。

ホームページアドレス <http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/>

4.2.4 HVMファームウェアCD作成

「4.2.3 HVMファームウェア入手」でダウンロードしたHVMファームウェア(ISOイメージファイル形式)をISOイメージとしてCD-Rに書き込んでください。

【BS2000 の場合】

項目	ファイル名	備考
HVM ファームウェア	hvm_bs2k_xeon_VV.RR.TT.KK.iso	標準サーバブレード
	hvm_bs2k_mp_xeon_VV.RR.TT.KK.iso	高性能サーバブレード

【BS320 の場合】

項目	ファイル名	備考
HVM ファームウェア	hvm_bs320_xeon_VV.RR.TT.KK.iso	なし

4.2.5 構成情報のバックアップ



HVM ファームウェア更新後、HVM の起動を行う前に、構成情報のバックアップを行うことをお勧めします。

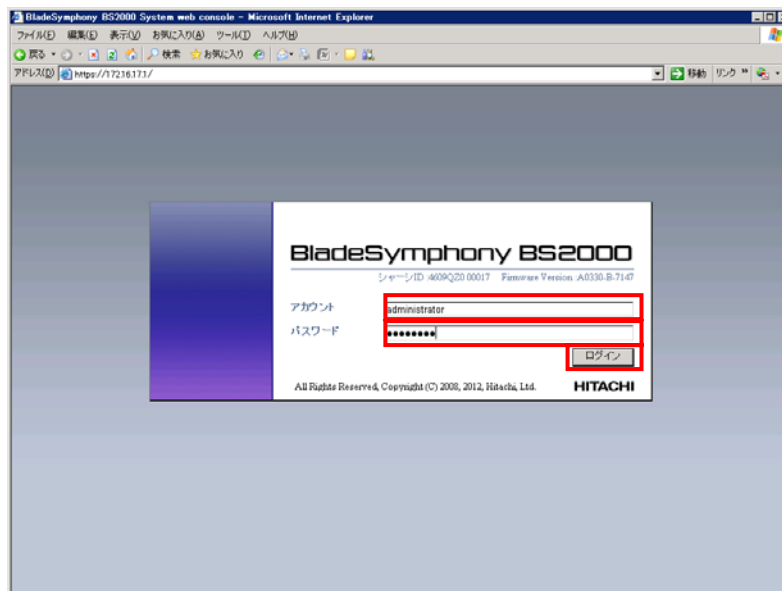
構成情報のバックアップを行うと、HVM ファームウェアの更新にて問題が発生した場合に、HVM ファームウェアの面の切り替えを行い、旧 HVM ファームウェアバージョンへ戻すことができます。

構成情報のバックアップファイルがないと、旧 HVM ファームウェアバージョンへ戻すことができません。

構成情報のバックアップ方法を以下に示します。

【BS2000 の場合】

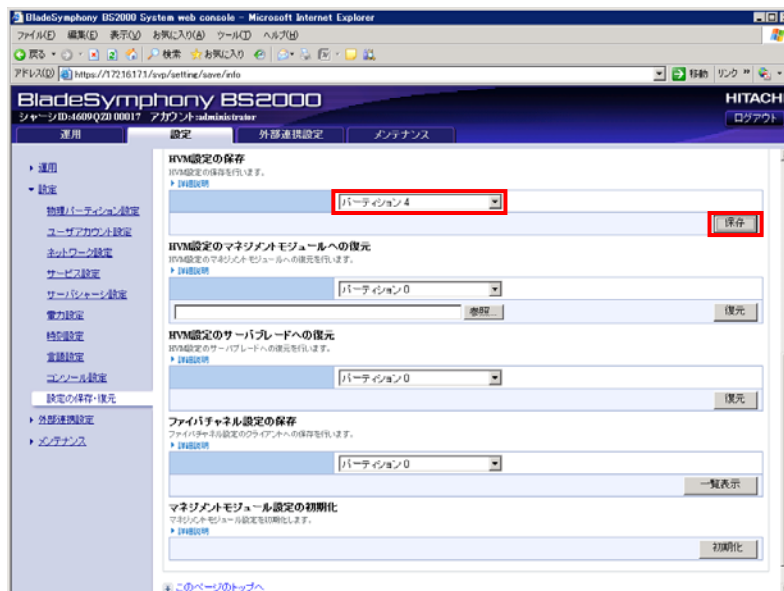
- (1) 構成情報を保存します。
HVM スクリーンで [F9] を押します。
- (2) サーバブレードの電源を切ります。
HVM スクリーンで [Alt] + [r] を押すと、サブスクリーンが表示されます。Shutdown を選択して [Enter] を押します。
- (3) 構成情報をバックアップします。
 - (a) システム Web コンソールで、ユーザアカウントとパスワードを入力し、ログインボタンをクリックします。



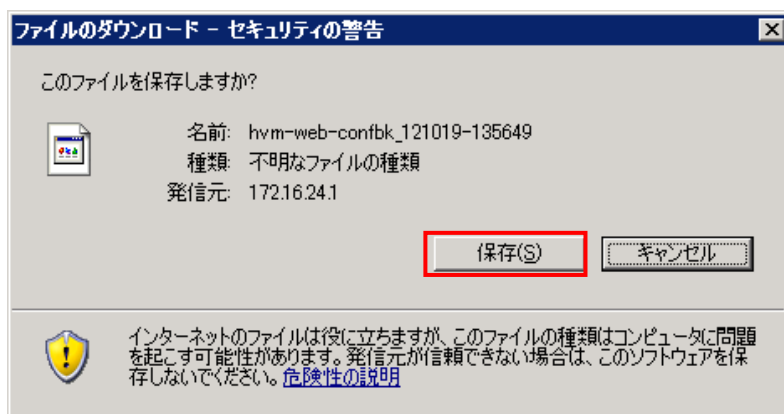
(b) 「設定の保存・復元」を選択します。



(c) パーティションを選択し、保存ボタンをクリックします。



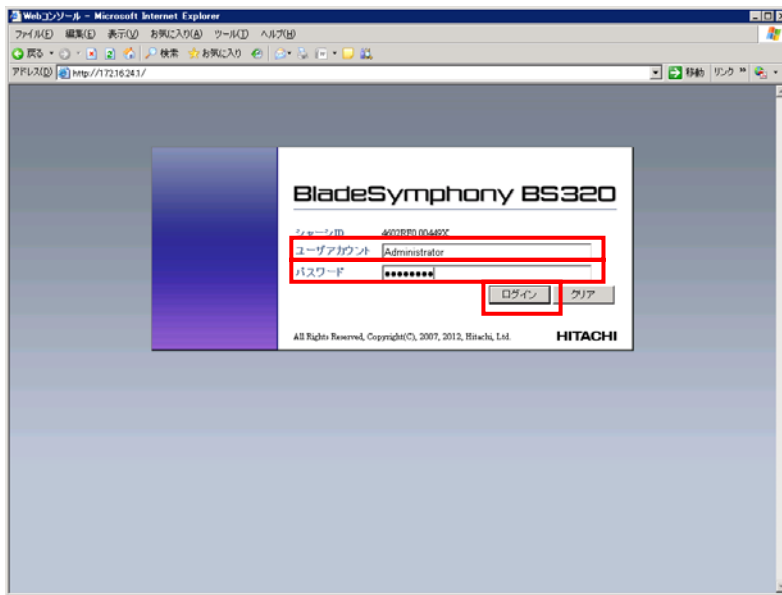
(d) 保存ボタンをクリックします。



OS の操作手順に従ってファイルを保存します。

【BS320 の場合】

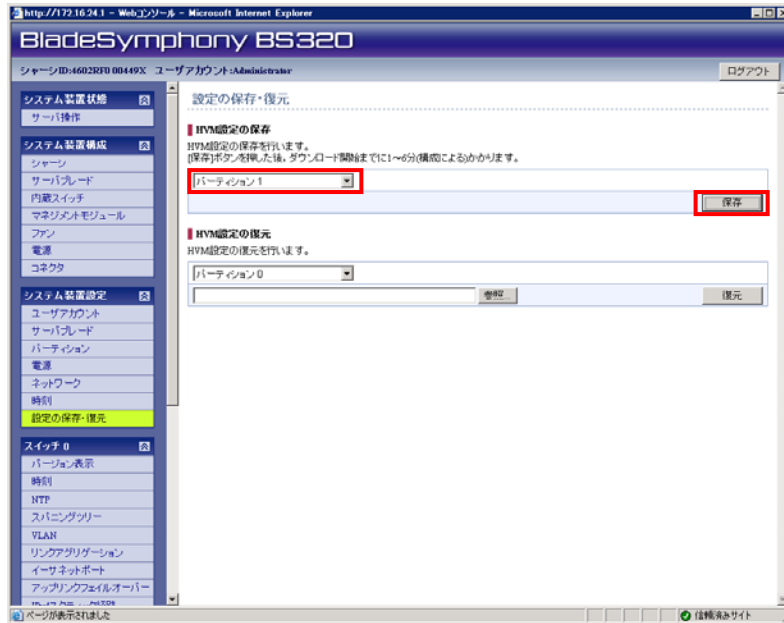
- (1) 構成情報を保存します。
HVM スクリーンで [F9] を押します。
- (2) サーバブレードの電源を切ります。
HVM スクリーンで [Alt] + [r] を押すと、サブスクリーンが表示されます。Shutdown を選択して [Enter] を押します。
- (3) 構成情報をバックアップします。
 - (a) Web コンソールで、ユーザアカウントとパスワードを入力し、ログインボタンをクリックします。



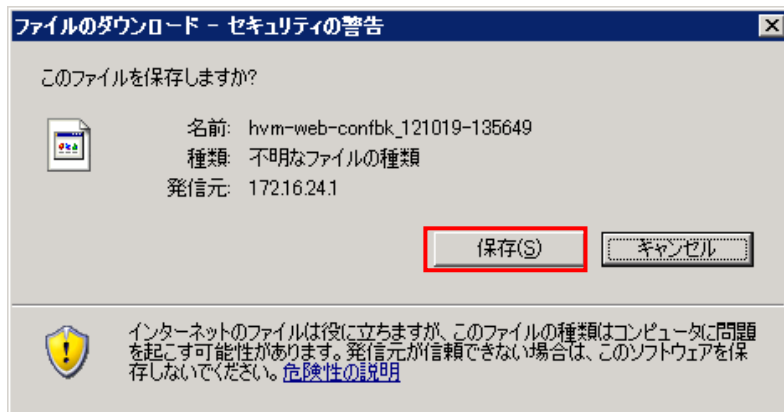
- (b) 「設定の保存・復元」を選択します。



(c) パーティションを選択し、保存ボタンをクリックします。




(d) 保存ボタンをクリックします。



OS の操作手順に従ってファイルを保存します。

4.2.6 HVMファームウェア更新

フロント USB を使用したバージョンアップを以下に示します。

 **リモートコンソールを使用した HVM ファームウェア更新は実施できません。必ずサーバブレード前面の USB ポートに CD/DVD ドライブを接続してください。**

- (1) サーバブレード前面の USB ポートに CD/DVD ドライブを接続し、CD/DVD ドライブに HVM ファームウェア CD を入れます。
- (2) サーバブレードの電源を入れます。
- (3) HVM メンテナンスツールが起動します。
「1. Update HVM Firmware」を選択します。

```
<< HVM Maintenance Tool(Version X.X) >>
--- HVM Firmware Information ---
Bank#  Version      Select
  0      VV-RR(TT-KK)  Active
  1      VV-RR(TT-KK)  Alternate
--- HVM License Information ---
HVM License      [XXXXXXXXXX]

--- Menu ---
1. Update HVM Firmware
2. Change HVM F/W Active Bank
3. HVM Model Upgrade
4. Show Verup License Key
5. Recover HVM Configuration
Q. Quit and Reboot
Select : 1 [Enter]
```

- (4) <Before>に更新前の HVM ファームウェアのバージョンを表示し、<After>に更新後の HVM ファームウェアのバージョンを表示します。

```
<< Update HVM Firmware >>
No.    Version
  1     VV-RR(TT-KK)

<Before>
Bank#  Version      Select
  0      VV-RR(TT-KK)  Active
  1      VV-RR(TT-KK)  Alternate
<After >
Bank#  Version      Select
  0      VV-RR(TT-KK)  Alternate
  1      VV-RR(TT-KK)  Active
```

(5) バージョンアップキー入力が求められます。



リビジョンアップの場合は、本手順は不要です。

バージョンアップキー自動入力を行う場合

(a) 何も入力せずに、[Enter]を押します。

Enter Verup License Key : **[Enter]**

(b) CD/DVD ドライブの CD をバージョンアップキーCD に入れ替えて、[Enter]を押します。

Exchange for CD with Verup License Key.
Ready[Enter] : **[Enter]**

(c) CD/DVD ドライブの CD を HVM ファームウェア CD に入れ替えて、[Enter]を押します。

Exchange for CD with HVM MaintenanceTool.
Ready[Enter] : **[Enter]**

バージョンアップキー自動入力を行わない場合

(a) 「[4.2.1 バージョンアップキー入手](#)」で入手したバージョンアップキーを直接入力します。
スペースを入れずに連続入力してください。

Enter Verup License Key : **XXXXXXXX [Enter]**

(6) 入力に間違いがなければ「Confirm? (Y/[N])」で「Y」を入力します。
「N」を入力した場合は、(3)の画面に戻ります。

Confirm? (Y/[N]) : **Y [Enter]**

(7) HVM ファームウェア更新処理の進捗が%表示されます。更新処理が完了(100%)まで待ちます。
完了するまで 3~5 分程度かかります。

0% — 20% — 40% — 60% — 80% — 100%
|.....|

(8) 更新完了のメッセージが表示されます。[Enter]を押します。

```
[0000] HVM Firmware Updating is successfully finished.
*** HIT ENTER KEY ***
```

エラーメッセージが出力された場合は、以下の完了コードを参照し対処願います。

完了コード	説明	対処方法
0001	バージョンアップキーを認識できません。	①バージョンアップキーを入手、バージョンアップキーCDを作成し直して、HVM メンテナンスツールを再実行してください。 ②HVM ファームウェアを入手、HVM ファームウェア CD を作成し直して、HVM メンテナンスツールを再実行してください。 何度か試しても問題が解決されない場合は、サポートサービスへお問い合わせください。
	HVM ファームウェアを認識できません。	
0002	バージョンアップキーが間違っている可能性があります。	バージョンアップキーを入手し直して、HVM メンテナンスツールを再実行してください。 何度か試しても問題が解決されない場合は、サポートサービスへお問い合わせください。
FFFF	HVM ファームウェア更新に失敗しました。	「HVM Firmware Updating is failed.」でHVM ファームウェア更新に失敗した場合は、(3)から再実行してください。 何度か試しても問題が解決されない場合は、サポートサービスへお問い合わせください。

(9) 更新後の HVM ファームウェアバージョンが表示されますので、Active の面番号の HVM ファームウェアが更新した HVM ファームウェアのバージョンと一致していることを確認します。
[Q. Quit and Reboot]を選択します。

```
<< HVM Maintenance Tool(Version X.X) >>
--- HVM Firmware Information ---
Bank#  Version      Select
  0      VV-RR(TT-KK)  Alternate
  1      VV-RR(TT-KK)  Active ← Activeの面番号のHVMファームウェアが更新した
--- HVM License Information ---
HVM License  [XXXXXXXX]  HVMファームウェアのバージョンと一致している
                                     ことを確認する。

--- Menu ---
1. Update HVM Firmware
2. Change HVM F/W Active Bank
3. HVM Model Upgrade
4. Show Verup License Key
5. Recover HVM Configuration
Q. Quit and Reboot
Select : Q [Enter]
```

(10)CD/DVD ドライブから HVM ファームウェア CD を取り出し、サーバブレード前面の USB ポートから CD/DVD ドライブを取り外します。

(11)「Quit HVM Maintenance Tool? (Y/[N])」で「Y」を入力し、サーバブレードをリブートします。「N」を入力した場合は、(3)の画面に戻ります。

```
<< Quit and Reboot >>  
Quit HVM Maintenance Tool? (Y/[N]) : Y [Enter]
```

注意)(11)の操作を行ってもHVMが起動しなかった場合は、[「4.4.1 サーバブレードをリブートしてもHVMが起動しなかった場合」](#)を参照してください。



HVM ファームウェア更新直後は、マネジメントモジュールの FV コマンドおよび Web コンソールでは、バージョンアップ前の古いバージョンが Active として表示される場合があります。(最大 5 分程度のタイムラグがあります)

(12)構成情報を保存します。
HVM スクリーンで [F9] を押します。

4.3 バージョンダウン、リビジョンダウン手順

この節では、HVM メンテナンスツールを利用した HVM 非稼働時のバージョンダウン、リビジョンダウン手順について説明します。



注意

バージョンダウンまたはリビジョンダウンは、N+M コールドスタンバイ構成で新規増設サーバブレードとのHVM ファームウェアバージョン不一致を解決する目的でのみ実施してください。

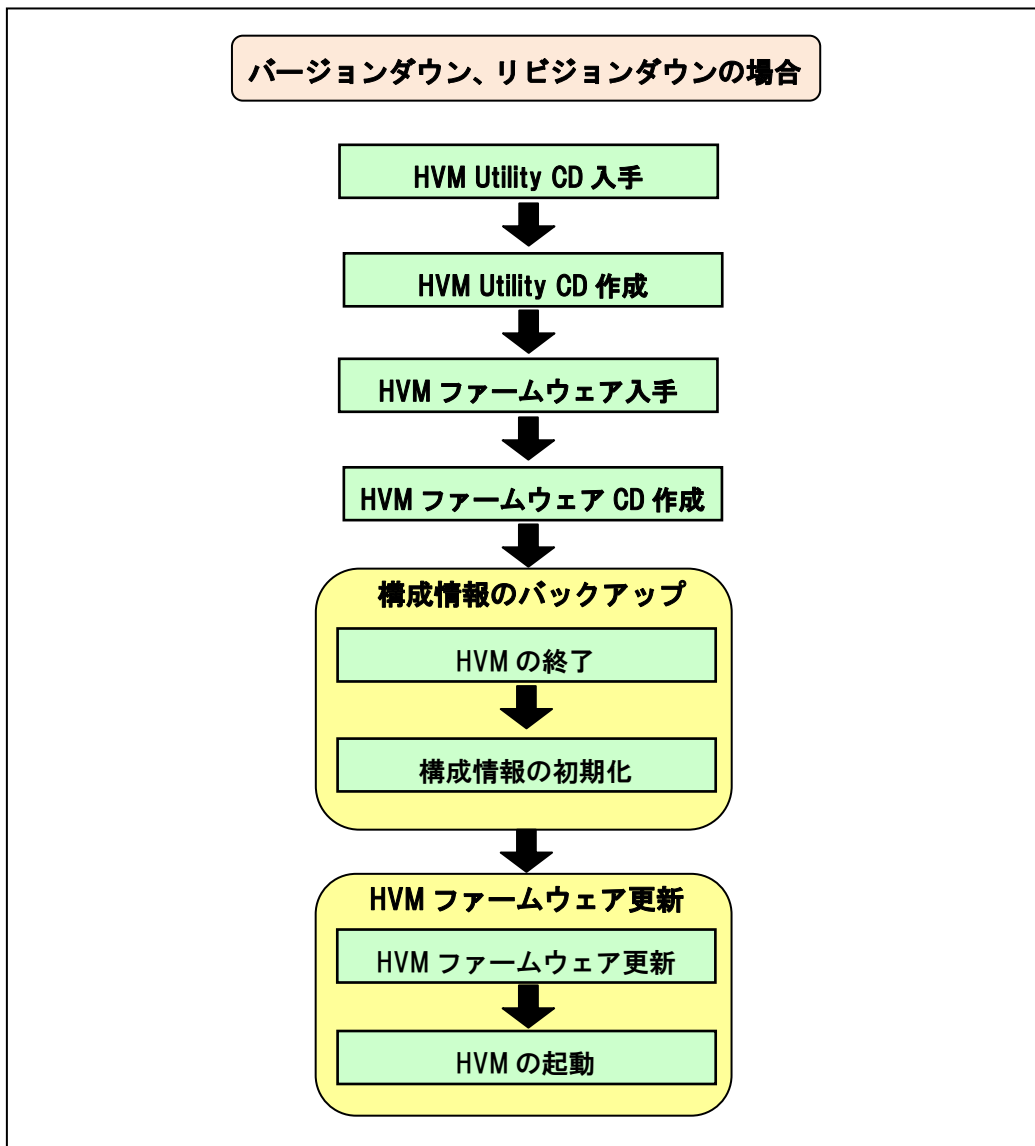


注意

バージョンダウンまたはリビジョンダウンを実行した場合、現在の機能が使用できなくなる場合があります。

実行前後のファームウェアバージョンの機能の差異をよくご確認ください。

HVM メンテナンスツールでバージョンダウン、リビジョンダウンをする場合は、それぞれ以下の手順で行ってください。



4.3.1 HVM Utility CD入手

HVM Utility CDに記載されているバージョンが5.2.7以降であることを確認してください。
対応するHVM Utility CDをお持ちでない場合は、HVM Utility CD(ISOイメージファイル形式)をBladeSymphonyのホームページからダウンロードしてください。

ホームページアドレス <http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/>

4.3.2 HVM Utility CD作成

「4.3.1 HVM Utility CD入手」でダウンロードしたHVM Utility CD(ISOイメージファイル形式)をISOイメージとしてCD-RIに書き込んでください。

項目	ファイル名
HVM Utility CD	HVM_Utility_CD_X.Y.Z.iso

X.Y.Z : HVM Utility CD バージョン

4.3.3 HVMファームウェア入手

HVM ファームウェアを BladeSymphony のホームページからダウンロードしてください。

ホームページアドレス <http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/>

4.3.4 HVMファームウェアCD作成

「4.3.3 HVMファームウェア入手」でダウンロードしたHVMファームウェア(ISOイメージファイル形式)をISOイメージとしてCD-Rに書き込んでください。

【BS2000 の場合】

項目	ファイル名	備考
HVM ファームウェア	hvm_bs2k_xeon_VV.RR.TT.KK.iso	標準サーバブレード
	hvm_bs2k_mp_xeon_VV.RR.TT.KK.iso	高性能サーバブレード

【BS320 の場合】

項目	ファイル名	備考
HVM ファームウェア	hvm_bs320_xeon_VV.RR.TT.KK.iso	なし

4.3.5 構成情報の工場出荷状態への復元

構成情報の工場出荷状態への復元方法を以下に示します。



バージョンダウン、リビジョンダウンを実施するためには、構成情報を工場出荷状態にする必要があります。

(1) マネジメントモジュールの「DC コマンド」を実行します。

【BS2000 の場合】

```
SVP>DC [Enter]          ← DC を入力します。

<< DC - Restore factory setting. >>

- Restore setting menu -
  R. Restore factory setting.
  B. Reset server blade web console setting.
  H. Reset HVM setting.
  Q. Quit.
(R,B,H,[Q]) : H [Enter]      ← H を入力します。

Select partition (0-7,[Q=Quit]) : X [Enter]  ← サーバブレード番号を入力します。

Confirm? (Y,[N]) : Y [Enter]      ← Y を入力します。
- <PartitionX> Resetting HVM setting was completed.
```

【BS320 の場合】

```
SVP>DC [Enter]          ← DC を入力します。

<<Default Configuration- Setting default configuration>>

  0 . Restore LC(LAN Configuration) command settings.
  1 . Restore SO(Security Option) command settings.
  2 . Restore MI(Maintenance information) command settings.
  3 . Restore FTP user account settings.
  4 . Restore SNM(SNMP Configuration) command settings.
  5 . Restore SWC(LAN Switch Configuration) command settings.
  6 . Restore HVM settings.
  Q . Quit.
(O-6,[Q]) : 6 [Enter]          ← 6 を入力します。
Select partition (0-9,A,[Q]) : X [Enter]  ← サーバブレード番号を入力します。

Confirm? (Y/[N]) : Y [Enter]      ← Y を入力します。
- <PartitionX> Resetting HVM setting was completed.
```

(2) サーバブレードの電源を入れます。

(3) System Configuration スクリーンで VNIC System No が 0 になっていることを確認します。

```
+-----+
|+- System Configuration -----+
||
|| HVM ID          HVM_0000      | Alert Language      Japanese
||                 | Virtual Console Port 20801
|| HVM IP Address  0.0.0.0      | HVM Operating Mode Expansion
|| Subnet Mask     255.255.255.255 |
|| Default Gateway 0.0.0.0      |
||
|| BSM1 IP Address 192.168.0.168 | HVM CLI1 IP Address 0.0.0.0
|| BSM2 IP Address 0.0.0.0      | HVM CLI2 IP Address 0.0.0.0
|| BSM3 IP Address 0.0.0.0      | HVM CLI3 IP Address 0.0.0.0
|| BSM4 IP Address 0.0.0.0      | HVM CLI4 IP Address 0.0.0.0
|| BSM1 Alert Port 20079        | HVM CLI5 IP Address 0.0.0.0
|| BSM2 Alert Port 20079        | HVM CLI6 IP Address 0.0.0.0
|| BSM3 Alert Port 20079        | HVM CLI7 IP Address 0.0.0.0
|| BSM4 Alert Port 20079        | HVM CLI8 IP Address 0.0.0.0
||
|| Management Path Default
|| VNIC System No: 0
||
+-----+
| F10:Update System Config                               Esc:Menu |
+-----+
```

(4) サーバブレードの電源を切ります。

HVM スクリーンで [Alt] + [r] を押すと、サブスクリーンが表示されます。Shutdown を選択して [Enter] を押します。

```
+-----+
|+- System Configuration -----+
||
|| HVM ID          HVM_0000      | Alert Language      Japanese
||                 | Virtual Console Port 20801
|| HVM IP Address  0.0.0.0      | HVM Operating Mode Expansion
|| Subnet Mask     255.255.255.255 |
|| Default Gateway 0.0.0.0      |
||
|| BSM1 IP Address 192.168.0+-----+address 0.0.0.0
|| BSM2 IP Address 0.0.0.0 | Shutdown HVM system |address 0.0.0.0
|| BSM3 IP Address 0.0.0.0 |                       |address 0.0.0.0
|| BSM4 IP Address 0.0.0.0 | Shutdown             |address 0.0.0.0
|| BSM1 Alert Port 20079 | Cancel               |address 0.0.0.0
|| BSM2 Alert Port 20079 +-----+address 0.0.0.0
|| BSM3 Alert Port 20079 | HVM CLI7 IP Address 0.0.0.0
|| BSM4 Alert Port 20079 | HVM CLI8 IP Address 0.0.0.0
||
|| Management Path Default
|| VNIC System No: 0
||
+-----+
| F10:Update System Config                               Esc:Menu |
+-----+
```

4.2.6 HVMファームウェア更新

フロント USB を使用したバージョンダウン、リビジョンダウンを以下に示します。



・ リモートコンソールを使用した HVM ファームウェア更新は実施できません。必ずサーバブレード前面の USB ポートに CD/DVD ドライブを接続してください。

- (1) サーバブレード前面の USB ポートに CD/DVD ドライブを接続し、CD/DVD ドライブに HVM Utility CD を入れます。
- (2) サーバブレードの電源を入れます。
- (3) HVM メンテナンスツールが起動します。

```
<< HVM Maintenance Tool(Version X.X) >>
--- HVM Firmware Information ---
Bank#  Version      Select
  0      VV-RR(TT-KK)  Active
  1      VV-RR(TT-KK)  Alternate
--- HVM License Information ---
HVM License      [XXXXXXXXXX]

--- Menu ---
1. Update HVM Firmware
2. Change HVM F/W Active Bank
3. HVM Model Upgrade
4. Show Verup License Key
5. Recover HVM Configuration
Q. Quit and Reboot
Select :
```

- (4) CD/DVD ドライブの CD を HVM ファームウェア CD に入れ替えます。
- (5) 「1. Update HVM Firmware」を選択します。

```
<< HVM Maintenance Tool(Version X.X) >>
--- HVM Firmware Information ---
Bank#  Version      Select
  0      VV-RR(TT-KK)  Active
  1      VV-RR(TT-KK)  Alternate
--- HVM License Information ---
HVM License      [XXXXXXXXXX]

--- Menu ---
1. Update HVM Firmware
2. Change HVM F/W Active Bank
3. HVM Model Upgrade
4. Show Verup License Key
5. Recover HVM Configuration
Q. Quit and Reboot
Select : 1 [Enter]
```

- (6) <Before>に更新前の HVM ファームウェアのバージョンを表示し、<After>に更新後の HVM ファームウェアのバージョンを表示します。

```
<< Update HVM Firmware >>
No.   Version
  1   VV-RR(TT-KK)

<Before>
Bank# Version      Select
  0   VV-RR(TT-KK)  Active
  1   VV-RR(TT-KK)  Alternate

<After >
Bank# Version      Select
  0   VV-RR(TT-KK)  Alternate
  1   VV-RR(TT-KK)  Active
```

- (7) 「Confirm? (Y/[N])」で「Y」を入力します。
「N」を入力した場合は、(3)の画面に戻ります。

```
Confirm? (Y/[N]) : Y [Enter]
```

- (8) HVM ファームウェア更新処理の進捗が%表示されます。更新処理が完了(100%)まで待ちます。
完了するまで 3~5 分程度かかります。

```
0% —— 20% —— 40% —— 60% —— 80% —— 100%
|.....|
```

- (9) 更新完了のメッセージが表示されます。[Enter]を押します。

```
[0000] HVM Firmware Updating is successfully finished.
*** HIT ENTER KEY ***
```

エラーメッセージが出力された場合は、以下の完了コードを参照し対処願います。

完了コード	説明	対処方法
0001	HVM ファームウェアを認識できません。	HVM ファームウェアを入手、HVM ファームウェア CD を作成し直して、HVM メンテナンスツールを再実行してください。 何度か試しても問題が解決されない場合は、サポートサービスへお問い合わせください。
FFFF	HVM ファームウェア更新に失敗しました。	「HVM Firmware Updating is failed.」で HVM ファームウェア更新に失敗した場合は、(3)から再実行してください。 何度か試しても問題が解決されない場合は、サポートサービスへお問い合わせください。

- (10)更新後の HVM ファームウェアバージョンが表示されますので、Active の面番号の HVM ファームウェアが更新した HVM ファームウェアのバージョンと一致していることを確認します。
[Q. Quit and Reboot]を選択します。

```
<< HVM Maintenance Tool(Version X.X) >>
--- HVM Firmware Information ---
Bank#  Version      Select
  0      VV-RR(TT-KK)  Alternate
  1      VV-RR(TT-KK)  Active ← Activeの面番号のHVMファームウェアが更新した
--- HVM License Information ---   HVMファームウェアのバージョンと一致している
HVM License      [XXXXXXXXX]   ことを確認する。

--- Menu ---
1. Update HVM Firmware
2. Change HVM F/W Active Bank
3. HVM Model Upgrade
4. Show Verup License Key
5. Recover HVM Configuration
Q. Quit and Reboot
Select : Q [Enter]
```

- (11)CD/DVD ドライブから HVM ファームウェア CD を取り出し、サーバブレード前面の USB ポートから CD/DVD ドライブを取り外します。

- (12)「Quit HVM Maintenance Tool? (Y/[N])」で「Y」を入力し、サーバブレードをリブートします。「N」を入力した場合は、(3)の画面に戻ります。

```
<< Quit and Reboot >>
Quit HVM Maintenance Tool? (Y/[N]) : Y [Enter]
```

注意)(12)の操作を行ってもHVMが起動しなかった場合は、「4.4.1 サーバブレードをリブートしてもHVMが起動しなかった場合」を参照してください。



HVM ファームウェア更新直後は、マネジメントモジュールの FV コマンドおよび Web コンソールでは、バージョンダウン前の古いバージョンが Active として表示される場合があります。(最大 5 分程度のタイムラグがあります)

4.4 注意事項

この節では、HVM メンテナンスツールを利用した HVM ファームウェア更新の注意事項について説明します。

4.4.1 サーバブレードをリブートしてもHVMが起動しなかった場合

HVM ファームウェア更新後、サーバブレードをリブートしても、HVM が起動しなかった場合は、リモートコンソールを起動してください。

リモートコンソールの画面に以下のエラーメッセージが出力された場合は、対処方法を参照し対処願います。

メッセージ内容	PMBR booter started.Ext INT 13h not available.Press key to reboot.
説明	HVM のブートに失敗しました。
対処方法	サーバブレードの電源を OFF にした後、再度サーバブレードの電源を ON にしてください。

メッセージ内容	HVM Loader detected enable H/W Memory Dump setting in this system. [INFO:XX] Please set H/W Memory Dump setting to disable.
説明	ハードウェアメモリダンプが有効になっているため、HVM が起動できません。
対処方法	ハードウェアメモリダンプを無効にした後、再度サーバブレードの電源を ON にしてください。

BladeSymphony BS2000/BS320
Virtage バージョンアップ手順書
Virtage リビジョンアップ手順書

第 6 版 2012 年 11 月

無断転載を禁止します。

株式会社 日立製作所
IT プラットフォーム事業本部

〒259-1392 神奈川県秦野市堀山下 1 番地

<http://www.hitachi.co.jp/>